

Appleソフトウェアをダウンロードまたは使用する前に、以下の使用許諾契約の利用規約をよくお読みください。これらの利用規約はデベロッパの企業/組織とAppleとの間の法的な契約を構成します。

Apple Developer Enterprise Program使用許諾契約

(従業員向けの内部使用アプリケーション)

目的

デベロッパ企業、組織、または教育機関は、(以下に定義する)Appleソフトウェアを使用して、iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、visionOS、またはmacOSを実行しているAppleブランド製品用の1つ以上の(以下に定義する)内部使用アプリケーションを開発し、これらのアプリケーションをデベロッパ企業、組織、または教育機関内の従業員が内部で使用するため、または本契約書に明示的に規定された方法でのみ限定的に使用するためにだけに導入することを望んでいます。Appleは、本契約に定める利用規約に基づき、デベロッパの内部使用アプリケーションを開発およびテストし、かかるアプリを内部的に、または本契約書で別途認められているとおりに導入するために、Appleソフトウェアを使用する限定的なライセンスをデベロッパに進んで付与しようとしています。本契約書に基づき、iOSまたはwatchOSを実行するAppleブランド製品で使用するための(以下に定義する)パスを作成することもできます。macOS用に開発された内部使用アプリケーションは、Apple証明書を使用して本契約書に基づいて配布することも、個別に配布することもできます。

注: 本プログラムは、デベロッパの特定のビジネス目的のためにデベロッパが開発した内部使用のカスタムアプリケーションであり、デベロッパの従業員、および限定された場合には、本契約書に規定された特定の他の当事者のみが使用するためのものです。iOS、watchOS、tvOS、またはvisionOS用のアプリケーションを第三者に配布する場合、または第三者からアプリケーションを取得する場合は、App Storeまたはカスタムアプリ配信(利用可能な場合)を使用して配布する必要があります。

1. 本契約の受諾、定義

1.1 受諾

AppleソフトウェアおよびAppleサービスを使用するには、デベロッパは、本契約に同意する必要があります。本契約に同意しない、または同意できない場合には、AppleソフトウェアまたはAppleサービスを使用することはできません。その場合はAppleソフトウェアまたはAppleサービスをダウンロードまたは使用することのないようにしてください。デベロッパは、以下のいずれかを行うことにより、デベロッパの会社、組織、教育機関、または連邦政府の代理人、出先機関、または部局において、正式な法定代理人として、本契約の条項を受諾し、同意するものとします。

- (a) 本契約の末尾に記載されたボックスにチェックマークを付けること(デベロッパが本契約をAppleのウェブサイト上で読んでいる場合)、または
- (b) 「同意する」もしくはそれに類するボタンをクリックすること(Appleがこの選択肢を提供している場合)。

1.2 定義

本契約において先頭が大文字で表記されている用語(英語)は、常に以下の定義とします。

「**広告ネットワークAPI**」とは、暗号化された署名とAppleへの登録処理の組み合わせを使用して、サポートされているAppleブランド製品で広告活動がコンバージョンに結び付いたことを検証するための方法を提供する文書化されたAPI群のことをいいます。

「**広告サポートAPI**」とは、広告識別子およびトラッキング設定を提供する文書化されたAPI群のことをいいます。

「**広告識別子**」とは、特定のAppleブランドデバイスと関連付けられ、かつAppleが書面で明示的に別段の許可をしない限り、広告目的にのみ使用される広告サポートAPIを通じて提供する、個人を特定しない一意の非永続的な識別子のことをいいます。

「**契約**」とは、本Apple Developer Enterprise Program使用許諾契約のことを指し、ここで参照することにより組み込まれる付属書も含まれます。明確にするために、本契約はiOS Developer Enterprise Program (iOSデベロッパ企業プログラム)使用許諾契約(付属書を含む)およびMac Developer Program License Agreementに優先します。

「**Apple**」とは、One Apple Park Way, Cupertino, California 95014, U.S.A.に主たる事務所を有するカリフォルニア州法人であるApple Inc.のことをいいます。

「**Apple証明書**」または「**証明書**」とは、本プログラムに基づいてAppleがデベロッパに提供する、Apple発行のデジタル証明書のことをいいます

「**Apple Maps Server API**」とは、デベロッパがデベロッパのアプリケーション、ウェブサイト、ウェブアプリに、サーバ間のマッピング機能または機能性を追加できるようにする文書化されたAPI群のことをいいます。

「**Appleマップサービス**」とは、デベロッパがデベロッパの内部使用アプリケーションに関連した使用に限定し、MapKit APIまたはApple Maps Server API経由でAppleが提供する、またはデベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、ウェブアプリに関連した使用に限定し、MapKit JSおよびマップコンテンツの関連ツール (MapSnapshotterなど) 経由でAppleが提供する、マッピングプラットフォームおよびマップデータのことをいいます。

「**Appleプッシュ通知サービス**」または「**APN**」とは、デベロッパがプッシュ通知をデベロッパの内部使用アプリケーションに対して送信できるようにするために、またはMDMプロトコル経由で、またはその他本契約で許容された利用のために、Appleがデベロッパに対して提供できるAppleプッシュ通知サービスのことをいいます。

「**APN API**」とは、デベロッパがデベロッパの内部使用アプリケーションに対してプッシュ通知を送信するために、またはその他本契約で許容された利用のために、APNを使用できるようにする文書化されたAPIのことをいいます。

「**Apple サービス**」または「**サービス**」とは、デベロッパが対象製品と共に使用するため、もしくはデベロッパが開発で使用するため、Apple が提供できる、または Apple ソフトウェアを通じてもしくは本プログラムの一部として Apple が利用可能にすることができる、デベロッパサービスのことをいいます。本プログラムに基づき Apple がデベロッパでできる、それらのあらゆるアップデート(存在する場合)も含まれます。

「**Apple ソフトウェア**」とは、Apple SDK、iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、visionOS、または macOS、プロビジョニングプロファイル、ならびに本プログラムに基づき Apple がデベロッパに提供するその他のあらゆるソフトウェアを意味し、本プログラムに基づき Apple がデベロッパに提供する場合には、それらのあらゆるアップデート(該当する場合)も含まれます。

「**Apple SDK**」とは、本契約に基づき提供されるApple専有ソフトウェア開発キット(SDK)を意味し、iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、visionOS、またはMac SDKの一部としてラベル付けされ、それぞれiOS、watchOS、tvOS、iPadOS、visionOS、またはmacOSを実行するAppleブランド製品を対象とする目的でXcodeデベロッパツールパッケージに含まれているヘッダーファイル、API、ライブラリ、シミュレータ、ならびに、ソフトウェア(ソースコードおよびオブジェクトコード)を含みますが、これらに限りません。

「**Apple子会社**」とは、発行済み株式または証券(取締役またはその他の管理機関の選挙の投票権を表す)の少なくとも50%を、直接的または間接的にAppleに保有または支配されており、App Storeの運営に関わっている、またはそれらと提携しており、本契約において言及されている(例: 付属書3)会社のことをいいます。

「**Apple TV**」とは、tvOSを実行するAppleブランド製品のことをいいます。

「**Apple Watch**」とは、watchOSを実行するAppleブランド製品のことをいいます。

「認定デベロッパ」とは、デベロッパの従業員および外部契約者、デベロッパの組織のメンバー、またはデベロッパが教育機関である場合にはデベロッパの教職員で、(a) 各々Appleにおける有効なAppleデベロッパアカウントを有し、(b) 対象製品の開発およびテスト目的で、Appleソフトウェアの情報または使用を明らかに必要としていると認められ、かつ、(c) 当該個人がApple秘密情報に接する機会を有する限りにおいて、各々Apple秘密情報の不正使用および開示を防ぐため法的拘束力のある書面による合意をデベロッパと締結している者のことをいいます。

「認定テストユニット」とは、本プログラムに基づきデベロッパが所有または管理し、デベロッパがデベロッパ自身のテストおよび開発を行う目的で指定する Apple ブランドのハードウェアユニットをいい、ならびにデベロッパが許可する場合に、当該ユニットをデベロッパのためのテストおよび開発を行う目的で使用し、本契約で許可される限りにおいて、デベロッパの認定デベロッパが所有または管理する Apple ブランドのハードウェアユニットのことをいいます。

「ClassKit API」とは、大学が管理する環境において、デベロッパが学生進捗データを送信することを可能にする文書化されたAPIをいいます。

「CloudKit API」とは、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブソフトウェア、またはデベロッパのエンドユーザー（デベロッパが当該エンドユーザーを許可した場合）が、iCloud のパブリックコンテナまたはプライベートコンテナから構造化データの閲覧、記載、問合せまたは検索を可能にする文書化された API のことをいいます。

「構成プロファイル」とは、Apple Configurator もしくはその他の類似の Apple ブランドのソフトウェアツール、電子メール、ウェブページ、もしくはワイヤレスでの導入を通じて、または MDM により、互換性のある Apple ブランド製品への設定情報（例えば、VPN または Wi-Fi 設定）およびデバイス機能の制限情報（例えば、カメラの無効化）をデベロッパが配布できる XML ファイルのことをいいます。

「契約社員」とは、デベロッパ（またはデベロッパが許可する事業体）に代わって非出来高制で作業を遂行する、またはサービスを提供し、デベロッパ（またはデベロッパが許可する事業体）のプライベート情報技術システム（VPN など）またはセキュリティ対策がなされた物理的施設の内部利用のためのアクセス権（バッジによる会社施設への入館資格など）を有する個人のことをいいます。明確にするために、出来高払いまたはタスクベースの取引の形式で業務を行ったりサービスを提供したりする「ギグワーカー」は、この定義に含まれません。

「対象製品」とは、デベロッパの内部使用アプリケーション、ライブラリ、パス、または本契約に基づいて開発された Safari プッシュ通知のことをいいます。

「デモ受信者」とは、デベロッパの製品またはサービスの現在のユーザー、またはデベロッパがデベロッパの製品またはサービスのデモンストレーションを提供しているユーザーのことをいいます。

「導入デバイス」とは、(a) 認定テストユニット、および (b) 以下が所有または管理するその他のサポート対象 Apple ブランド製品を総称していいます。(i) デベロッパまたはデベロッパが許可する事業体、または (ii) デベロッパの従業員またはデベロッパの許可ユーザー。ただし、デベロッパ（またはデベロッパが許可する事業体）がこれらのデバイスからデベロッパの内部使用アプリケーションを削除または無効にすることができる場合に限りです。

「DeviceCheck API」とは、デベロッパによる2ビットのデバイスに関するデータおよび当該ビットが最後にアップデートされた日付の設定およびクエリを可能にするサーバサイドAPIを含むAPI一式のことをいいます。

「DeviceCheckデータ」とは、DeviceCheck APIを通じて保存および返却されたデータのことをいいます。

「ドキュメント」とは、Appleソフトウェア、Appleサービス、Apple証明書に関連して、または本プログラムの一部として使用するためにAppleがデベロッパに提供する、技術的またはその他の仕様書または文書のことをいい、App Store Reviewガイドラインを含みます。

「**文書化されたAPI**」とは、Appleが文書化したアプリケーションプログラミングインターフェイスで、Appleのドキュメントとして発行したもので、Appleソフトウェアに含まれているものをいいます。

「**顔データ**」とは、人間の顔に関連する情報（例えば、顔のメッシュデータ、顔のマップデータ、顔のモデリングデータ、顔座標データまたは顔のランドマークデータで、アップロードされた写真からのデータを含む）のことであり、ユーザーのデバイスから、または Apple ソフトウェアの使用（例えば、ARKit、Camera API、または Photo API の使用）を通じて入手されたもの、または内部使用アプリケーションにより、または内部使用アプリケーション経由でユーザーが提供した情報（例えば、顔分析サービスのアップロード）のことをいいます。

「**FOSS**」（無償オープンソースソフトウェア）とは、使用、複製、修正、再配布の条件として、当該ソフトウェアとその二次的著作物がソースコードで公開または配布され、二次的著作物を創作する目的でライセンスが付与される、または無償で再配布される条件に従うソフトウェアのことをいい、GNU General Public LicenseまたはGNU Lesser/Library GPLに基づき配布されるソフトウェアを含みますが、これらに限定されません。

「**HealthKit API**」とは、Apple のヘルスケアアプリケーションにおけるエンドユーザーの健康またはフィットネス情報の読み取り、書き込み、クエリ、または取得を可能にする文書化された API のことをいいます。

「**HomeKit アクセサリプロトコル**」とは、サポートされている Apple ブランド製品との通信を目的として、指定されたホームアクセサリと HomeKit API（例えばライトやロック）との連携を可能にする Apple の独占的所有に帰するプロトコルで、かつ MFi Program の下でライセンスが付与されるもののことをいいます。

「**HomeKit APIs**」とは、エンドユーザーのホーム構成、または Apple の HomeKit データベースのエンドユーザーが指定したエリアからのホームオートメーション情報の読み取り、書き込み、クエリまたは取得を可能にする文書化された API のことをいいます。

「**HomeKit Database**」とは、エンドユーザーのライセンス HomeKit アクセサリおよび関連情報に関する情報を保存および管理するための Apple のリポジトリのことをいいます。

「**iCloud**」または「**iCloudサービス**」とは、リモートオンラインストレージを含む、Appleが提供するiCloud オンラインサービスのことをいいます。

「**iCloud ストレージ API**」とは、ユーザーが作成したドキュメントおよびその他のファイルの保存または検索を可能にし、iCloud を使用して内部使用アプリケーションおよびウェブソフトウェアの重要な価値を有するデータ（例：ファイナンスアプリの株式リスト、アプリの設定）の保存または検索を可能にする文書化 API のことをいいます。

「**内部使用アプリケーション**」とは、iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、またはmacOSを実行しているAppleブランド製品での特定の使用のために、デベロッパ自身の社内業務の目的（例として、デベロッパの業務に特化したインベントリアプリ）のために、そして必要に応じて、専らデベロッパの従業員または許可ユーザー（およびテストおよび開発のみ認定デベロッパ）による内部使用（例：公開ウェブサイトではダウンロードできない）のために、または**セクション2.1(f)**で明示的に許可されているその他の目的のために、デベロッパが独自に開発したソフトウェアプログラム（単体のソフトウェアバンドルに含まれる拡張機能、フォント、メディア、およびライブラリを含む）のことをいいます。本契約で明示的に許可されている場合を除き、内部使用アプリケーションから特に除外されているのは、他の会社、外部契約者（ただし、デベロッパ専用の内部使用アプリケーションを開発しており、そのために内部使用アプリケーションを使用する必要がある、または内部使用アプリケーションにアクセスする必要がある外部契約者を除く）、販売店、ベンダー、再販業者、エンドユーザー、または一般ユーザーが使用、配布、またはその他の方法で利用できるプログラムまたはアプリです。誤解を避けるために記すと、内部使用アプリケーションには、カスタマイズが行われていても、第三者製アプリは含まれません。また、内部使用アプリケーションが一般に公開されていない場合もあります。

「iOS」とは、デベロッパの内部使用アプリケーションの開発およびテストに関して、デベロッパのみが使用するために Apple が提供する iOS オペレーティングシステムソフトウェアおよびそのあらゆる後継バージョンのことをいいます。

「iPadOS」とは、デベロッパの内部使用アプリケーションの開発およびテストに関して、デベロッパのみが使用するために Apple が提供する iPadOS オペレーティングシステムソフトウェアおよびそのあらゆる後継バージョンのことをいいます。

「iPod アクセサリプロトコル」または「iAP」とは、サポートされている Apple ブランド製品と通信するための Apple の独占的所有に帰するプロトコルで、かつ MFi Program の下でライセンスが付与されるもののことをいいます。

「ライブラリ」とは、内部使用アプリケーションとは切り離してインストールまたは実行することができないコードモジュールのことで、Apple ブランド製品と共に使用するためにのみ、「ドキュメントおよびプログラム要件」に従ってデベロッパが開発されたものをいいます。

「ライセンス HomeKit アクセサリ」とは、HomeKit アクセサリプロトコルをサポートする、MFi Program に基づきライセンスが付与されるハードウェアアクセサリのことをいいます。

「ローカル通知」とは、デベロッパの内部使用アプリケーションが、事前に決められた時間に、またはデベロッパの内部使用アプリケーションがバックグラウンドで実行され、別のアプリがフォアグラウンドで実行されているときに、エンドユーザーに配信するメッセージ（コンテンツまたはデータを含みます）のことをいいます。

「macOS」とは、デベロッパが使用するために Apple が提供する macOS オペレーティングシステムソフトウェアおよびその後継バージョンのことをいいます。

「macOS 製品」は、macOS を実行する Apple ブランド製品のことをいいます。

「マップデータ」「マップデータ」とは、画像、地形データ、緯度と経度の座標、輸送データ、見どころおよび交通量データを含む（がこれらに限定されない）、Apple 地図サービス経由で提供されるあらゆるコンテンツ、データ、または情報のことをいいます。

「MapKit API」とは、デベロッパが内部使用アプリケーションにマッピング機能またはその機能性を追加できるようにした、文書化されたクライアントサイドのAPIのことをいいます。

「MapKit JS」とは、デベロッパがデベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリにマッピング機能または機能性を追加できる JavaScript ライブラリのことをいいます。

「モバイルデバイス管理」(MDM)とは、Appleが提供するデバイス管理機能および関連APIのことで、MDMプロトコルおよびApple発行の証明書を使用して、サポートされるAppleブランド製品のリモート管理および設定を行うことができます。

「MDM 互換製品」とは、MDM プロトコル (Apple がデベロッパにオプションで提供することがあります) を使用して、サポートされている Apple ブランド製品の管理を可能にするエンタープライズサーバソフトウェア製品を指し、その主な目的はエンタープライズのデバイス管理です。明確にするために記すと、Apple が書面で明示的に許可している場合を除き、消費者使用または個人使用の製品は MDM 互換製品から除外されます。

「MDM 顧客」とは、デベロッパの MDM 互換製品の顧客である企業組織などの営利団体、教育機関、または政府機関のことをいいます。明確にするために記すと、MDM 顧客は、Apple が書面で明示的に許可した場合を除き、消費者または個人ユーザーを明確に除外するものとします。

「MDMプロトコル」とは、Appleが任意で本契約に基づいてデベロッパに提供する独自のプロトコル文書のことをいいます。

デベロッパが本契約で明示的に許可されているサポート対象のAppleブランド製品と関わり合い、管理、設定、クエリできるようにします。

「**取引業者**」とは、内部使用アプリケーションを通じて年齢または ID を検証するために TTPI API を使用する当事者のことをいいます。

「**MFi アクセサリ**」とは、MFi Program の下でライセンスを付与された技術を使用する Apple ブランド製品とのインターフェイス接続、通信、もしくは連携を行い、またはかかる Apple ブランド製品をコントロールする (例えば、iPod アクセサリプロトコルを通じてサポート対象 Apple ブランド製品をコントロールするなど)、Apple 外のブランドのハードウェアデバイスのことをいいます。

「**MFi ライセンシー**」とは、MFi Program に基づき Apple からライセンスを付与された当事者のことをいいます。

「**MFi Program**」とは、選定された Apple ブランド製品とのインターフェイス接続、通信、もしくは連携を行う手段として、またはかかる Apple ブランド製品をコントロールする手段として、特定の Apple テクノロジーをハードウェアアクセサリもしくはデバイスに組み込むため、またはこれらと共に使用するためのライセンスをデベロッパに提供する、独自の Apple プログラムのことをいいます。

「**Motion & Fitness API**」とは、エンドユーザーが当該データへのアクセスを無効化しない限り、互換性のある Apple ブランド製品におけるモーションとフィットネスのプライバシー設定によりコントロールされ、かつモーションおよびフィットネスのセンサーデータ (例えば、身体運動、歩数、上った階数) へのアクセスを可能にする文書化された API のことをいいます。

「**マルチタスク**」とは、他のアプリの実行中に、バックグラウンドでの実行を可能にする内部使用アプリケーションの機能のことをいいます。

「**MusicKit API**」とは、Apple Music ユーザーが、デベロッパの内部使用アプリケーションを通じて、またはドキュメントで Apple が許可したその他の方法で、サブスクリプションにアクセスできるようにする API 一式のことをいいます。

「**MusicKit コンテンツ**」とは、MusicKit API を通じて表示される音楽、ビデオまたは画像コンテンツのことをいいます。

「**MusicKit JS**」とは、デベロッパのアプリケーション、ウェブサイト、ウェブアプリを通じて、Apple Music ユーザーが自身のサブスクリプションにアクセスできるようにする JavaScript ライブラリのことをいいます。

「**ネットワーク拡張フレームワーク**」とは、互換性のある Apple ブランド製品の特定のネットワーク機能をカスタマイズ (例えば、Wi-Fi ホットスポット、VPN 機能、コンテンツフィルタリングメカニズムの認証プロセスのカスタマイズなど) する機能をアプリに提供する、文書化された API のことをいいます。

「**パス**」とは、本契約に基づきデベロッパが開発する、デベロッパ自身の商標またはブランドで、かつデベロッパのパスタイプ ID により署名された、またはドキュメントに従ってデベロッパがその他の方法で開発した 1 つ以上のデジタルパス (例: 映画チケット、クーポン、ポイントカード、搭乗券、会員カード) のことをいいます。

「**パスタイプ ID**」とは、デベロッパのパスに署名するため、または APN と通信するために、デベロッパが使用する Apple 証明書とプッシュアプリケーション ID との組み合わせのことをいいます。

「**決済サービスプロバイダ**」とは、(a) 直接的か間接的かを問わず、デベロッパのTTPデータの処理を伴う決済処理サービスを提供するプロバイダで、かつ、(b) ドキュメントで規定されているプロバイダのことをいいます。

「**許可事業体**」とは、(a) デベロッパが自動車メーカーであれば、デベロッパの正規ディーラーおよび認定サービスパートナー

のことを、(b) デベロッパがホテル持ち株会社の場合は、デベロッパの名称、商標、またはブランド(または同持ち株会社が所有または管理している名称、商標、ブランド)の下で運用されているホテル資産のことを、または、(c) Appleが自由裁量により書面で承認可能なその他の類似の事業体のことをいいます。

「許可ユーザー」とは、デベロッパの許可事業体の従業員、デベロッパまたはデベロッパの許可事業体の契約従業員、およびAppleによって事前に書面で承認されたその他の許可ユーザーのことをいい、本契約の条件に従ってデベロッパの内部使用アプリケーションを不正使用から保護するために、デベロッパまたはデベロッパの許可事業体と書面および法的拘束力のある契約を締結しているすべてのユーザーのことをいいます。さらに、「許可ユーザー」という用語には、次の追加の関係者のみが含まれるものとします。デベロッパが教育機関である場合、「許可ユーザー」という用語には、デベロッパの機関の教職員、学生も含まれます。デベロッパが病院である場合、「許可ユーザー」という用語には、資格を持つ医師、紹介医、臨床医も含まれます。

「プログラム」とは、本契約で意図される全体的な開発、テスト、デジタル署名、および限定配布プログラムのことをいいます。

「プログラム要件」とは、Appleが定義する技術、ヒューマンインターフェイス、デザイン、製品カテゴリ、セキュリティ、パフォーマンス、その他の基準および要件のことをいいます。これには、**第3.3条**に定義される現行の要件が含まれますが、それらに限定されません。各基準および要件は、本契約に従い、Appleによって適宜修正される可能性があります。

「プロビジョニングプロファイル」とは、デベロッパの内部使用アプリケーションの開発およびテストに関連したデベロッパによる使用のため、および登録デバイスまたは認定テストユニットにおけるデベロッパの内部使用アプリケーションの限定配布のため Apple が提供するファイル(適用されるエンタイトルメントまたはその他の識別子を含みます)のことをいいます。

「プッシュアプリケーション ID」とは、APN へのアクセスと使用、MDM での使用、設定プロファイルの配布を許可するために内部使用アプリケーション、パス、サイトに Apple が割り当てる一意の識別番号またはその他の識別子のことをいいます。

「プッシュ通知」もしくは「Safari プッシュ通知」とは、デベロッパが、デベロッパの内部使用アプリケーションおよびデベロッパのパスで配布するためにエンドユーザーに配信する通知、または macOS の場合は macOS 上の Safari を介してかかるメッセージを受信することを選択したデベロッパのサイトのユーザーの macOS デスクトップに配信する通知、または MDM を使用して配信される通知、または構成プロファイルの配布するために配信される通知のことをいい、コンテンツもしくはデータを含むものをいいます。

「ShazamKit APIs」とは、デベロッパが音声ベースの認識機能または機能性をデベロッパのアプリケーションおよび対応する製品に追加できるようにする、文書化された API のことをいいます。

「ShazamKit コンテンツ」とは、Apple が提供し、ShazamKit API を通じて表示されるメタデータ、音楽、またはグラフィックコンテンツのことをいいます。これには MusicKit コンテンツが含まれますが、これに限定されません。

「SiriKit」とは、ドキュメントに記載されているように、デベロッパのアプリケーションが、SiriKit ドメイン、インテント、ショートカット、寄付、およびその他の関連する機能にアクセスすること、または提供することを可能にする API のセットのことをいいます。

「サイト」とは、デベロッパ自身の名称、商標、ブランドで、デベロッパが提供するウェブサイトのことをいいます。

「Tap to Payデータ」または「TTPデータ」とは、取引の一環として、AppleソフトウェアおよびTap to Pay APIを通じて提供されるデベロッパの顧客のデータパッケージ(例えば、主要アカウント番号、取引金額)のことをいいます。

「Tap to Pay API」または「TTP API」とは、デベロッパが内部使用アプリケーションの使用を通じて取引を実行する

ことを可能にする文書化されたAPIのことをいいます。

「**Tap to Present ID データ**」または「**TTPI データ**」とは、年齢または ID の検証プロセスの一環として、Apple ソフトウェアおよび Tap to Present ID API を通じて提供されるエンドユーザーのデータパッケージのことをいいます。

「**Tap to Present ID API**」または「**TTPI API**」とは、デベロッパまたは取引業者が、デベロッパのアプリケーションの使用を通じてエンドユーザーの年齢または ID の情報を確認できるようにするための文書化された API のことをいいます。

「**契約期間**」とは、**第11条**で定義される期間のことをいいます。

「**トラッキング設定**」とは、エンドユーザーによる広告トラッキング設定を可能にする Apple の設定のことをいいます。

「**tvOS**」とは、tvOS オペレーティングシステムソフトウェアおよびその後継バージョンのことをいいます。

「**アップデート**」とは、Apple のソフトウェアやサービス、または Apple のソフトウェアやサービスに含まれる部分に対する、バグ修正、更新、アップグレード、修正、改良、補足、新規リリース、新規バージョンのことをいいます。

「**visionOS**」とは、visionOS オペレーティングシステムソフトウェアおよびその後継バージョンのことをいいます。

「**Wallet**」とは、iOS、iPadOS、watchOS、または macOS の Safari で使用するためのパスを保存および表示できるようにする機能を備えた Apple のアプリケーションのことをいいます。

「**WatchKit拡張機能**」とは、watchOS上でWatchKitアプリを実行および表示するためにiOS上のWatchKitフレームワークにアクセスする、デベロッパの内部使用アプリケーションの一部としてバンドルされる拡張機能のことをいいます。

「**watchOS**」とは、watchOSオペレーティングシステムソフトウェアおよびその後継バージョンのことをいいます。

「**ウェブソフトウェア**」とは、デベロッパの内部使用アプリケーションと同一の権限および実質的に同等の機能ならびに特性を有するデベロッパのソフトウェアアプリケーションのウェブベースバージョン（例：機能パリティ）のことをいいます。

「**ウェブサイトプッシュID**」とは、デベロッパのサイトの登録バンドルに署名するために、および／またはAPNと通信するために、デベロッパが使用するApple証明書とプッシュアプリケーションIDとの組み合わせのことをいいます。

「**デベロッパ**」および「**デベロッパの**」とは、自己のデベロッパアカウントで本契約を受諾した、およびAppleソフトウェアを使用している、またはその他本契約に基づく権利を行使する法人（例：会社、組織、教育機関、政府機関、機関、部門）のことをいいます。

注：誤解を避けるために記すと、デベロッパは、自身のために外部契約者に内部使用アプリケーションを開発させることができますが、当該内部使用アプリケーションは、デベロッパが所有し、デベロッパが自身のデベロッパアカウントで提出し、かつ本契約で明示的に許諾された場合に限り内部使用アプリケーションとして配信するものとします。デベロッパは、デベロッパのアカウントで行われる自身の外部契約者の行為（例えば、デベロッパのチームに外部契約者を加えて開発業務を遂行させること）、および外部契約者による本契約の遵守について、Appleに対して責任を負うものとします。本契約から生じる、デベロッパの外部契約者によってなされたあらゆる行為はデベロッパ自身によってなされたとなされるものとし、かつデベロッパは（デベロッパの外部契約者に加えて）、かかる行為のすべてについてAppleに対して責任を負うものとします。

2. 内部使用ライセンスおよび制限

2.1 許可された使用と制限 ; プログラムサービス

本契約の条項を前提として、Appleはデベロッパに対し、本契約期間中、以下に定める制限付き、非独占的、一身専属的、取消可能、サブライセンス不可、かつ譲渡不能なライセンスを、ここに付与します。

- (a) 本契約で明示的に許可されている場合を除き、デベロッパまたはデベロッパの認定デベロッパがデベロッパの対象製品の開発またはテストのためにのみ内部で使用するために、デベロッパが所有または管理するAppleブランドのコンピュータに、合理的な数のAppleソフトウェアのコピーをインストールすること。
- (b) 本契約で別途明示的に許可される場合を除き、ドキュメントの合理的な数のコピーを作成し、認定デベロッパによる内部使用のみ、および対象製品の開発またはテストのみを目的として認定デベロッパに配布すること。
- (c) 本契約で別途明示的に許可される場合を除き、デベロッパの対象製品の開発およびテストのみを目的として、デベロッパまたはデベロッパの認定デベロッパが内部使用のために、デベロッパの各認定テストユニットに、デベロッパがライセンスを取得した認定テストユニット数を上限として、プロビジョニングプロファイルをインストールすること。
- (d) 承認されたテストデバイスで内部使用アプリケーションを開発およびテストする目的で、デベロッパの認定デベロッパにのみ、内部使用アプリケーションと一緒にプロビジョニングプロファイルを配布すること。
- (e) デベロッパの従業員または許可ユーザーによる内部使用のために、内部使用アプリケーションを導入デバイスに導入する際に、プロビジョニングプロファイルをデベロッパの従業員または許可ユーザーにのみ配布すること。
- (f) デモの受信者に、(i) デベロッパの従業員または許可ユーザーが直接の監督下であり、デベロッパの物理的な建物または許可事業体の物理的な建物(例: デベロッパの施設のラボで実施されたユーザースタディ)にいる、または(ii) その他の場所でこれらの一切の使用がデベロッパの従業員または許可ユーザーが直接の監督下で物理的な制御の下にある(例えば、従業員による販売プレゼンテーション)という条件のもとでのみ、導入デバイスでの内部使用アプリケーションの使用を許可すること、ならびに
- (g) デベロッパの内部使用アプリケーション、パス、Safariプッシュ通知にデジタル署名する目的、およびその他本契約で明示的に許可されている目的で、本契約に従いデベロッパに対して発行されたApple証明書を組み入れること。

第2.1条に定める場合を除き、デベロッパは、いかなる方法においても、デベロッパの内部使用アプリケーションを使用、配布、またはその他の方法で第三者が利用できるようにすることはできません。デベロッパは、デベロッパが許可する事業者がデベロッパに代わってデベロッパの内部使用アプリケーションを許可ユーザーに導入することを許可することができます。ただし、そのような導入は、本契約の条件と少なくともAppleに対する同等の制限と保護を行うことを条件とします(例えば、公開されているウェブサイトや認証されていないサーバへのアプリの掲載は禁止されます)。そのような導入に関連して、または本契約から生じる、デベロッパが許可する事業者によってなされたいかなる行為も、デベロッパによって行われたものと見なされ、(デベロッパが許可する事業者に加えて)デベロッパはすべての当該行為についてAppleに対して責任を負うものとします。Appleは、各ライセンシーが認定テストユニットとして登録できるデバイスの数を制限し、本プログラムに基づいてライセンスを取得する権利を留保します。

Apple は、(例えばデバイスまたはアプリプロビジョニング、マネージングチームまたはその他のアカウントリソースなど)デベロッパがデベロッパアカウントと共に使用するためのプログラムにより、またはかかるプログラムを経由して、サービスへのアクセスを提供することがあります。デベロッパは、(Apple のデベロッパ向けウェブサイトからアクセスできる)プログラムのウェブポータル、またはプログラムと連携して動作するように設計された Apple ブランド製品(例: Xcode)を通じてのみ、かつ Apple の承認を受けた場合に限り、かかるサービスにアクセスすることに同意するものとします。デベロッパ(またはデベロッパの認定デベロッパ)がそうしたほかの Apple ブランド製品を経由してデベロッパアカウントにアクセスする場合、デベロッパは、デベロッパアカウントのいかなる使用にも、また、この方法で(例えば Apple 証明書およびプロビジョニングプロファイルは、本契約で許可された限定的な方法においてのみ使用できるなど)デベロッパ(またはデベロッパの認定デベロッパ)に使用可能となるプログラムのいかなる機能または機能性にも、本契約が継続して適用されることを認め、これに同意するものとします。デベロッパは、プログラムにより、またはプログラムを経由して提供されたサービスの使用またはかかるサービスへのアクセスを通じて、代替または類似するサービスを作成しないこと、または作成を試みないことに同意するものとします。Apple がデベロッパの内部使用アプリケーションに電力およびパフォーマンスの指標を提供する場合、デベロッパは、かかる指標がデベロッパ自身の内部使用のみに使用される可能性があり、(第 2.9 条に定める場合を除き)いかなる第三者にも提供されないことに同意するものとします。

また、デベロッパは、自身のデベロッパアカウントに関連づけられた Apple ID または認証情報 (例えばキー、トークン、パスワードなど) を使用するサービスのみアクセスすることができ、デベロッパはデベロッパの Apple ID および認証情報を不正利用から守り、Apple が認証した方法でのみ使用すること、また、本契約の規定(第 2.8 条および第 5 条を含むがそれらに限定されない)に従って使用することについて、完全な責任を有するものとします。本契約で明示的に許可されている場合を除き、デベロッパは、デベロッパのデベロッパアカウントまたはそれとともに提供されるサービスの全部または一部を、デベロッパのチームの許可されていない人に共有、販売、再販、賃貸、リース、貸与、またはその他の方法でアクセスを提供しないことに同意するものとします。またデベロッパは、Apple Developer Program メンバーに対し、Apple ID、認証情報、または関連するアカウント情報と資料 (例: 配布に使用される Apple 証明書など) をデベロッパに提供するように求めたり要求したりしないことに同意します。デベロッパは、各チームメンバーが、デベロッパのアカウントにアクセスするためには各々の Apple ID または認証情報を保有していなければならないことを理解しているものとします。またデベロッパのアカウントを通じて、またはこれに関連して行われたあらゆる行為について、アカウントの所有者であるデベロッパが全責任を負うものとします。デベロッパが Apple の macOS サーバまたは Xcode サーバ (以下「本サーバ」といいます) が搭載された Apple 製コンピュータを所有またはコントロールし、かつそれを当該プログラムに関するデベロッパ自身の開発目的で使用したい範囲内において、デベロッパは、かかる本サーバによるデベロッパ自身の Apple ID または他の認証情報を使用することに同意し、かつ、かかる本サーバによってなされるあらゆる行為について責任を負うものとします。

2.2 認定テストユニットとプレリリース版 Apple ソフトウェア

認定テストユニットに Apple ソフトウェアのプレリリース版またはサービスのプレリリース版の利用が含まれている限り、デベロッパは、当該認定テストユニットへのアクセスをデベロッパの認定デベロッパに限定すること、また、当該認定テストユニットを第三者に開示、表示、レンタル、リース、貸与、販売その他の方法により譲渡しないことに同意するものとします。また、デベロッパは、すべての認定テストユニットを紛失または盗難から保護すべく、合理的な予防措置を講じ、デベロッパの認定デベロッパにも、かかる保護をするように指示することに同意するものとします。

デベロッパは、デベロッパの認定テストユニットにプレリリース版 Apple ソフトウェアをインストールすること、またはデベロッパの認定テストユニットでプレリリース版サービスを利用することにより、これらの認定テストユニットがテストモードに「ロック」され、現状に復帰させることができなくなる場合があることについて認め、同意するものとします。プレリリース版 Apple ソフトウェアまたはプレリリース版サービスの利用は、評価および開発目的でのみ行うものとし、商用運用環境で使用したり、重要なデータとともに使用したりしてはならないものとします。プレリリース版 Apple ソフトウェアまたはプレリリース版サービスを利用する場合、あらかじめデータをバックアップするものとします。Apple は、デベロッパの導入デバイスまたは認定テストユニットのプロビジョニング、デベロッパの対象製品の開発、または本 Apple ソフトウェアもしくはプレリリース版 Apple サービスのインストールもしくは使用の結果として、デベロッパが被る恐れのある費用、経費、その他の責任 (これには設備の損害、またはソフトウェアや情報もしくはデータの損害、損失または破壊を含みますが、それらに限定されません) について、一切責任を負わないものとします。

2.3 プレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスの秘密性

Apple は、本契約期間中、適宜、デベロッパに対して、Apple の秘密情報を構成するプレリリース版の Apple ソフトウェアまたは Apple サービスを提供することがあり、その場合、本契約において別段の定めがある場合を除き、本契約の秘密保持義務が適用されるものとします。当該プレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスは、最終リリース版の商用グレード製品と同様に機能するものと信頼されるべきでなく、十分かつ定期的にバックアップされていないデータと共に使用されるべきではなく、また、まだ利用できないソフトウェアまたはサービスに関する機能、機能性、API を含んでいることがあります。デベロッパは、Apple がプレリリース版 Apple ソフトウェアまたは Apple サービスの可用性について公表していない場合があること、Apple がデベロッパに対して、当該プレリリース版 Apple ソフトウェアまたは Apple サービスが将来公開されることまたは利用できることについて約束または保証をしていないことを認め、同意するものとします。またデベロッパは、Apple がデベロッパに対して、当該ソフトウェアもしくはサービス、またはこれらと類似性もしくは互換性のある技術が公開または市販されることについて、明示的または黙示的に伝える義務を負わないことに同意するものとします。デベロッパは、プレリリース版 Apple ソフトウェアまたは Apple サービスについてデベロッパが行うリサーチまたは開発は、すべてデベロッパ自身の責任で行われることについて、明示的に認め、同意するものとします。

デベロッパは、プレスリリース版 Apple ソフトウェアまたはサービスを認定デベロッパ以外に提供しないことに同意するものとします。

2.4 複製

デベロッパは、本契約に基づきデベロッパによる作成が許可される Apple ソフトウェアおよびドキュメントのすべての複製・コピーにおいて、Apple の著作権、免責条項その他の知的財産権の表示 (提供される Apple ソフトウェアおよびドキュメントに表示されるもの) を、すべて保持および複製することに同意するものとします。

2.5 所有権

Apple は、Apple ソフトウェア、サービスおよび本契約に基づきデベロッパに提供するアップデートに関する、すべての権利、権原および利益を留保します。デベロッパは、Apple のソフトウェアおよび Apple のサービスに対して、かつ Apple のソフトウェアまたは Apple のサービスに対するあらゆる権利の主張をデベロッパが認識する限りにおいて、Apple の所有権を保持するために Apple に協力することに同意するものとします。また、デベロッパは、Apple ソフトウェアに関する権利の主張があった場合、すみやかに Apple に伝えるための合理的な努力を払うことに同意するものとします。両当事者は、本契約は Apple に対して、デベロッパの対象製品に関するいかなる所有者としての利益も与えていないことを認め、同意するものとします。

2.6 その他の許可される使用の不存在

本契約で特段の定めのない限り、デベロッパは、Apple ソフトウェア、Apple 証明書、またはあらゆるサービスの全部または一部について、レンタル、リース、貸与、ウェブサイトもしくはサーバへのアップロード、ウェブサイトもしくはサーバ上でのホスティング、販売、再配布、または再使用許諾を行わないこと、また、他者がこれらの行為を行うことを可能ならしめないことに同意するものとします。デベロッパは、該当するすべての付属書を含む本契約で明示的に許可されていない目的のために、本契約に基づき提供される Apple ソフトウェア、Apple 証明書、またはサービスを使用することはできません。デベロッパは、Apple SDK を Apple ブランドでないコンピュータでインストール、使用もしくは実行しないこと、および iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、macOS、visionOS、およびプロビジョニングプロファイルを Apple ブランド製品以外のデバイスでインストール、使用または実行しないこと、ならびに他者がこれらの行為を行うことを可能ならしめないことに同意します。デベロッパは、Apple ソフトウェア、Apple 証明書、または Apple ソフトウェアもしくはその他本契約に基づいて提供されるサービス、またはこれらの一部について、複製 (本契約に基づき明示的に許可される場合を除きます)、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、ソースコード取得の試み、改変、復号、または二次的著作物の創造を行うことはできないものとし、これらの行為を行わないこと、および他者がこれらの行為を行うことを可能ならしめないことに同意するものとします (ただし、上記の制限が適用法により禁止される場合、および Apple ソフトウェアに含まれるオープンソースのコンポーネント、またはサンプルコードの使用に適用されるライセンス条件により許可される場合のみを除きます)。デベロッパは、あらゆる Apple ソフトウェア、Apple 証明書、または本契約に基づき提供されるサービスを、許可されていない方法 (ネットワーク容量の超過や過重負荷、または当該 Apple ソフトウェア、Apple 証明書またはサービスにより提供されるデータの収集もしくは不正使用をすることを含みますが、これらに限定されません) で利用しないことに同意するものとします。このような行為を試みることは、Apple ソフトウェアまたは Apple サービスに関する Apple およびそのライセンサーの権利を侵害することになります。デベロッパが上記の制限に違反した場合、訴追および損害賠償請求を受ける恐れがあります。本契約で明示的に付与されていない一切のライセンスは Apple に留保され、Apple は、黙示、明示を問わずその他のいかなるライセンス、免責または権利も、暗示、禁反言その他により付与するものではありません。本契約は、Apple に帰属する何らかの商標、ロゴ、サービスマークを使用する権利をデベロッパに付与するものではありません。これには iPhone または iPod のワードマークを含みますが、これに限定されません。デベロッパが Apple の製品、技術、または Apple の商標の使用に言及する場合、<https://www.apple.com/jp/legal/intellectual-property/guidelinesfor3rdparties.html> に公開されているガイドライン (Apple により随時変更される場合があります) の遵守に同意しているものとみなされます。

2.7 アップデート; サポートおよびメンテナンスの否定

Appleは、いつでも予告なく、Appleソフトウェアまたは本契約に基づき提供されるサービス(もしくはそれらの一部)を拡張、改良またはその他の方法により変更することができますが、AppleソフトウェアまたはAppleサービスのいかなるアップデートもデベロッパに提供する義務を負わないものとします。アップデートがAppleから提供されたときは、当該アップデートに別途のライセンスが添付されている場合(その場合は当該ライセンスの条項が適用されるものとします)を除き、当該アップデートには本契約の条項が適用されるものとします。デベロッパは、かかる変更によってデベロッパにデベロッパの取扱製品の変更またはアップデートが要求される場合があることについて理解するものとします。また、デベロッパは、かかる変更がAppleソフトウェアおよびAppleサービスの使用、アクセス、または連携に関するデベロッパの能力に影響を与える場合があることを認め、これに同意するものとします。Appleは、AppleソフトウェアまたはAppleサービスについて、メンテナンスサポート、テクニカルサポート、その他のサポートを提供する義務を負いません。デベロッパは、Appleが、将来いかなる者に対しても、AppleソフトウェアまたはAppleサービスのアップデートを発表または提供する、明示的または黙示的な義務を負わないことに同意するものとします。アップデートが利用可能になった場合、本契約に基づいてライセンス供与されるAppleソフトウェアまたは本契約に基づいて提供されるサービスに見られるものとは異なるAPI、機能、サービス、または機能性が含まれる場合があります。

2.8 Apple サービスの利用

Appleは、AppleソフトウェアのAPI経由でデベロッパの取扱製品が要求し得る、またはAppleがその他のメカニズムで、例えば本プログラムに基づいてAppleがデベロッパのアクセスを許可するキーの使用を通じて、Appleサービスへのアクセスを提供することがあります。デベロッパは、当該アクセスのためにAppleが提供するメカニズム経由でのみ、かつ、Appleブランド製品で使用するためにのみ、かかるAppleサービスにアクセスすることに同意するものとします。**第2.9条(第三者サービスプロバイダ)**で許可される場合またはその他本契約で定める場合を除き、デベロッパは、Appleサービスを使用するために、Appleがデベロッパに提供するメカニズムへのアクセスを第三者と共有しないことに同意するものとします。さらに、デベロッパは、Appleサービスの使用またはアクセスを通じて、代替もしくは類似サービスを作成しないことまたは作成を試みないことに同意するものとします。

デベロッパは、かかるAppleサービスを使用する資格を有するデベロッパの取扱製品向けのサービスおよび機能を提供するために必要な範囲内でのみ、かつ、Appleがドキュメントを含む書面で許可する場合にのみ、かかるサービスにアクセスして使用することについて同意するものとします。デベロッパは、本契約の条項と矛盾する方法、第三者もしくはAppleの知的財産権を侵害する方法、または、適用法令もしくは規制に違反するいかなる方法でもAppleサービスを使用しないものとします。デベロッパは、Appleサービスが、Appleおよびそのライセンサーが所有し、かつ、適用のある知的財産およびその他の法令で保護される専有コンテンツ、情報およびマテリアルを含むものであることに同意するものとします。デベロッパは、本契約に基づくAppleサービスの許可された使用またはその他Appleが書面で同意する場合を除き、方法の如何を問わず、かかる専有コンテンツ、情報およびマテリアルを使用しないことに同意するものとします。

デベロッパは、デベロッパとデベロッパのエンドユーザーの双方につき、Appleサービスに関する保存容量、送信、または取引上の上限があり得ることを理解するものとします。デベロッパまたはデベロッパのエンドユーザーがかかる上限に達した場合に、デベロッパまたはデベロッパのエンドユーザーは、Appleサービスを使用することができなくなる、または、デベロッパの取扱製品経由または適用のあるエンドユーザーアカウント経由でのかかるAppleサービスへのアクセスまたはかかるAppleサービスからのデータの読み出しができなくなることがあります。デベロッパは、デベロッパの取扱製品経由でのAppleサービスへのアクセスもしくはその使用、またはその中で提供されるいかなるコンテンツ、データもしくは情報のみについていかなる料金もエンドユーザーに請求しないことに同意するものとし、かつ、デベロッパは、方法の如何を問わず、Appleサービスへのアクセスを販売しないことに同意するものとします。デベロッパは、エンドユーザーアカウントを不正に作成しないこと、または自身に適用されるエンドユーザー規約もしくはAppleとのサービス契約に反するよう、もしくはかかるエンドユーザーサービスに関するApple利用ポリシーに反するようエンドユーザーを促さないことに同意するものとします。本契約で明示的に定める場合を除き、デベロッパは、エンドユーザーのかかるサービスへのいかなるアクセスまたはその使用も阻害しないことに同意するものとします。

Apple は、いつでも、予告なく、Apple サービスまたはその一部へのアクセスを変更、停止、廃止、拒否、制限、または無効化する（サービスへのアクセスを可能にする権利の剥奪またはそうしたサービスへのアクセスを可能にする Apple ソフトウェアにおける API の変更、またはデベロッパに権利を付与しないことを含みますが、それらに限定されません）権利を留保します。いかなる場合も、Apple は、前述のアクセスの剥奪または無効化のいずれについても、一切責任を負いません。Apple は、いつでも、デベロッパへの予告なくまたは責任を負うことなく、自らの自由裁量で、Apple サービスの使用もしくはアクセスに関する上限および制限を課し、Apple サービスを無期限に削除し、デベロッパの Apple サービスへのアクセスを剥奪し、または Apple サービス（またはその一部）を取り消すことがあります。

Apple は、あらゆる Apple サービスにより表示されるいかなるデータまたは情報の可用性、正確性、完全性、信頼性または適時性も保証しません。デベロッパが、デベロッパの取扱製品で、Apple サービスの利用を選択する範囲内において、デベロッパは、かかるデータまたは情報をデベロッパ自身が信頼したことについて、責任を負うものとします。デベロッパは、Apple ソフトウェアおよび Apple サービスのデベロッパ自身による使用につき責任を負い、かつ、デベロッパがかかるサービスを使用する場合に、サービスのデベロッパによる使用の一部として、ホスティングのためにデベロッパが Apple に提供するあらゆるコンテンツを含む（これらに限定されません）、あらゆるデベロッパのコンテンツ、情報、およびデータの適切な代替のバックアップを維持することに責任を負うものとします。デベロッパは、本契約の期間満了または解除時に、デベロッパが、特定の Apple サービスにアクセスできない場合があること、および Apple が、本契約に基づき提供されたかかるサービスのデベロッパによる使用を通じて、デベロッパまたはデベロッパの取扱製品が保存したコンテンツ、データまたは情報へのアクセスを停止し、または削除する権利を留保することにつき、理解して同意するものとします。デベロッパは、Apple サービスを利用する前に、Apple が掲載するドキュメント、およびポリシー通知を確認する必要があります。

Apple サービスは、すべての言語、または国もしくは地域で利用できるわけではなく、Apple は、いかなる特定の地域における使用もしくはいかなる特定の製品の使用についても、かかるサービスが適切、正確、利用可能であると表明しないものとします。デベロッパが、デベロッパのアプリケーションで、Apple サービスの利用を選択する範囲内において、デベロッパは、デベロッパ自身の自発性に基づきかかる行為をなすものとし、かつ、あらゆる適用法令の遵守について責任を負うものとします。Apple は、デベロッパによる Apple サービスの利用につき料金を課す権利を留保します。Apple は、Apple サービスの料金または料金の改定につき、電子メールでデベロッパに通知します。かつ、かかる料金に関する情報は、本プログラムウェブポータル、または CloudKit コンソールに掲載されます。Apple サービスの可用性と料金設定は、適宜変更される場合があります。さらに、Apple サービスは、すべての取扱製品に対して利用可能であるとは限らず、かつ、すべてのデベロッパが利用できるとは限りません。Apple は、いつでも、その自由裁量で、一部またはすべてのデベロッパに対して、Apple サービスを提供しない（または提供を中止する）権利を留保します。

2.9 第三者サービスプロバイダ

ドキュメントまたは本契約で Apple が特に禁止しない限り、デベロッパは、本契約に基づき提供される Apple ソフトウェアおよびサービスの利用において支援を受けるため、第三者（以下「サービスプロバイダ」といいます）を雇用または起用することが許可されます。これには、当該サービスプロバイダが、デベロッパに代わってデベロッパの内部使用アプリケーションのサーバを維持および管理することが含まれますがこれらに限定されません。ただし、当該サービスプロバイダによる Apple ソフトウェアおよびサービスまたはこれらに関連するあらゆるマテリアルの使用は、デベロッパに代わってのみ、かつ本条件に準拠する場合に限って、行われるものとします。デベロッパは、本契約に含まれるものと最低限同程度に、制限的かつ Apple を保護する条項を有する、デベロッパのサービスプロバイダとの、法的拘束力のある書面による契約を締結することに同意するものとします。デベロッパの内部使用アプリケーション、または Apple ソフトウェアもしくは Apple サービスの使用に関する、または本契約に起因する、かかるサービスプロバイダが行うあらゆる行為はデベロッパが行った行為とみなされ、かつ、（サービスプロバイダに加えて）デベロッパは、Apple に対して、すべてのかかる行為（またはあらゆる不作為）につき責任を負うものとします。サービスプロバイダによる作為または不作為が本契約に対する違反を構成する、または、その他のあらゆる損害を引き起こす場合に、Apple は、デベロッパに対し、かかるサービスプロバイダの使用の中止を要求する権利を留保します。

3. デベロッパの義務

3.1 一般

デベロッパはAppleに対し、以下のすべての事項を保証し、同意するものとします。

(a) デベロッパは、その居住する法域における法律上の成人(多くの国または地域では18歳以上)であり、デベロッパ企業、組織、教育機関、または政府機関、機関、もしくは部門に代わって本契約を締結する権利および権限を有すること、および、当該事業体または組織を本契約の条項および義務に法的に拘束する権利および権限を有すること。

(b) デベロッパが、Appleまたはデベロッパのエンドユーザーに対し、本契約またはデベロッパの対象製品に関連して提供するすべての情報は、最新、真正、正確、裏付けのある、かつ完全なものであり、デベロッパがAppleに提供する情報について、デベロッパは、当該情報のいかなる変更についてもAppleに対して速やかに通知すること。デベロッパのプログラムアカウントに関してAppleがデベロッパに連絡できるように、かかる変更をAppleに通知することは、デベロッパの責任となります。

(c) デベロッパは、本契約の条件を遵守し、本契約に基づくデベロッパの義務を履行すること。

(d) デベロッパは、デベロッパの認定デベロッパ、従業員、許可ユーザー、およびデモ受信者によるAppleソフトウェア、サービス、および導入デバイスの使用を監視し、責任を負うことに同意すること。これには、デベロッパの従業員によるAppleソフトウェアおよびサービスの使用に必要な同意を得ることが含まれますが、これに限定されるものではありません。また、認定デベロッパ、従業員、許可ユーザー、およびデモ受信者によるデベロッパの内部使用アプリケーションの使用を監視し、完全に責任を負うことに同意すること。

(e) デベロッパは、Appleソフトウェア、サービス、導入デバイス、デベロッパの対象製品、および本契約に基づくデベロッパの関連する開発と導入の取り組みに関連して、デベロッパ、デベロッパの許可事業体、デベロッパの認定デベロッパ、従業員、デベロッパの許可ユーザー、およびデベロッパのデモ受信者によって発生したすべての費用、経費、損失、および責任、ならびに活動について単独で責任を負うこと。

(f) デベロッパは、デベロッパが負う既存の義務もしくは責務と抵触する態様、またはそのような義務もしくは責務を妨げる態様で行為しないこと。ならびにデベロッパがこれまでに締結した契約は、本契約に基づくデベロッパの義務の遂行を妨げないこと。

3.2 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスの使用

Apple ソフトウェアおよび Apple サービスを使用する条件として、デベロッパは以下のすべての事項に同意するものとします。

(a) デベロッパは、Apple ソフトウェアおよびあらゆるサービスを、本契約により明示的に許可された目的のためにのみ、本契約により明示的に許可された方法により、適用されるすべての法令に従って、使用すること。

(b) デベロッパは次のことを行うために、AppleソフトウェアまたはいかなるAppleサービスも使用しないものとします。

(1) 非合法もしくは違法な行為をなすため、または犯罪やその他の不法行為、非合法もしくは違法な行為に関与するもしくはそうした行為を促進する可能性がある対象製品を開発するため、(2) 暴力行為、テロリズム、その他の重大な害を及ぼすと脅す、そそのかす、もしくは促すため、または(3) 子供を性的に搾取または虐待することを助長するコンテンツや活動を作成または配信するため。

(c) デベロッパの内部使用アプリケーション、ライブラリ、またはパスは、「ドキュメントおよびプログラム要件」(現行の要件は下述の**第 3.3 条**に定めるもの)を遵守して開発されること。

(d) デベロッパの知る限りおよび信じる限りにおいて、デベロッパの対象製品は、サードパーティまたはAppleの著作権、商標、プライバシーとパブリシティに関わる権利、企業秘密、特許その他の知的財産権もしくは法的権利(例えば、デベロッパの内部使用アプリケーションまたはパスに含まれる可能性のあるコンテンツとマテリアルに関する原盤権や実演化権、映像化権、写真あるいは画像に関する権利、ロゴの権利、サードパーティのデータに関する権利など)を妨害、不正使用、または侵害しておらず、今後も侵害しないこと。

(e) Appleソフトウェア、Apple証明書、Appleサービスまたはその他のサービス手段を通じて、次のことを行う取扱製品またはその他のコードまたはプログラムを作成しないこと。(1) 無効化、ハッキング、またはその他の手段で、iOS、watchOS、iPadOS、tvOS、visionOS、Appleソフトウェア、もしくはあらゆるサービスもしくはその他のAppleソフトウェアやテクノロジーに実装されている、あらゆるセキュリティ、デジタル署名、デジタル著作権管理、検証もしくは認証メカニズムを妨害すること、またはAppleによる書面の許可がある場合を除き他者がそうした妨害を行うことができるようにすること、または(2) あらゆるユーザー、ネットワーク、コンピュータ、通信システムのセキュリティ、整合性、可用性を侵害すること。

(f) デベロッパは、直接または間接を問わず、Apple ソフトウェアまたはサービス、本契約の意図、または Apple のビジネス慣行(Apple ソフトウェアまたはプログラムの実行または意図された使用を妨げる可能性のある行為を含む)がこれに

3.3.5 iOS 向け内部使用アプリケーションは、ユーザーが iPadOS 上で互換モードで実行する際に最低限同一の機能および特性を有する必要があります(例えば、iPad 上で iPhone と同等のサイズのウインドウで実行する iPhone アプリは、iPhone 上で起動する時と実質的に同一の方法で機能しなければなりません。ただし、この義務は、カメラ以外の機器のビデオ録画機能など、特定のハードウェア機器ではサポートされない機能または特性には適用されません)。また、デベロッパは、互換モードでデベロッパの内部使用アプリケーションを運用することを妨害しないこと、またはかかる妨害を試みないことに同意すること。

3.3.6 デベロッパは、ドキュメントに記載された本来の目的のためにのみマルチタスクサービスを使用することができること。

ユーザーインターフェイス; データ収集、現地法およびプライバシー:

3.3.7 内部使用アプリケーションは、Apple が提供するヒューマンインターフェイスガイドライン (HIG) およびその他のドキュメントに準拠する必要があります。デベロッパは、HIG に従って、Apple ブランド製品(例えば、Watch App には、HIG の watchOS 設計テーマに従って迅速なインタラクションのために設計されたユーザーインターフェイスが必要です。)の設計と互換性のある、デベロッパの内部使用アプリケーションに適したユーザーインターフェイスおよび機能性を開発することに同意するものとします。

3.3.8 デベロッパの内部使用アプリケーションがビデオ、マイク、画面記録、またはカメラ記録をキャプチャまたは作成する場合、(例えば、画像、写真、音声またはスピーチのキャプチャ、または他の記録) (以下「記録等」と総称)がデバイスに保存されているか、サーバに送信されているかに関わらず、記録等が行われていることを示すために、内部使用アプリケーションの一部として、合理的に目立つ聴覚的、視覚的、またはその他のインジケータをユーザーに表示する必要があります。

- さらに、デベロッパの内部使用アプリケーションによって、内部使用アプリケーションを介して、または内部使用アプリケーションに関連して実行されるデータ、コンテンツまたは情報の収集、処理、メンテナンス、アップロード、同期、保存、送信、共有、開示、または使用の形式は、すべての適用されるプライバシー関連の法律および規制、および関連するすべてのプログラム要件 (通知または同意の要件を含みますが、これらに限定されません) に準拠する必要があります。

3.3.9 デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーション (およびデベロッパが広告の提供を契約した第三者) は、ユーザーから直接取得されたデータであるか、Apple ソフトウェア、Apple サービス、または Apple SDK を使用して取得されたデータであるかに関わらず、事前のユーザーの同意なしにユーザーまたはデバイスのデータを収集してはならず、内部使用アプリケーションの使用に直接関連するサービスまたは機能を提供するため、または**第3.3.12条**に従って広告を提供するためにのみ収集することができます。デベロッパは、データ収集の拡張または変更に関するユーザーの事前の同意なくして、以前に収集されたユーザーデータまたはデバイスデータを拡張またはその他の方法で使用範囲を変更することはできないこと。さらに、デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションは、デバイスを一意に識別する目的で、永続的なデバイスベースの識別子またはそれから派生したデータを使用しません。

3.3.10 デベロッパはユーザーデータまたはデバイスデータの収集、使用、開示に関する明確で完全な情報をユーザーに提供する必要があります。例えば、デベロッパの内部使用アプリケーションのユーザーデータおよびデバイスデータの使用方法に関する説明です。さらに、デベロッパは、第三者による不正な使用、開示、またはアクセスから当該データを保護するための適切な措置を講じなければならないこと。ユーザーがデベロッパによるデバイスデータまたはユーザーデータの収集、使用、または開示に同意することを取り止めた場合、または積極的に同意を撤回した場合、デベロッパ (およびデベロッパが広告をするために契約を締結したあらゆる第三者) は当該データの使用すべてを直ちに中止しなければならないこと。デベロッパはプライバシーポリシーを、内部使用アプリケーションで提供するか、またはエンドユーザーに対して、ユーザーデータまたはデバイスデータの収集、使用、開示、共有、保持、および削除について説明する別の方法で提供する必要があります。デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションから収集されたユーザーデータが

侵害された場合、適用法に従って、デベロッパのユーザーに通知すること(例えば、ユーザーデータの意図しない開示または誤用があった場合、ユーザーに通知する電子メールを送信します)に同意するものとします。

3.3.11 内部使用アプリケーションは、適用されるすべての刑事、民事、および法令および規制に準拠する必要があります。これには、内部使用アプリケーションが提供または利用可能になる法域の法律および規制も含まれます。また、以下についても確認してください。

- デベロッパおよび内部使用アプリケーションは、ユーザーデータまたはデバイスデータ(例えば、ユーザーの IP アドレス、ユーザーのデバイス名、ユーザーに関連付けられているインストール済みアプリなど)の収集、使用、または開示に関して適用されるすべてのプライバシーおよびデータ収集に関する法律および規制に準拠する必要があります。

- 内部使用アプリケーションは、嫌がらせ、悪用、スパム、ストーカー行為、脅迫、またはその他の方法で他者の法的権利(プライバシーやパブリシティの権利など)を侵害することを目的として設計または販売されてはなりません。

- デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションのいずれも、Appleまたはそのライセンサーが提供するソフトウェア、データまたはサービスをスクレイピング、マイニング、検索、キャッシュ、分析またはインデックスするために、いかなる機能を実行したり、いかなるコンテンツ、サービス、情報またはデータにリンクしたり、またはいかなるロボット、スパイダー、サイト検索、またはその他の検索アプリまたはデバイスを使用したり、またはかかるデータを取得する(または取得しようとする)ことはできません。ただし、Appleがかかるサービスに関連してデベロッパに明示的に提供または提供するデータは除きます。デベロッパは、当該データを不正な目的で収集、流布、または使用しないことに同意すること。

- デベロッパの内部使用アプリケーションが人体の研究を目的としている場合、または個人データ(例えば、健康記録の保存)を含む可能性のある臨床的健康関連の使用のために HealthKit API を使用している場合、デベロッパは、そのような研究または臨床的健康の目的の一部として、個人を特定できるデータの意図された使用および開示について参加者に通知し、そのような研究または臨床的健康の目的のためにデベロッパの内部使用アプリケーションを使用する参加者(またはその保護者)から同意を得ることに同意するものとします。さらに、デベロッパは、デベロッパが匿名化またはコード化された情報を提供する第三者に対して、参加者の承諾なく、かかる情報を使用して参加者を再特定する(または再特定を試みる)ことを禁止するものとし、また、当該第三者に対して、匿名化またはコード化された情報を受領するその他一切の者に前記の制限を課すべき旨を要求することに同意すること。

広告識別子およびトラッキング設定 ; 広告ネットワーク API :

3.3.12 デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーション(ならびにデベロッパが広告の提供を契約した第三者)は、広告の提供のみを目的として、広告識別子、および広告識別子を使用して取得した情報を使用することができます。ユーザーが広告識別子をリセットした場合、そのあと、デベロッパは、直接または間接を問わず、以前の広告識別子および派生情報とリセットされた広告識別子との結合、相関、リンクまたはその他の関連付けをしないことについて同意すること。広告サポート API へのアクセスを提供する iOS バージョンまたは tvOS バージョン用にコンパイルされた内部使用アプリケーションについては、デベロッパは広告識別子を使用して広告を提供する前にユーザーのトラッキング設定を確認することに同意し、広告識別子の使用、および追跡するその他のあらゆるユーザーデータとデバイスデータの使用に関してユーザーが設定したトラッキング設定に従うことに同意するものとします。

さらに、デベロッパは、アプリケーション広告のコンバージョンイベントを追跡するために広告ネットワーク API を使うよう要請できること。デベロッパが、広告ネットワーク API の使用許可を与られている場合であっても、広告のコンバージョンイベントの一環として広告検証情報を検証する以外の目的のために、当該 API、または広告ネットワーク API の使用を通じて取得した情報を使用しないことに同意すること。デベロッパは、広告ネットワーク API の使用を通じて広告検証の一環として提供された情報を、直接または間接を問わず、デベロッパがユーザーについて有する他の情報との結合、相関、リンクまたはその他の関連付けをしないことに同意すること。Apple は、自身の単独の裁量により、広告ネットワーク API を使用するリクエストを拒否する権利を留保すること。

位置情報およびマップ;ユーザーの同意:

3.3.13 位置情報に基づく API (例: Core Location, MapKit API, Apple Maps Server API) を使用するか、またはその他の方法で位置情報に基づくサービスを提供する内部使用アプリケーションは、車両の動作の自動または自律制御のため、または緊急または人命救助のために設計または販売されない場合があります。

3.3.14 位置情報サービスまたは機能を提供する、または Apple ソフトウェアまたは Apple サービスの使用を通じて他の方法でユーザーの位置を取得する、または取得を試みる内部使用アプリケーションは、当該アプリによりユーザーの位置情報データが収集、送信その他の方法により使用される前に、当該ユーザーに通知し、その同意を得なければならない。そうしたデータはユーザーが同意した方法で、かつ本契約で許可された方法で使用されなければならないこと。例えば、ユーザーの位置データを継続的に収集して使用する目的でデベロッパがデベロッパの内部使用アプリケーションで「常に」位置オプションを使用する場合は、明確に定義された正当な理由およびユーザーのメリットを提供しなければならない。そうした提供は許可を得る際にユーザーに対して表明する必要があります。

3.3.15 デベロッパが、Apple マップサービスを通じて提供される Apple マップと併用して、デベロッパ自身の位置情報サービス、データ、または情報の提供を選択する場合 (例えば、Apple マップの上に、デベロッパが作成したマップまたはルートをオーバーレイすること)、デベロッパは、デベロッパのサービス、データまたは情報が、使用されている Apple マップと正確に整合するようにすることについて単独で責任を負うこと。リアルタイムナビゲーション用に位置情報ベースの API を使用する内部使用アプリケーション (センサーの使用によって可能になるターンバイターン方式のナビゲーションおよびその他のナビゲーションを含むが、これに限定されない) の場合は、デベロッパは次の注意事項を含むエンドユーザー使用許諾契約を締結する必要があります。このリアルタイムルートガイダンスアプリケーションを利用する場合、ご自身の責任で利用してください。位置情報データは、正確でない可能性があります。

3.3.16 内部使用アプリケーションは、Apple が実行するシステムアラート、警告、ディスプレイパネル、同意パネルなどを無効にしたり、オーバーライドしたり、その他の方法で妨害してはならないものとし、これには、ユーザーの位置データ、アドレス帳データ、カレンダー、写真、音声データ、またはリマインダーが収集、送信、維持、処理もしくは使用されていることをユーザーに通知することを目的としたもの、またはそのような使用についての同意を得ることを目的としたものを含みますが、これらに限定されません。また、デベロッパがそうしたアラート、警告、および表示パネルに説明 (例えば、カメラ API 用の目的文字列の中の情報) を追加することができる場合、そうした説明は正確でなければならない。使用範囲を不正確に伝えるものであってはならないこと。同意が拒否または撤回された場合、内部使用アプリケーションは、かかるデータの収集、送信、維持、処理、使用、またはユーザーが同意を拒否もしくは撤回したその他の行為をしてはならないこと。

3.3.17 内部使用アプリケーション (または該当する場合はウェブサイトまたはウェブアプリ) が iOS バージョン 6 以降を実行しているデバイスから MapKit API, Apple Maps Server API, または MapKit JS を使用またはアクセスする場合、内部使用アプリケーション (または該当する場合はウェブサイトまたはウェブアプリ) は、Apple マップサービスにアクセスし、それを使用します。MapKit API, Apple Maps Server API, MapKit JS, Apple マップサービスのすべての使用は、(プログラム要件を含む) 本契約および付属書 5 (Apple マップサービスの利用に関する付加条件) の条件に従う必要があります。

コンテンツおよびマテリアル:

3.3.18 デベロッパの内部使用アプリケーションに収録されているマスターレコードおよび楽曲はすべて、デベロッパが完全に所有するか、または料金、ロイヤルティ、またはその他の金額を Apple がデベロッパまたは第三者に支払う必要がないように対価が全額支払い済みの状態で、デベロッパにライセンスが付与されている必要があります。さらに、デベロッパの内部使用アプリケーションが米国外で配布される場合、デベロッパの内部使用アプリケーションに収録されているマスターレコードおよび楽曲は、(a) 現在または将来において、録音権または演奏権/通信権を収集またはライセンス管理している組織のレパトリリーに該当してはならず、(b) ライセンスが付与されている場合は、デベロッパ

の内部使用アプリケーションに対して、該当する各著作権の所有者によって独占的にライセンスが付与されている必要があります。

3.3.19 デベロッパの内部使用アプリケーションに他のコンテンツが含まれている場合、または含まれる予定の場合、デベロッパは、そのようなすべてのコンテンツを所有するか、コンテンツ所有者からデベロッパの内部使用アプリケーションでそのコンテンツを使用する許可を得る必要があります。

3.3.20 内部使用アプリケーションには、Appleの合理的な判断で好ましくない、または不適切であると判断されるコンテンツまたはマテリアル(テキスト、グラフィック、画像、写真など)を含めることはできません。例えば、わいせつ、ポルノ、中傷的と見なされるマテリアルなどです。

3.3.21 内部使用アプリケーションには、Appleソフトウェア、Appleサービス、Appleブランド製品、またはその他のソフトウェア、ファームウェア、ハードウェア、データ、システム、サービス、またはネットワークに損害を与えたり、破壊したり、悪影響を与えたりする可能性のあるマルウェア、悪意のあるコード、有害なコード、プログラム、またはその他の内部コンポーネント(例えば、コンピュータウイルス、トロイの木馬、「バックドア」など)が含まれてはなりません。

3.3.22 デベロッパの内部使用アプリケーションにFOSSが含まれている場合、デベロッパは該当するすべてのFOSSのライセンス条件を遵守することに同意するものとします。また、デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションの開発において、AppleソフトウェアのFOSS以外の部分がFOSSのライセンス条件または義務の対象となるような方法でFOSSを使用しないことに同意するものとします。

3.3.23 デベロッパがプロモーションの唯一のスポンサーであり、デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションが適用法を遵守し、デベロッパがそのようなアプリを利用可能にし、プロモーションが行われる国、領土、または地域で適用される登録要件を満たしている場合、デベロッパの内部使用アプリケーションには、プロモーションの懸賞またはコンテスト機能を含めることができます。デベロッパは、自身が一切のプロモーションおよび賞金について単独で責任を負うことに同意すること。かつ、各プロモーションについて、Appleが当該プロモーションのスポンサーではなく、その実施について一切責任を負わないことを、法的拘束力のある正式な規定に明記することに同意すること。

3.3.24 デベロッパの内部使用アプリケーションには、デベロッパが慈善寄付を可能にする国、領土、または地域において、適用される法律(これには領収書の発行も含まれる場合があります)を遵守し、適用される規制または登録要件を満たすことを条件として、エンドユーザーが慈善寄付を行うことができるデベロッパのウェブサイトのページへの直接リンクを含めることができます。また、デベロッパは、Appleが寄付金の募集者ではないことを明示することに同意すること。

MFfi アクセサリ:

3.3.25 デベロッパの内部使用アプリケーションは、(i) デベロッパがデベロッパの内部使用アプリケーションを最初に提出した際に、MFfi Program に基づいて当該 MFfi アクセサリに関するライセンスが付与され、(ii) MFfi ライセンシーがデベロッパの内部使用アプリケーションを、MFfi アクセサリとの相互運用を認めるリストに追加しており、かつ、(iii) MFfi ライセンシーが、MFfi Program から当該追加について承認を得ている場合のみ、ワイヤレストランスポートを通じて、または Apple のライトニングケーブルを通じて、または Apple の 30 ピンコネクタを通じて、MFfi アクセサリ(上に定義)とのインターフェイス接続、通信、またはその他の相互運用またはコントロールを行うことができること。

法令遵守:

3.3.26 デベロッパは、適用されるあらゆる規制における要件を満たすこと。これには、本契約に従った、米国におけるデベロッパの内部使用アプリケーションの製造および使用に関連する、すべての適用される法律、規則、および政策の完全な遵守、特に米国食品医薬品局(以下「FDA」といいます)、ならびにFAA、HHS、FTC、およびFCCなどのその他の米国規制当局の要件、かつ、デベロッパが使用、またはデベロッパの内部使用アプリケーションを使用可能にするあらゆる国、領土、または地域における法律、規則、およびその他の適用される規制当局(例えばMHRA、CFDA)の施策

が含まれます。ただし、デベロッパは、デベロッパはいかなる規制上の許諾も求めないこと、また、Apple製品が規制の対象とみなされる可能性のある、またはAppleに義務や制限を課す可能性のあるいかなる決定もしないことに同意すること。デベロッパは、デベロッパが本契約の利用規約に従って、デベロッパの内部使用アプリケーションを利用可能にすることを計画している米国およびその他の国、領土、または地域におけるデベロッパの内部使用アプリケーションの使用に関連して、すべてのFDAの法律、規制、およびポリシーを含むがこれに限定されない、適用される法律、規制、およびポリシーを完全に遵守することを表明し、保証するものとします。また、デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションを、認可または承認された意図する使用/適応にのみ用い、適用される規制上の要求事項に厳密に準拠することを表明し、保証するものとします。Appleから要請があった場合、デベロッパはかかる許認可に関するドキュメントを速やかに提供することに同意するものとします。FDAまたは規制上の審査プロセスの一環としてデベロッパの内部使用アプリケーションを審査またはテストする必要がある他の政府当局から要求された場合、デベロッパは審査目的で当該当局にデベロッパの内部使用アプリケーションを提出するものとします。さらに、デベロッパは、かかる規制上の要求事項に関連するデベロッパの内部使用アプリケーションに関する苦情または苦情の恐れについて、**第14.5条**に定める手続きに従って速やかにAppleに通知することに同意するものとします。

携帯電話ネットワーク：

3.3.27 内部使用アプリケーションが携帯電話ネットワークへのアクセスを必要とする場合、または携帯電話ネットワークにアクセスできるようになる場合は、そのような内部使用アプリケーションは、さらに、

- 内部使用アプリケーションによる携帯電話ネットワークへのアクセスおよびその使用の方法に関するAppleのベストプラクティスおよびその他のガイドラインを遵守しなければならず、かつ、

- ネットワーク容量または帯域幅を過剰に使用し、またはこれらに極度な負担をかけるとAppleが合理的に判断するものであってはなりません。

3.3.28 一部の携帯電話ネットワーク事業者は、携帯電話ネットワーク上でのVoIP電話の使用など、ネットワーク上でのボイスオーバーインターネットプロトコル (VoIP) 機能の使用を禁止または制限したり、VoIPに関連して追加料金やその他の料金を課す場合があるため、デベロッパは、使用前に、デベロッパの従業員または許可ユーザーに、当該事業者との契約条件を確認するよう通知することに同意します。さらに、デベロッパの内部使用アプリケーションが、当該当事者にSMSメッセージの送信またはモバイルデータ通信機器による音声通話を許可する場合、デベロッパは、当該使用に対して標準のテキストメッセージング料金またはその他の通信料金が適用されることを、当該ユーザーに対し当該機能を使用する前に通知する必要があります。

Appleプッシュ通知サービスおよびローカル通知：

3.3.29 Appleのプッシュ通知サービスまたはローカル通知を通じたプッシュ通知の使用はすべて、本契約(プログラム要件を含みます) および付属書1 (Appleのプッシュ通知サービスおよびローカル通知に関する付加条件) の条件を遵守しなければならないこと。

モバイルデバイスの管理および設定プロファイル：

3.3.30 MDMおよび構成プロファイルのすべての使用は、本契約(プログラム要件を含む) および付属書2 (MDMの使用に関する付加条件) の条件を遵守する必要があります。本契約に基づくMDMおよび構成プロファイルの使用は、営利企業(企業、教育機関、政府機関など)のみを対象とし、消費者または個人による使用は(Appleが書面で明示的に許可した場合を除き)対象としません。デベロッパは、構成プロファイルの使用につながるユーザーアクションが行われる前に、収集するユーザーデータの種類、および収集したユーザーデータがアプリ画面またはその他の通知メカニズムでどのように使われるかを明確に表示しなければならないこと。デベロッパは、構成プロファイル経由で取得したユーザーデータを、広告プラットフォーム、データブローカー、または情報再販業者に共有または販売することはできないこと。さらに、デベロッパは、構成プロファイルまたはその他の構成プロファイルメカニズムのための同意パネル

をオーバーライドできないこと。

iCloud:

3.3.31 iCloudストレージAPIとCloudKit APIのすべての使用、および本契約に基づくiCloudサービスの使用は、本契約(プログラム要件を含む)および付属書3(iCloudを使用するための付加条件)の遵守する必要があります。

ウォレット:

3.3.32 デベロッパによるパスの開発、ならびに本契約に基づくパスタイプ ID およびウォレットの使用は、本契約(プログラム要件を含みます)および付属書4(パスに関する付加条件)の条件を遵守しなければならないこと。

追加サービスまたはエンドユーザープレリリース版ソフトウェア:

3.3.33 Appleは、デベロッパがデベロッパの内部使用アプリケーションに関連して、または評価目的でエンドユーザーとして使用するために、追加のサービスまたはプレリリース版のAppleソフトウェアへのアクセスを、随時提供する場合があります。これらの中には、本契約のほか、別途定める条件の適用を受けるものもあり、その場合、デベロッパによる利用は、当該条件の適用を受けること。当該サービスまたはソフトウェアは、すべての言語で、またはすべての国もしくは地域で利用可能であるとは限らず、またAppleは、それらが特定の地域での利用に適していることや利用可能であることについて、いかなる表明もしないものとします。デベロッパが当該サービスまたはソフトウェアにアクセスすることを選択する限りにおいて、デベロッパは自発的にアクセスするものとし、現地の法令をはじめとし適用されるあらゆる法令を遵守する責任を負担すること。当該ソフトウェアにAppleのFaceTimeまたはメッセージ機能が含まれる場合、デベロッパは、かかる機能を使用する際、当該ソフトウェアおよび機能の提供および改良のため、電話番号およびデベロッパの認定テストユニットと接続されたデバイスの識別子、ならびにデベロッパが提出した電子メールアドレスまたはApple ID情報を、Appleが使用および保持する可能性があることを認め、同意すること。Appleソフトウェアを通じてデベロッパのアクセスを可能にするサービスは、第三者から提供される場合があること。デベロッパは、当該第三者サービスまたはAppleの提供するあらゆるサービスについて、Appleが、デベロッパおよびエンドユーザーをはじめとするその他の者に対して一切の責任を負わないことを認めること。Appleおよびそのライセンサーは、随時、サービスへのアクセスを変更、中止、削除、または無効化する権利を有すること。いかなる場合にも、Appleは、かかるサービスに対するアクセスの削除または無効化について、一切責任を負わないこと。さらに、当該ソフトウェアまたはサービスの商用リリース時に、またはAppleが求める場合はそれよりも前に、デベロッパは、本契約に基づき、評価のため、エンドユーザーとして、デベロッパに提供されたプレリリース版AppleソフトウェアまたはAppleサービスのすべての使用を中止することに同意すること。

3.3.34 デベロッパの内部使用アプリケーションが、Appleソフトウェアを通じてGoogleセーフブラウジングサービスにアクセスする場合、当該アクセスには、<https://developers.google.com/safebrowsing/terms>に規定されているGoogleのサービス条件が適用されること。デベロッパが当該サービス条件に同意しない場合、デベロッパの内部使用アプリケーション内でGoogleセーフブラウジングサービスを使用することはできず、かつ、デベロッパは、かかる使用が当該サービス条件への同意を意味することについて認め、同意すること。

3.3.35 デベロッパの内部使用アプリケーションが Address Book API 経由でエンドユーザーのアドレス帳のデータにアクセスする場合、デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションがエンドユーザーのアドレス帳データにアクセスする前に、またはかかるデータを使用する前に、当該エンドユーザーへの通知およびエンドユーザーの同意の取得をする必要があること。また、デベロッパの内部使用アプリケーションは、エンドユーザーデバイスの外部に、エンドユーザーのアドレス帳の Facebook データ部分のみをすべて、自動的に送信するメカニズムを提供できないものとします。疑義を避けるため、これは、ユーザーへの通知およびユーザーの同意の要件が満たされている限り、ユーザーのアドレス帳のすべてを包括的に自動送信することを禁止するものではありません。また、ユーザーがユーザーのアドレス帳データの一部を手動で送信すること(例えば、切り取って貼り付けるなど)、またはユーザーが送信する特定のデータ項目を個別に選択することを可能にすることを禁止するものではありません。

機能拡張:

3.3.36 内部使用アプリケーションバンドルにおける拡張機能を含むアプリは、内部使用アプリケーションが WatchKit 拡張機能を含む場合を除き、単なる拡張機能を超える何らかの機能性 (例えば、ヘルプスクリーンや追加設定など) を提供しなければならないこと。また、以下についても確認してください。

- 拡張機能 (WatchKit 拡張機能を除く) には、その拡張ビューに広告、製品プロモーション、ダイレクトマーケティング、またはアプリ内での購入の申込みを含めることはできません。
- 拡張機能は、Apple ブランド製品の画面全体をブロックすることはできず、ほかのデベロッパのアプリケーションもしくは Apple が提供する機能やサービスのユーザーの使用について、非公開または想定外の方法で転送、妨害、干渉することもできません。
- 拡張機能は、ドキュメントで規定するとおり、iOS、watchOS、iPadOS、または tvOS の、Apple が指定するエリアにおいてのみ運用することができること。
- キーボード機能を提供する拡張機能は、あらゆるネットワークアクセスの独立性を保つことができなければならない、かつ、Unicode 文字を含んでいなければならないこと (絵文字のみではなく)。
- かかる拡張機能により行われるいかなるキーストロッキングも、エンドユーザーに対し、当該データが iOS または iPadOS から送信される前に、明確に開示されなければならない、かつ、**第 3.3.9 条**の定めに関わらず、当該データはデベロッパの内部使用アプリケーションのキーボード機能の提供または改善目的でのみ使用することができること (例えば、広告提供目的で使用してはならない)。
- 拡張機能により行われるいかなるメッセージフィルタリングも、エンドユーザーに対して、明確に開示されなければならない、かつ、**第 3.3.9 条**の定めに関わらず、いかなる SMS または MMS データも、メッセージフィルタリング拡張機能を通じてアクセスされるのか、または iOS によってメッセージング拡張機能の対応サーバに対して送信されるのかを問わず、スパムや不明な発信元からのメッセージを減らすことにより、ユーザーのメッセージング体験の提供または改善を実現する目的でのみ使用することができること、および、広告提供またはその他の目的で使用されてはならないこと。さらに、拡張機能内でアクセスされるユーザーからの SMS データまたは MMS データは、いかなる場合も拡張機能の指定のコンテナエリアからエクスポートしてはならないこと。
- デベロッパの内部使用アプリケーションは、拡張機能の自動インストールまたはその他ユーザーが認識しない拡張機能のインストールをさせてはならず、かつ、デベロッパはユーザーに対して、拡張機能の目的および機能を正確に提示しなければならないこと。

HealthKit API および Motion & Fitness API :

3.3.37 デベロッパの内部使用アプリケーションは、HealthKit API または Motion & Fitness API を健康、運動、またはフィットネスの目的で使用し、かつデベロッパのマーケティングテキストおよびユーザーインターフェイスにその旨を明確に示している場合でない限り、HealthKit API または Motion & Fitness API にアクセスしてはならないこと。また、以下についても確認してください。

- **第 3.3.9 条**の定めに関わらず、デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパの内部使用アプリケーションに関する健康、運動、またはフィットネスサービスを提供すること以外の目的で、HealthKit API もしくは Motion & Fitness API、または HealthKit API もしくは Motion & Fitness API 経由で取得されるいかなる情報も使用できないことに同意すること (例えば、広告提供目的ではないことなど)。

- デベロッパは、エンドユーザーの事前の明示的な同意なく、エンドユーザーの健康、運動、またはフィットネス情報を第三者に開示または提供するために、HealthKit API もしくは Motion & Fitness API、または HealthKit API もしくは Motion & Fitness API 経由で入手した情報を使用してはならず、第三者が、健康、運動、または本契約で許可された方法でフィットネスサービスの提供をできるようにする目的のみ、それを使用すること。例えば、デベロッパは、HealthKit API もしくは Motion & Fitness API 経由で収集したエンドユーザーの健康情報を、広告プラットフォーム、データブローカー、または情報再販業者に共有したり、またはこれらの者に販売したりしてはならないこと。疑義を避けるため、デベロッパは、エンドユーザーが医学研究のために自分のデータを第三者と共有することに同意することを、許可することはできません。

- デベロッパは、デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションがどのようにエンドユーザーの健康、運動、またはフィットネス情報を使用するのかについて、エンドユーザーに明確に開示すること、かつ、エンドユーザーが明示的に承諾して本契約で明示的に許可されている場合に限り、かかる情報を使用することに同意するものとします。

3.3.38 留保

HomeKit API:

3.3.39 デベロッパの内部使用アプリケーションは、ライセンスが付与された HomeKit アクセサリについて、ホームコンフィギュレーションサービスまたはホームオートメーションサービス(例えば、電気を点けたり、ガレージのドアを持ち上げたりすることなど)を提供することを主目的として設計され、かつ、この用法がデベロッパのマーケティングテキストおよびユーザーインターフェイスに明確に示されていない限り、HomeKit API にアクセスしてはならないこと。デベロッパは、ライセンスが付与された HomeKit アクセサリとのインターフェイス接続、通信、相互運用、もしくはコントロール以外の目的で、または HomeKit データベースを使用するために、HomeKit API を使用しないこと、かつ、デベロッパのアプリケーションに関するホームコンフィギュレーションまたはホームオートメーション目的のみ、それを使用することに同意すること。また、以下についても確認してください。

- デベロッパの内部使用アプリケーションは、Apple がドキュメントで明示的に別段の許可をしない限り、HomeKit API または HomeKit データベースから入手された情報を、互換性のある Apple ブランドの製品上でのみ使用することができ、かつ、該当する製品からかかる情報をエクスポート、リモートアクセス、または転送してはならないこと(例えば、ロックパスワードは、Apple 以外のデータベースに保存するためにエンドユーザーのデバイスに送信してはならない、など)

- **第 3.3.9 条**の定めに関わらず、デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパの内部使用アプリケーションに関するホームコンフィギュレーションまたはホームオートメーションサービスを提供することまたは改善すること以外の目的で(例えば、広告提供目的ではないことなど)、HomeKit API、または HomeKit API 経由もしくは HomeKit データベース経由で取得されるいかなる情報も使用できないことに同意すること。

ネットワーク拡張フレームワーク:

3.3.40 デベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパの内部使用アプリケーションが主としてネットワーク機能を提供するために指定され、かつ、デベロッパが Apple からかかるアクセスの権限を得ていない限り、ネットワーク拡張フレームワークにアクセスしてはならないこと。デベロッパがかかる権限を得る場合、デベロッパは以下の事項に同意するものとします。

- デベロッパは、エンドユーザーに対し、どのようにデベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションがエンドユーザーのネットワーク情報を使用するのか、および該当する場合に、どのようにエンドユーザーのネットワークデータをフィルタリングするのかに関して、明確に開示することに同意し、かつ、デベロッパは、エンドユーザーから明示的に同意を取得し、本契約で明示的に許可された方法でのみ、かかるデータおよび情報を使用することに同意すること。

- デベロッパは、安全かつ適切な方法で、エンドユーザーからのネットワーク情報またはデータを保存、および通信する

ことに同意すること。

- デベロッパは、非開示の、不適切な、または誤解を招く手段(例えば広告収入を得るため、またはウェブサイトのなりすましのためにウェブサイト経由のフィルタリングをするなど)で、エンドユーザーのネットワークデータまたは情報を転用しないことに同意すること。

- デベロッパは、エンドユーザーの設定を迂回または無効化するためにエンドユーザーからのネットワークデータまたは情報を使用しないことに同意すること(例えばエンドユーザーがデベロッパの内部使用アプリケーション向けの位置情報サービスを無効している場合に、エンドユーザーの所在地を特定するために、デベロッパがエンドユーザーのWiFiネットワークの利用を追跡しないことなど)。

- **第3.3.9条**の定めに関わらず、デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパの内部使用アプリケーションに関するネットワーキング機能を提供すること以外の目的で、ネットワーク拡張フレームワーク、およびネットワーク拡張フレームワーク経由で取得されるデータまたは情報を使用しないことに同意すること(例えば広告を提供するために、またはその他広告のためのユーザープロフィールを構築するために、エンドユーザーのインターネットトラフィックを使用しないことなど)。

Appleは、その自由裁量で、デベロッパにネットワーク拡張フレームワークを使用する権限を提供せず、かつ、いつでもかかる権限を取り消す権利を留保します。加えて、デベロッパが、Access WiFi Information API(接続されているデバイスにWiFiネットワークを提供するもの)の使用を希望する場合、デベロッパはかかる使用についてAppleから権限を得るようリクエストしなければならず、また、**第3.3.9条**の規定に関わらず、デベロッパは、当該内部使用アプリケーションに直接関連したサービスまたは機能の提供のためにのみ(例えば広告を提供するためでなく)、かかるAPIを使用することができます。

SiriKit :

3.3.41 デベロッパの内部使用アプリケーションが、デベロッパの内部使用アプリケーションがサポートしている該当するSiriKitドメイン(ライドシェアなど)に関して、ユーザーに適切な回答を提供したり、ユーザーの要求または意思を実行したりするように設計されており、かつ当該使用方法がデベロッパのマーケティングテキストおよびユーザーインターフェイスに明示されている場合に限り、デベロッパは、デベロッパのアプリケーションを、Appleが定義するSiriKitドメインの使用先として登録することができます。また、デベロッパの内部使用アプリケーションがSiriKitにアクションを提供する場合がありますが、そうしたアクションは、デベロッパのアプリケーション内のユーザーの行為または活動に関連しており、デベロッパがユーザーに適切な回答を提供できる場合に限りです。デベロッパは、そうしたユーザーの活動または行為に関する誤った情報をSiriKitを通じて送信しないこと、または、SiriKitが提供する予測を妨害しないことに同意するものとします(例えば、SiriKitが提供する情報は実際のユーザーの行為に基づくものである必要があります)。

3.3.42 デベロッパの内部使用アプリケーションは、サポートされているApple製品についてのみSiriKitを介して取得した情報を使用することができ、ユーザーに対して関連するレスポンスを提供または改善するため、またはユーザーのリクエストを実行するため、またはデベロッパの内部使用アプリケーションに関連して必要な程度を超えて、当該情報をデバイスからエクスポート、リモートアクセス、または転送することはできません。**第3.3.9条**の定めに関わらず、デベロッパおよびそのアプリは、SiriKit、またはSiriKitを通じて入手したいかなる情報も、ユーザーに適切な回答を提供する、またはデベロッパのアプリケーションがサポートするSiriKitドメインの意思または動作に関連したユーザーの要求や意思を実行する、またはユーザーの要求に対するデベロッパのアプリケーションの応答性を改善するため以外の目的(例えば、広告を提供するため)で使用することはできません。

3.3.43 デベロッパの内部使用アプリケーションが、Appleがオーディオデータを処理することを可能にするためにSiriKitを使用する場合、デベロッパは、エンドユーザーに対して、デベロッパおよびその内部使用アプリケーションが、録音されたオーディオデータを、スピーチを認識する、処理する、または書き起こすためにAppleに送信すること、ならびに当該オーディオデータがApple製品およびサービスの改善と提供のために使用される場合があることを明確に開示することに同意すること。デベロッパはさらに、エンドユーザーが明示的に同意し、本契約において明示的に許可された

方法でのみ、そうしたオーディオデータおよびSiriKitから返される認識されたテキストを使用することに同意すること。

Single Sign-On API :

3.3.44 デベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパがマルチチャンネルビデオプログラミングディストリビュータ (MVPD) でない限り、または、デベロッパの内部使用アプリケーションが主としてサブスクリプションを前提とする MVPD サービスを通じて認証されるビデオプログラミングを提供するために設計されており、かつ、デベロッパが Apple から Single Sign-On API を使用する権限を得ていない限り、Single Sign-On API にアクセス、またはこれを使用してはならないこと。かかる使用はすべて、シングルサインオン仕様書のドキュメントを遵守しなければならず、デベロッパは、Apple が、デベロッパにかかる権限または許可を提供しない権利、およびかかる権限または許可をいつでもその自由裁量で取り消す権利を留保することを認めること。

Spotlight 画像検索サービス :

3.3.45 デベロッパが、デベロッパのライセンスアプリケーションに関連するデベロッパのドメイン (以下「関連ドメイン」といいます) へのアクセス権と共に Apple の Spotlight 画像検索サービスを提供する場合、デベロッパは、本契約をもって、Apple に対し、本条項で定める目的で、関連ドメイン内のコンテンツ (以下「ライセンス対象コンテンツ」といいます) をクロール、スクレイプ、コピー、送受信、またはキャッシュする許可を付与すること。ライセンス対象コンテンツは、本契約において、ライセンスアプリケーション情報として取り扱われること。また、デベロッパは、本契約をもって、Apple に対し、(ファイルサイズの低減、サポートされるファイルの種類への変換、またはサムネイル表示の目的で) ライセンス対象コンテンツのファイル形式、解像度、および外観を使用、作成し、作成させ、複製、トリミング、または変更するライセンス、ならびに、ライセンス対象コンテンツを公に表示、公に実行、統合、組み込み、および配布することで、Apple のメッセージ機能におけるライセンス対象コンテンツの検索、検出、およびエンドユーザーへの配布の機能を強化するライセンスをさらに付与すること。理由の如何を問わず、本契約の解除時に、Apple ブランド製品のエンドユーザーは、当該解除前に Apple ブランド製品の使用を通じて取得したあらゆるライセンス対象コンテンツを継続して使用および配布することを許可されます。

MusicKit :

3.3.46 デベロッパは、デベロッパのエンドユーザーによる Apple Music サブスクリプションへのアクセスの促進に関連しない目的で、MusicKit API または MusicKit JS の呼び出し (またはその他の方法で MusicKit API または MusicKit JS を通じて情報を得ること) を試みないことについて同意すること。デベロッパが MusicKit API または MusicKit JS にアクセスする場合、デベロッパは、Apple Music アイデンティティガイドラインに従うこと。デベロッパは、デベロッパによる MusicKit API または MusicKit JS の使用を通じて、またはその他いかなる方法においても、Apple Music サービスへのアクセスに対し、支払いを要求しない、または間接的な収益化 (例えば、アプリ内での購入、広告、ユーザー情報のリクエストなど) を行わないことに同意すること。また、以下についても確認してください。

- デベロッパが MusicKit API または MusicKit JS を通じて音楽再生を提供する場合、全楽曲の再生が可能でなければならない、かつ、ユーザーが再生を開始でき、「再生」、「停止」、および「スキップ」などの標準的なメディアコントロール機能を使用して再生を操作できなければならないこと、かつ、デベロッパはそうしたコントロール機能を不正確に伝えることのないことに同意すること。

- デベロッパは、いかなる MusicKit コンテンツもダウンロード、アップロード、または改変することはできず、かつ、かかる行為をデベロッパのエンドユーザーに許可することもできず、その他ドキュメントで Apple が別段の許可をしない限り、MusicKit コンテンツは、他のいかなるコンテンツとも同期することができないこと。

- デベロッパは、MusicKit API または MusicKit JS により表示され、かつ、ドキュメントで許可された方法でのみ (例えば、アルバム作品および MusicKit API からの音楽関連テキストは、音楽再生または再生リストの管理とは異なる目的で使用することはできない)、MusicKit コンテンツを再生できること。

- ユーザーからのメタデータ(プレイリストやお気に入りなど)は、エンドユーザーに対して明確に開示され、かつ、Apple の自由裁量により決定されたとおりに、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリの使用と直接関連するサービスまたは機能を提供するためにのみ使用できること。

- デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリの中のスタンドアロンライブラリとしてのみ、かつ、ドキュメントで許可されたとおりにのみ、MusicKit JS を使用することができること(例えば、デベロッパは、MusicKit JS をその他のいかなる JavaScript コードとも組み合わせることはできず、または別途ダウンロードしたり、再ホストしたりすることはできないに同意すること)。

DeviceCheck API:

3.3.47 デベロッパが DeviceCheck データを保存するために DeviceCheck API を使用する場合、デベロッパは、該当する場合、それらの値をリセットするためにユーザーがデベロッパに連絡することができる方法を提供しなければならないこと(例えば、試用サブスクリプションの再設定、または新規ユーザーがデバイスを取得した際に一定の使用を再度認証することなど)。デベロッパは、不正行為に関する単一の識別子として DeviceCheck データに依存することはできず、かつ、他のデータまたは情報に関してのみ DeviceCheck データを使用しなければならないこと(例えば、デバイスが譲渡されたり再販売されたりする可能性があるため、DeviceCheck データをそのみでデータポイントとして扱うことはできない)。Apple は、いつでもその自由裁量で、DeviceCheck データを削除する権利を留保し、かつ、デベロッパは、かかるデータに依存しないことについて同意すること。さらに、デベロッパは、デベロッパを代理して行為を行うサービスプロバイダを除き、デベロッパが Apple から取得した DeviceCheck トークンを、いかなる第三者とも共有しないことに同意すること。

顔データ:

3.3.48 デベロッパが提供する内部使用アプリケーションが顔データにアクセスする場合、デベロッパは、内部使用アプリケーションの使用に直接関連するサービスや機能を提供するためだけに、それらにアクセスしなければならないこと、および、デベロッパは、デベロッパのアプリケーションが顔データを使用、開示することをユーザーに対して通知し、ユーザーの明確かつ確実な同意を得てから、顔データの収集または使用を開始することに同意すること。**第 3.3.9 条**の定めに関わらず、デベロッパ、デベロッパのアプリケーション、およびデベロッパが広告を提供するために契約したいかなる第三者も、広告を提供するため、またはその他の関連外の目的で顔データを使用することはできないこと。また、以下についても確認してください。

- デベロッパは、デベロッパのユーザー(またはあらゆる第三者)の法的権利を損なう方法で、または、違法な、不公平な、誤解を招く、不正な、不適切な、搾取的な、または好ましくないユーザーエクスペリエンスを提供するために顔データを使用することはできず、ドキュメントに沿った方法でのみ使用できること。

- デベロッパは、認証、広告、マーケティング、その他類似の方法でエンドユーザーを対象にして、顔データを使用することはできません。

- デベロッパは、ユーザープロフィールの構築を目的として顔データを使用することはできず、または、その他顔データに基づいて匿名ユーザーを特定もしくはユーザープロフィールを再構築を試み、促し、第三者に推奨することはできません。

- デベロッパは、広告プラットフォーム、分析プロバイダ、データブローカー、情報再販業者、およびその他の類似の者に対して顔データを譲渡、共有、販売、またはその他の手段で提供することはできません。

- デベロッパは、譲渡につきユーザーの明確かつ確実な同意を得ない限り、顔データをユーザーのデバイス外に共有または譲渡することはできず、かつ、顔データは、デベロッパが提供するアプリ固有のサービスまたは機能を達成する目的のみ

に使用しなければなりません(例えば、アプリ内でユーザーの画像を表示する目的で顔メッシュを使用することなど)。また、使用方法が、本契約とドキュメントに準拠していることが必要になります。デベロッパは、使用するサービスプロバイダに対して、ユーザーが同意する範囲かつ本契約の条項に沿う方法に限定して、顔データを使用するよう要求することに同意すること。

ClassKit API:

3.3.49 デベロッパのアプリケーションが教育サービスを提供することを主目的として設計されており、かかる使用がデベロッパのマーケティングテキストおよびユーザーインターフェイスに明確に記載されている場合を除き、デベロッパのアプリケーションにClassKit APIを含めてはならないこと。デベロッパは、ClassKit APIを通じて、誤った、もしくは不正確なデータを送信しないこと、またはClassKit APIを通じて送信されたデータに割り当てられたデータカテゴリの再定義を試みないことに同意すること(例えば、学生の位置情報データはサポート対象のデータタイプではなく、送信することはできない)。

ShazamKit:

3.3.50 ShazamKit APIの使用はすべて、本契約(Apple Musicアイデンティティガイドラインおよびプログラム要件を含む)およびドキュメントの条件を遵守しなければならないこと。Apple Musicで入手可能な曲に対してShazamKitコンテンツを表示する場合、Apple Musicアイデンティティガイドラインに沿い、Apple Music内におけるかかるコンテンツへのリンクを提供するものとします。本契約で明示的に許可されている場合を除き、デベロッパは、方法の如何を問わず、ShazamKitコンテンツを複製、改変、翻訳、二次的著作物の作成、公表、または公開しないことにつき、同意するものとします。さらに、デベロッパは、他の音声認識サービスを改善または作成する目的で、ShazamKit APIにより提供されたデータを使用または比較してはならないものとします。ShazamKit APIを使用する内部使用アプリケーションは、コンプライアンスを目的として設計または販売することはできません(例えば、音楽のライセンス供与やロイヤリティの監査など)。

Tap to Pay API:

3.3.51 デベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパの内部使用アプリケーションを通じて取引を行う目的でのみ、Tap to Pay APIを使用することができ、デベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパが当該アクセスについてAppleから権限を得ていない限り、Tap to Pay APIにアクセスしてはなりません。第3.3.3条に関わらず、デベロッパの従業員および許可ユーザーは、デベロッパの内部使用アプリケーションを使用して、他のエンドユーザーによる購入を処理することができます。ただし、デベロッパの組織内で購入または消費される商品もしくはサービスの購入の場合、またはデベロッパの組織が当該業務を行う権限がある場合に限りです。また、以下についても確認してください。

- デベロッパは、Appleが、Tap to Pay APIの使用を通じて円滑化された一切の取引の当事者ではなく、かつ、あらゆる支払用カードが利用できないこと、または不正決済が行われることを含め(ただし、これらに限定されない)、かかる取引について一切責任を負わないことを認め、承諾すること。かかる取引は、デベロッパと、デベロッパが取引の処理に利用するデベロッパの決済サービスプロバイダ、加盟店契約会社、カードネットワーク、またはその他の当事者との間で行われるものであり、かつ、かかる第三者との間でデベロッパが締結した契約を遵守することについて、デベロッパが責任を負うこと。かかる契約には、Tap to Pay APIの機能を使用することに関するデベロッパの決定について、デベロッパが同意して責任を負うことになる一定の権利、義務、または制限条項が含まれる場合があること。

- デベロッパは、ドキュメントに従い、かつ、安全な方法(例えば、サーバ上での暗号化)で、デベロッパによるTap to Pay APIの使用の一環として、デベロッパに対して提供されるプライベートキーおよびTTPデータを保存することについて同意すること。疑義を避けるために明記すると、デベロッパは、決済サービスプロバイダとしてTTPデータを処理する場合を除き、いかなる暗号化されたTTPデータも復号できないものとします。

- デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションの使用を通じた取引の実施とは関係のない目的で、TTP API を呼び出したり、TTP API を通じて情報を取得しようとしたりしないことに同意すること。

- デベロッパは、AppleがTap to Pay APIにより円滑化された取引が正当に承認されていることを確認する責任を一切負わないことについて同意すること。Appleは、不正または詐欺的な取引が行われた場合でも、責任を負いません。

- デベロッパは、Apple Payがデベロッパの内部使用アプリケーションが配布される地域の法域内で使用可能である限り、商業的に合理的な努力をもって、ドキュメントに従って、デベロッパのTap to Pay APIの使用において、Apple Payを支払いオプションとして含めることに同意するものとします。

3.3.52 Appleは、お客様にTTPデータを提供する場合があります。デベロッパがTTPデータを受け取る際、デベロッパは以下の事項に同意するものとします。

- デベロッパは、TTPデータを、取引を処理するため、および注文管理の目的でのみ使用することができ、いずれの場合も適用される法律に従って使用すること。

- デベロッパが決済サービスプロバイダとして行わない場合、(i) デベロッパは決済サービスプロバイダと契約を締結し、(ii) 当該決済サービスプロバイダが、取引を処理する目的(不正検知サービスの適用が含まれる場合があります)でのみ、および注文を管理する目的でのみ、かつ、いずれの場合も適用法令を遵守して、デベロッパが取得したTTPデータを使用することを確実にしなければならないこと。疑義を避けるために明記すると、当該決済サービスプロバイダはデベロッパの第三者サービスプロバイダです。デベロッパがデベロッパの決済サービスプロバイダに転送したTTPデータに関して、デベロッパの決済サービスプロバイダが実行したあらゆる行為は、デベロッパが実行したものとみなされるものとします。また、デベロッパ(デベロッパの決済サービスプロバイダに加えて)は、かかるすべての行為(または不作為)について、Appleおよびデベロッパの顧客に対して責任を負うものとします。

- デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションで取引を行う前に、Tap to Pay Platform利用規約を承諾し、これに同意しなければならないこと。

Appleは、その自由裁量で、デベロッパにTap to Pay APIを使用する権限を提供せず、かつ、いつでもかかる権限を取り消す権利を留保します。

Tap to Present ID API :

3.3.53 デベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパの内部使用アプリケーションを通じてエンドユーザーの年齢またはIDを検証できるようにする目的でのみ、Tap to Present ID APIを使用することができます。また、以下についても確認してください。

- デベロッパは、AppleがTTPI APIの使用を通じて促進される年齢またはIDの検証の当事者ではなく、かかる検証(本人確認を含むがこれらに限定されない)については一切責任を負わないことを認め、これに同意すること。

- デベロッパは、適用される法律およびドキュメントに従い、かつ安全な方法(サーバ上での暗号化など)で、デベロッパによるTTPI APIの使用の一環としてデベロッパに対して提供されるプライベートキーおよびTTPIデータを保存することについて同意すること。

- デベロッパは、デベロッパによる内部使用アプリケーションの使用を通じてエンドユーザーの年齢またはIDを検証できるようにする以外の目的で、TTPI APIを呼び出したり、その他の目的でTTPI APIを通じて情報を取得しようとしなかったことに同意すること。

- デベロッパは、TTPI API によって促進される年齢または ID の検証がエンドユーザーによって適切に認識され、同意されていることを確認する責任を Apple が負わないことに同意すること。Apple は、いかなる場合においても、年齢または ID の検証に関する不正や詐欺について責任を負わないものとします。

- デベロッパは、ドキュメントに従って、TTPI API を使用する前、またはデベロッパの内部使用アプリケーションを通じて TTPI データを収集する前に、デベロッパおよびデベロッパの内部使用アプリケーションを使用する各取引業者が Tap to Present ID Platform 利用規約を承諾し、これに同意していることを確認する必要があること。

- デベロッパは、デベロッパが、デベロッパの内部使用アプリケーションに関する正確かつ完全な情報を提供し、かつ、デベロッパによる TTPI API の使用に関連して当該情報が更新された場合にその旨を速やかに提示することに同意すること。

部分的に没入感のある体験：

3.3.54 デベロッパが、デベロッパの内部使用アプリケーションにおいて部分的に没入感のある体験 (.mixedReality スタイルの使用など) を提供する場合、デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションが、(1)ドキュメントに準拠していること、および(2)エンドユーザーの安全性に悪影響を及ぼす程度にまでエンドユーザーの視野を遮らないことを確認する責任を単独で負い、かつ、これらの条件が確実に満たされるようにする必要があります。

4. プログラム要件または契約条項の変更

Appleは、プログラム要件または本契約の条項を、いつでも変更することができるものとします。新規または変更されたプログラム要件は、すでに配布されている内部使用アプリケーションには遡及的に適用されません。Appleソフトウェアまたはサービスを継続して使用するには、本契約の新しいプログラム要件または新しい条件を受け入れ、同意する必要があります。デベロッパが新しいプログラム要件または新しい条件に同意しない場合、デベロッパによるAppleソフトウェアおよびサービスの使用は、Appleによって一時停止または終了されます。デベロッパは、そのような新しい契約条項またはプログラム要件の承諾を、電子的手段(デベロッパがボックスにチェックマークを付けること、または「同意する」もしくは類似のボタンをクリックすることを含みますがこれらに限定されません)により示すことができることに同意するものとします。本条は、Appleの**第5条(Apple証明書; 取消し)**に基づく権利に影響を与えるものではありません。

5. Apple証明書; 取消し

5.1 証明書の要件

認定されたテストユニットまたは導入デバイスにインストールするには、すべての内部使用アプリケーションにApple証明書で署名する必要があります。同様に、すべてのパスはパスタイプIDで署名されている必要があり、Walletによって認識され、承認されます。サイトの場合は、デベロッパはウェブサイトIDを使用して、macOS上のSafari経由で当該通知を受信することを選択したユーザーのmacOSデスクトップにSafariプッシュ通知を送信する必要があります。また、デベロッパは、本契約およびドキュメントで定めるその他の目的で、他のApple証明書およびキーを取得することもできます。

以上に関して、デベロッパはAppleに対し、次の(a)から(e)に定める事項を表明および保証するものとします。

(a) Appleが発行したデジタル証明書またはプロビジョニングプロファイルの通常の動作を妨げるような操作は行わないものとします。

(b) デベロッパは、許可を受けていない個人または組織がデベロッパのプロビジョニングプロファイル、Apple証明書、および対応する秘密鍵にアクセスすることを防止する責任を単独で負い、デベロッパのApple証明書、キー、およびプロビジョニングプロファイルが侵害されないよう最善を尽くすものとします。

(c) デベロッパは、デベロッパのプロビジョニングプロファイル、Apple証明書、またはキーのいずれかが侵害されたと信じる理由がある場合、直ちにAppleに書面で通知することに同意するものとします。

(d) デベロッパは、本プログラムに基づいて提供されるAppleの証明書またはプロビジョニングプロファイルを第三者に提供または譲渡しないものとします。ただし、本契約の条件に従ってデベロッパのために内部使用アプリケーション、パス、またはサイトを開発している外部契約者に対してはこの限りではなく、本ドキュメントまたは本契約において

Appleが明示的に許可した範囲に限定されます。

(e) デベロッパは、内部使用アプリケーション、パス、またはサイト以外に署名するためにApple証明書(開発か導入)を使用することはありません。

(f) デベロッパは、プロビジョニングプロファイルは、内部使用アプリケーションとの組み合わせでのみ使用し、他のプログラムまたはアプリケーションとの組み合わせでは使用しません。

(g) デベロッパは、本契約に従ってのみ、デベロッパ企業、組織、または教育機関内でのテストおよび内部導入のため、MDMのため、またはその他の方法でAppleが許可する場合に、デベロッパの内部使用アプリケーションに署名する目的でのみ、Apple証明書を使用するものとします。

さらに、デベロッパは、デベロッパの内部使用申請書、デベロッパのサイトの登録バンドルまたはデベロッパのパス、またはそれらに含まれる第三者のコードまたは FOSS に適用されるライセンス条項が、プログラムのデジタル署名、または本プログラムまたは本契約の条項、条件、要件と一致し、かつ矛盾しないことを Apple に表明し、保証するものとします。特に、当該ライセンス条件は、Apple (またはその代理人) に対して、本プログラムの一部として利用されるデジタル署名メカニズムに関連するキー、認証コード、方法、手順、データ、またはその他の情報を開示または利用可能にすることを要求するものではありません。デベロッパが上述した内容に関する不一致または抵触を発見した場合は、デベロッパはその旨を直ちに Apple に通知することに同意するものとし、また、当該問題を解決するために Apple と協力するものとします。

5.2 macOS用の公証アプリ

デベロッパは、デベロッパのmacOS向け内部使用アプリケーションの公証を得るために、Appleのデジタル公証サービスに対して、アプリケーションの公証用のデジタルファイル(以下「チケット」といいます)を請求することができます。本チケットをApple証明書と一緒に使用すると、macOS上で内部使用アプリケーションに対して、改善されたデベロッパの署名とユーザーエクスペリエンスを得ることができます。Appleのデジタル公証サービスからこのチケットを要求するには、継続的なセキュリティチェックを行うために、Appleのデベロッパツール(または他の要求されたメカニズム)を通じてデベロッパの内部使用アプリケーションをAppleにアップロードする必要があります。この継続的なセキュリティチェックには、マルウェア、その他の有害または疑わしいコード、コンポーネント、またはセキュリティ上の欠陥を検出するためのAppleによるデベロッパの内部使用アプリケーションの自動スキャン、テスト、および分析が含まれます。また、限られたケースでは、当該目的のために行われるAppleによるデベロッパの内部使用アプリケーションの手動による技術的調査も含まれます。このデジタル公証サービスのためにデベロッパの内部使用アプリケーションをAppleにアップロードすることにより、デベロッパは、Appleがマルウェアまたはその他の有害または疑わしいコードまたはコンポーネントを検出する目的でデベロッパの内部使用アプリケーションに対して当該セキュリティチェックを行うことができることに同意し、デベロッパは、Appleがデベロッパの内部使用アプリケーションを保持し、同じ目的でそのあとのセキュリティチェックのために使用することに同意するものとします。

Appleがデベロッパの署名を認証し、デベロッパの内部使用アプリケーションが初期セキュリティチェックに合格した場合、AppleはデベロッパのApple証明書とともに使用するチケットをデベロッパに提供する場合があります。Appleは自由裁量でチケットを発行する権利を留保し、Appleがデベロッパの内部使用アプリケーションにマルウェア、悪意のある、疑わしい、または有害なコードまたはコンポーネントが含まれていると信じる理由がある場合、または合理的な疑いがある場合、またはデベロッパのデベロッパIDの署名が侵害されたと信じる理由がある場合は、いつでも自由裁量でチケットを取り消すことができるものとします。デベロッパは、随時、product-security@apple.comに電子メールを送信し、Appleがデベロッパのチケットを取り消すよう要求することができるものとします。AppleがデベロッパのチケットまたはデベロッパのApple証明書を取り消した場合、デベロッパの内部使用アプリケーションはmacOS上で動作しなくなる可能性があります。

デベロッパは、デベロッパのチケットの要求に関してAppleに協力することに同意し、デベロッパの内部使用アプリケーションのいかなる部分も、Appleのセキュリティチェックから隠そうとしたり、迂回しようとしていたり、誤って伝えたり、またはAppleが当該セキュリティチェックの実行を妨げないことに同意するものとします。デベロッパは、Appleがデベロッパの内部使用アプリケーションのセキュリティチェックまたはマルウェア検出を行ったこと、またはAppleのデジタル公証サービスからデベロッパにチケットを発行する目的でAppleがデベロッパの内部使用アプリケーションを審査または承認

したことを表明しないことに同意するものとします。デベロッパは、AppleがAppleのデジタル公証サービスと関連してのみセキュリティチェックを実施すること、およびそうしたセキュリティチェックは、確実にマルウェアを検出するものではなく、何らかのセキュリティ検証結果として用いることもできないことを認め、同意するものとします。デベロッパは、デベロッパ自身の内部使用アプリケーション、およびデベロッパの内部使用アプリケーションがデベロッパのエンドユーザーにとって安心、安全、および運用可能であることを保証する責任を完全に負います（例えば、マルウェアに問題がある場合、内部使用アプリケーションの実行が停止する可能性があることをエンドユーザーに通知します）。デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションをAppleにアップロードする際に、デベロッパの法域における輸出要件に従うことに同意し、以下の条件に該当する内部使用アプリケーションをアップロードしないことに同意するものとします。以下のいずれかに該当するアプリをアップロードしないことに同意します。(a) 米国輸出管理規則、15 CFRパート730-774または国際武器取引規則、22 CFRパート730-774に従うもの。(b) 特定の種類の暗号化ソフトウェアおよびソースコードを含むがこれらに限定されない、事前の書面による政府の承認なしに、その承認を最初に取得しない限り、輸出することのできないもの。デベロッパの内部使用アプリケーションまたはその他のセキュリティ問題に含まれるマルウェアまたはその他の疑わしい有害なコードやコンポーネントを検出できない、または検出できなかった場合、あるいはチケットの発行または失効について、Appleはデベロッパまたは第三者に対して責任を負いません。Appleは、デベロッパの内部使用アプリケーションの開発、Appleソフトウェア、Appleサービス（このデジタル公証サービスを含む）、またはAppleの証明書、チケットの使用、またはプログラムへの参加の結果としてデベロッパが被る可能性のあるいかなる費用、経費、損害、損失、またはその他の責任についても責任を負わないものとします。これには、デベロッパの内部使用アプリケーションに対してAppleがセキュリティチェックを行うことが含まれますが、これらに限定されません。

5.3 証明書の取消し

本契約において別段の定めがない限り、デベロッパは、デベロッパに対して発行されたApple証明書をいつでも取り消すことができます。デベロッパのパスの署名に使用されたApple証明書や、デベロッパのmacOSアプリで使用するためにデベロッパに発行されたApple証明書を無効にする場合は、product-security@apple.comに電子メールを送信して、いつでもこれらのApple証明書を無効にするようAppleに要求することができます。Appleもまたその自由裁量で、いつでもあらゆるApple証明書を取り消す権利を留保します。例として、Appleは、以下のいずれかに該当する場合に、かかる行為を選択することがあります。(a) デベロッパのApple証明書もしくは対応するプライベートキーが漏えいし、またはいずれかが漏えいしたとAppleが信じる理由がある場合、(b) デベロッパの取扱製品が、マルウェア、悪意のある、疑わしい、または有害なコードまたはコンポーネント（例えば、ソフトウェアウイルス）を含んでいるとAppleが信じる理由または合理的な疑いを有する場合、(c) デベロッパの取扱製品が、Appleブランド製品またはかかる製品によりアクセスもしくは使用されるその他のソフトウェア、ファームウェア、ハードウェア、データ、システム、またはネットワークのセキュリティに悪影響を与えるとAppleが信じる理由がある場合、(d) Appleの証明書発行手続きに不正アクセスされた場合、またはかかる手続きに不正アクセスされたとAppleが信じる理由がある場合、(e) デベロッパが本契約のいずれかの条項または条件に違反した場合、(f) Appleが本プログラムに基づき、デベロッパの取扱製品に対してApple証明書の発行を中止した場合、(g) デベロッパの取扱製品が、本契約に基づき提供されるサービスを悪用している、または過大な負荷をかけている場合、または (h) かかる措置が適切または必要であるとAppleが信じる理由がある場合。

さらに、デベロッパは、エンドユーザーのプライバシー、安全、もしくはセキュリティを保護するためにAppleがかかる措置が必要であると信じる場合、またはその他Appleの合理的な判断により適切もしくは必要であると決定された場合、Appleが、Apple証明書で署名されたデベロッパ取扱製品に関して、エンドユーザーに通知を送信することがあることを理解し、これに同意するものとします。Appleの証明書ポリシーおよび認証実務規定は、<https://www.apple.com/certificateauthority>にてご覧いただけます。

6. 導入

内部使用アプリケーション：

本契約に規定された導入を審査し承認するAppleの権利を条件として、iOS、watchOS、iPadOS、またはtvOS用の本契約に基づいて開発された内部使用アプリケーションは、2つの方法で導入デバイスに導入することができます。(1) 従業員または許可ユーザーによる内部使用のための導入、および(2) **第2.1条(f)**で許可された限られた範囲での導入。誤解を避けるために記すと、macOSの内部使用アプリケーションは、デベロッパのApple証明書で署名される場合と、Apple証明書なしで別途配布される場合があります。

6.1 一般規定

デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションおよび導入デバイスにアクセスおよび使用する従業員および許可ユーザーを決定すること、ならびに当該アプリケーションおよびデバイスの使用およびアクセスを継続的に管理および監視する(またはデベロッパの許可事業体が継続的にアクセスおよび使用を監視することを要求する)ことについて、単独で責任を負うことに同意します。これには、Appleソフトウェア、Appleが発行したデジタル証明書、およびデベロッパ企業によってすでに雇用されていない個人、またはデベロッパの許可事業体または組織の一部ではなくなった個人によるプロビジョニングプロファイルから導入デバイス(認定試験装置を含む)を迅速に取得し、それらへのアクセスを削除する責任が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

デベロッパの内部使用アプリケーションを導入すること、またはデベロッパの代わりに当該アプリの導入をデベロッパの許可事業体に認証することにより、デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションがその時点で有効なドキュメントおよびプログラム要件に準拠しており、当該内部使用アプリケーションが本契約で明示的に許可されたとおりのみ開発および導入されていることをAppleに表明し、保証するものとします。Appleは、デベロッパの内部使用アプリケーションの導入の結果としてデベロッパが被る可能性のあるいかなる費用、経費、損害、損失(事業機会の損失または利益の損失を含むがこれらに限定されない)またはその他の責任、またはデベロッパが内部使用アプリケーションおよび導入デバイスへのアクセスおよび使用を適切に管理、監視、制限、またはその他の方法で制御できなかったことについて、一切の責任を負わないものとします。デベロッパは、デベロッパの許可事業体、デベロッパの認定デベロッパ、従業員、デベロッパの許可ユーザー、デベロッパのデモの受信者、およびデベロッパの代わりに当該内部使用アプリケーションを開発するためにデベロッパが雇用する請負者による本契約の条項違反について、完全に責任を負うものとします。

6.2 内部使用アプリケーションを審査および承認するAppleの権利

デベロッパは、本契約の期間中いつでも、デベロッパが本プログラムに基づいて導入しようとしている(またはすでに使用されている)内部使用アプリケーションをAppleが審査および承認、または拒否する権利を留保することを理解し、同意するものとします。Appleから要請があった場合、Appleが事前に書面で別途同意しない限り、デベロッパはAppleと完全に協力し、当該審査のために当該内部使用アプリケーションを速やかにAppleに提出することに同意するものとします。デベロッパは、提出されたデベロッパの内部使用アプリケーションの特徴、コンテンツ、サービスまたは機能をAppleの審査から隠そうとしたり、虚偽の表示をしたり、誤解を与えたり、不明瞭にしたり、Appleが当該アプリを完全に審査することを妨げたりしないことに同意するものとします。デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションが物理的なデバイスに接続される場合、Appleに書面で通知することに同意するものとします。また、デベロッパは、Appleと協力し、当該内部使用アプリケーションに関してAppleから合理的に要求された質問に答え、情報および資料を提供することに同意するものとします。デベロッパがAppleへの提出後に当該内部使用アプリケーションに何らかの変更を加えた場合、デベロッパはAppleに通知することに同意し、Appleから要請があった場合は、当該変更された内部使用アプリケーションを配布する前に当該内部使用アプリケーションを再提出することに同意するものとします。Appleは、デベロッパの内部使用アプリケーションがドキュメントおよびプログラムの要件を満たしている場合でも、理由のいかなを問わず、いつでもデベロッパの内部使用アプリケーションの導入を拒否する権利を留保します。その場合、デベロッパは、当該内部使用アプリケーションを導入することはできないことに同意するものとします。

6.3 内部使用アプリケーションの所有権、使用条件、責任

デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションに関する権利、権原、および利益を保持するものとします。デベロッパは、デベロッパの判断で、デベロッパの内部使用アプリケーションに関連する使用条件を添付するか、またはその他の方法で含める責任を負うものとします。デベロッパの利用条件に対する違反について、Appleは一切責任を負いません。デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションのすべてのユーザー支援、保証、およびサポートについて単独で責任を負うものとします。Appleが内部使用アプリケーションを審査、テスト、または承認した場合でも、デベロッパのこれらの責任は免除されないものとします。

Appleは、デベロッパの内部使用アプリケーションの開発、このAppleソフトウェアの使用、サービスの使用、またはプログラムへの参加の結果としてデベロッパが被る可能性のあるいかなる費用、経費、損害、損失(事業機会の損失または利益の

損失を含むがこれらに限定されない)、またはその他の責任についても責任を負わないものとします。これには、デベロッパの内部使用アプリケーションが導入を承認されない場合や、そのあと継続的な導入を拒否される場合があるという事実も含まれますが、これに限定されるものではありません。デベロッパは、安全で、設計および運用上の欠陥がなく、適用される法律および規制を遵守する内部使用アプリケーションの開発について単独で責任を負うものとします。

ライブラリ:

6.4 ライブラリの配布

デベロッパは、Apple ソフトウェアを使用するライブラリを開発することができます。Xcode と Apple SDK の利用規約に別段の規定がある場合でも、本契約に基づき、デベロッパは、Xcode および Apple SDK ライセンスの一部として提供される適用可能な Apple SDK を使用して、iOS watchOS、iPadOS、tvOS、または visionOS 用のライブラリを開発することができるものとします。ただし、当該ライブラリは、Apple ブランド製品での使用のみを目的として開発および配布され、デベロッパが当該ライブラリの使用を当該製品での使用のみに制限することを条件とすることとします。デベロッパのライブラリが Apple ブランド製品でのみ使用するために設計されたものではないと Apple が判断した場合、Apple はデベロッパに対し、いつでもデベロッパのライブラリの配布を中止するよう要求する場合があります。デベロッパは、Apple からの通知に基づき、当該ライブラリのすべての配布を速やかに中止することに同意し、当該ライブラリの残りのコピーを削除するために Apple に協力することに同意します。疑義を避けるため、前述の制限は、macOS 向けライブラリを開発を禁止する趣旨ではありません。

7. その他の配布の禁止

従業員または許可ユーザーへのデベロッパの内部使用アプリケーションの内部配布、本契約書に規定されたパスの配布、**第6.4条**に従ったライブラリの配布、Safariプッシュ通知の配信、macOS用ライブラリおよび内部使用アプリケーションの配布、または本契約書に規定された、または本契約書で明示的に許可された場合を除き、Appleソフトウェアを使用して開発されたプログラムまたはアプリケーションのその他の配布は、本契約書で認定または許可されません。デベロッパは、本契約に準拠した方法でのみ、デベロッパの取扱製品を配布することに同意するものとします。

8. プログラム料金

本契約およびプログラムへの参加に基づいてデベロッパに付与される権利およびライセンスの対価として、デベロッパは、プログラムのウェブサイトに記載されている年間プログラム料金を Apple に支払うことに同意するものとします。当該料金の払戻しは行われず、かつ、Apple ソフトウェア、Apple サービス、またはデベロッパによる本プログラムの使用について賦課され得る一切の税金はデベロッパが負担するものとします。デベロッパの本プログラム料金は、本契約に基づきデベロッパがアプリを Apple に提出(または再提出)する時点において全額が支払われなければならない(該当する場合)、後払いはできないものとし、該当する場合、デベロッパによる本プログラムウェブポータルおよび Apple サービスの継続使用は、デベロッパによるかかる料金の支払いを条件とします。デベロッパは、デベロッパが自動更新でデベロッパの年間プログラム料金を支払うことを選択した場合、デベロッパが自動更新メンバーシップへの登録を選択した時にプログラムウェブポータルでデベロッパが同意した条件に従い、Apple はデベロッパが Apple に登録したクレジットカードに当該料金を請求することができることに同意するものとします。

9. 秘密保持

9.1 Appleの秘密情報とみなされる情報

デベロッパは、プレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービス(プレリリース版ドキュメントを含む)、プレリリース版 Apple ハードウェアが、「Apple 秘密情報」とみなされることに同意します。ただし、Apple ソフトウェアが一旦商用販売された場合、Apple ソフトウェアまたは Apple サービスのプレリリース版機能を開示した利用規約は、秘密性を喪失するものとします。上記に関わらず、次のいずれかに該当する情報は、Apple 秘密情報に含まれないものとします。(i) デベロッパの違反によらずして、合法的に公知となった情報、(ii) Apple が一般に開示した情報、(iii) デベロッパが、Apple 秘密情報に頼ることなく単独で開発した情報、(iv) デベロッパに対して制約を受けることなく情報の譲渡または開示を行う権利を有する第三者から正当に入手した情報、(v) Apple ソフトウェアに含まれているフリーオープンソースソフトウェア(FOSS)であり、その利用または情報開示について秘密保持義務をライセンス条件に課していないもの。さらに、Apple は、デベロッパがプレリリース版 Apple ソフトウェア、Apple サービス、またはハードウェア

のスクリーンショットの掲載、パブリックレビューの記載、または再配布をしてはならないことを除き、デベロッパが、WWDC (Apple のワールドワイドデベロッパカンファレンス) で Apple により開示されたプレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスに関する技術情報について、前記秘密保持条項に拘束されないことに同意します。

9.2 Apple 秘密情報に関する義務

お客様は、同等の重要性を有するお客様自身の秘密情報を保護する場合と少なくとも同じ注意をもって、ただし少なくとも相当な注意をもって、Apple 秘密情報を保護することに同意されるものとします。お客様は、本契約に基づくお客様の権利の行使と義務の履行のためにのみ、Apple 秘密情報を使用し、Apple の書面による事前の許可を得ることなく、ほかのいかなる目的にも、また、お客様自身または第三者の利益のために、Apple 秘密情報を使用しないことに同意されるものとします。お客様はさらに、Apple 秘密情報を次に掲げる者以外に開示または流布しないことに同意されるものとします。(i) デベロッパの認定デベロッパおよび外部契約者、またはデベロッパが教育機関である場合にはその教職員で、Apple 秘密情報を知る必要があり、Apple 秘密情報の無断使用や開示を禁止する契約を交わした者、または、(ii) その他 Apple が書面をもって合意または許可した者。お客様は、法令により Apple 秘密情報を開示することが求められた場合、開示要求されている限度において、開示できるものとします。ただし、お客様は、Apple 秘密情報を開示する前にかかる要求があった旨を Apple に通知し、Apple 秘密情報の保護措置を講ずるための合理的な対応を行うものとします。お客様は、Apple 秘密情報を不適切に開示した場合の損害は回復不能となり得ること、したがって、Apple はほかのあらゆる救済措置に加え、差止命令および仮差止め命令を含めた衡平法上の救済措置を求める権利を有することを認めるものとします。

9.3 Apple に提出された情報は秘密情報とはみなされないこと

また、Apple 自らが類似または競合する自社のアプリケーションおよび製品を開発する可能性、または将来においてかかる開発を行うことを決定する可能性もあります。また、Apple 自らが類似または競合する自社のアプリおよび製品を開発する可能性、または将来においてかかる開発を行うことを決定する可能性もあります。誤解の可能性を避けるため、Apple は、デベロッパの内部使用アプリケーションおよびメタデータ(このような開示を「ライセンスによる開示情報」と呼ぶ)に関する情報を含め、本契約または本プログラムに関連してデベロッパが提供する情報に関して、明示的にも黙示的にも、秘密保持義務または使用制限に同意することはできず、明示的に否認するものとします。デベロッパは、かかるライセンスによる開示情報は**非秘密情報**であることに同意するものとします。Apple は、デベロッパに通知または補償することなく、無制限にライセンスの開示情報を自由に使用および開示することができます。デベロッパは、ライセンスによる開示情報のいずれかの部分の受領、確認、使用、または開示に起因して発生する可能性があるすべての責任および義務に関して Apple を免責するものとします。デベロッパが Apple に提出する一切の有形物は Apple の資産となり、Apple は、これらの有形物をデベロッパに返却する義務、またはその廃棄を証明する義務を負いません。

9.4 プレスリリースおよびその他の宣伝

デベロッパは、Apple の明示的な書面による事前の承認なく、本契約およびその条件、または両当事者間の関係に関してプレスリリースを発行してはならず、またその他の公式発表も行ってはなりません。Apple は前記の承認を、その裁量において留保することができます。

10. 補償

適用される法律によって認められる範囲内において、デベロッパは、次のいずれかに起因して(ただし、本条の目的において、Apple サービスまたは証明書を使用しない macOS 向けの内部使用アプリケーションを除きます)、Apple の要求により、Apple、その取締役、役員、従業員、独立した外部契約者および代理人(各々を「Apple 被補償当事者」といいます)に発生した請求、損失、負債、損失、経費、および費用(弁護士報酬および訴訟費用を含みますがこれに限定されず、「本件損失」と総称します)を、Apple 被補償当事者が一切被らないよう補償し、保護することに同意します。(i) 本契約における認証、規約、義務、表明、または保証のデベロッパによる違反、(ii) デベロッパの対象製品またはメタデータ、またはデベロッパの対象製品の導入、配送、使用、もしくは輸入(単独であるか、組み合わせの重要な部分であるかを問わない)が、第三者の知的財産権または所有権を違反または侵害しているとの請求、(iii) デベロッパの対象製品に関する従業員、顧客、許可事業者、または許可ユーザーの請求(デベロッパの対象製品に含まれるエンドユーザーライセンスに基づくデベロッパの義務の違反を含むがこれに限定されない)、(iv) デベロッパによる

Appleソフトウェア、証明書またはサービス(MDM、構成プロファイル、および証明書の使用を含むが、これらに限定されない)、デベロッパの対象製品、メタデータ、導入デバイスの使用、またはデベロッパによる対象製品の開発および導入、または、(v) MDM顧客からの、デベロッパのMDM互換製品に関する請求、およびデベロッパのMDM互換製品が第三者の知的財産権または所有権を違反または侵害しているという請求。

デベロッパは、Appleソフトウェアまたはいかなるサービスも、上記のいずれかが提供するコンテンツ、機能、サービス、データ、もしくは情報の誤りや不正確性、またはその不具合により、死亡、人身障害、または深刻な物理的もしくは環境上の損害を引き起こされ得るような取扱製品の開発に使用されることを意図していないことを認め、かつ、法令により許容される範囲内において、デベロッパは、本契約により、かかる使用を原因としてApple被補償当事者に発生した一切の本件損失について、各Apple被補償当事者を補償し、防御し、保護することに同意するものとします。

いかなる場合においても、デベロッパは、Appleの書面による事前の同意なく、何らかの方法でAppleの権利に影響し、またはAppleを拘束するような和解または類似の合意を第三者との間で締結してはならないものとします。

11. 契約の期間と解除

11.1 契約期間

本契約の契約期間は、デベロッパのプログラムアカウントが最初にアクティベートされた日から1年間とします。デベロッパによる年間更新料の支払いと本契約条件の遵守を条件として、本契約に従って早期に解除されない限り、自動的に連続1年間の期間更新されます。

11.2 解除

以下のいずれかの事由に該当する場合、本契約および本契約に基づきAppleが付与したすべての権利、ライセンス、およびサービスは、Appleから通知が行われ次第、即時解除されるものとします。

- (a) デベロッパ、デベロッパの従業員または許可ユーザーのいずれかが、本契約下述の**第11.2条**に定める条項以外の条項を遵守せず、当該違反を知り、または通知を受けてから30日以内に当該違反を是正しなかった場合。
- (b) デベロッパまたはデベロッパの従業員が**第9条(秘密保持)**の条件を遵守しなかった場合。
- (c) 下述の「分離」条項に定める状況に陥った場合。
- (d) デベロッパが、契約期間中にAppleに対し特許侵害訴訟を提起した場合。
- (e) デベロッパが支払不能に陥り、支払期限に債務を支払うことができず、解散もしくは事業を停止し、破産を請求、またはデベロッパに対して破産の申立てが行われた場合。
- (f) デベロッパ、またはデベロッパを直接的もしくは間接的に支配する、もしくはデベロッパと共に支配下にある法人もしくは個人は(ここでの「支配」とは14.8条で定義された意味を持ちます)、App Storeが利用可能な国もしくは地域における制裁措置もしくはその他の制限事項の対象である、または対象になります。
- (g) デベロッパが、本契約に関して、文書の変更や改ざん、コンピュータシステムの不適切な使用、またはその他事実の不正確な表示を含むがこれらに限定されない、誤解を招く行為、不正な行為、不適切な行為、違法な行為、または不誠実な行為にかかわった場合、または他者をしてかかわらせた場合。

また、Appleは、**第4条**に定める新しいプログラム要件または契約条項をデベロッパが承諾しなかった場合、本契約を解除し、またはデベロッパがAppleソフトウェアもしくはサービスを使用する権利を停止することができるものとします。さらに、デベロッパのアカウントが侵害されたこと、またはデベロッパのアカウントが本契約の条件に違反してアプリを配布するために使用されたこと(例えば、内部使用アプリケーションを公共のウェブサイトに投稿すること、内部使用アプリケーションを消費者に配布すること)をAppleが疑う場合、Appleは、デベロッパのAppleソフトウェアまたはサービスを使用する権利を停止すること(内部使用アプリケーションの無効化を含む)ができます。いずれの当事者も、正当な理由の有無を問わず、都合により本契約を解除することができるものとし、解除の意思の書面通知を他方当事者に行ってから30日後に解除の効力が生ずるものとします。

11.3 解除の効果

理由の如何を問わず、本契約が解除された場合、デベロッパは、ただちにAppleソフトウェアまたはサービスの一切の使用を中止すること、ならびにデベロッパおよびその従業員が保有または管理するAppleソフトウェアおよびApple

13. 責任の制限

適用法で禁止されていない限り、いかなる場合もAppleは、本契約、Appleソフトウェア、Appleサービス、またはApple証明書のデベロッパによる使用または使用不能、または開発活動、社内での導入活動、またはプログラムへの参加に起因または関連して発生した、利益の損失、データの損失、業務の中断、またはその他の商業上の損害または損失に対する損害を含むがこれらに限定されない、一切の人身傷害、付随的損害、特別損害、間接損害、二次的損害または懲罰的損害について、契約、保証、不法行為（過失を含む）、製造物責任またはその他の理論に基づくかに関わらず、Appleが当該損害の可能性を示唆されていた場合であっても、かつ、いかなる救済の主たる目的が達成されない場合であっても、一切責任を負いません。いかなる場合も（人身傷害に関わる場合に適用法が要求する場合を除いて）、本契約におけるすべての損害に関するデベロッパに対するAppleの賠償責任総額は、50米ドルを上限とします。

14. 一般法的条項

14.1 第三者への通知

Apple ソフトウェアまたは Apple サービスの一部には、第三者製のソフトウェアおよびその他の著作物が利用されている、または含まれている場合があります。当該著作物に対する承認、ライセンス条項および免責については、Apple ソフトウェアおよび Apple サービスに関する電子的書面に記載されており、デベロッパによる当該著作物の使用については、それらの各条項が適用されるものとします。

14.2 データの収集および使用に対する同意

A. プレリリース版iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、visionOS、およびmacOS

Apple、そのパートナー、および第三者のデベロッパによるその製品およびサービスの提供、テスト、および改良の支援を行うために、かつ、該当するプレリリース版 iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、visionOS、または macOS でデベロッパまたはデベロッパの認定デベロッパがオプトアウトした場合を除き、デベロッパは、Apple とその子会社および代理人が、デベロッパシードプロセスの一環として、（プレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスを実行している）デベロッパの認定テストユニットから診断情報、技術情報、ならびに利用ログおよび利用情報を収集、使用、保存、送信、処理、および解析（以下総称して「収集」といいます）することを認めるものとします。この情報は、デベロッパまたはデベロッパの認定デベロッパを個人として特定しない方法で収集され、かつ、デベロッパの認定テストユニットから、いつでも収集される可能性があります。収集される情報には、一般的な診断情報および利用データ、各種固有デバイス識別子、各種固有システムまたはハードウェアの識別子、ハードウェアおよびオペレーティングシステム仕様の詳細、パフォーマンス統計情報、ならびにデベロッパがデベロッパの認定テストユニット、システム、アプリソフトウェア、および周辺機器をどのように使用したかに関するデータ、さらに位置情報サービスが利用できる場合には一定の位置情報が含まれますが、これらに限定されません。デベロッパは、Apple が、パートナーおよび第三者の開発者が Apple ブランド製品上またはそれと接続して実行するその製品およびサービスを改良できるようにする目的で、かかる診断情報、技術情報、ならびに利用ログおよび利用情報を共有できることについて同意するものとします。デベロッパの認定テストユニット上でプレリリース版 iOS、watchOS、tvOS、iPadOS、visionOS、または macOS をインストールまたは使用することにより、デベロッパは、Apple とその子会社および代理人が、本条において前記に定める通り、かかる情報のすべての収集および使用に関してデベロッパの許可を得たことになることを認め、同意したものとみなされます。

B. その他のプレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービス

Apple の製品およびサービスのテスト、提供および改良のために、かつ、デベロッパがデベロッパシードプロセスまたは本プログラムの一環として提供されたその他のプレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスのインストールまたは使用を選択した場合にのみ、デベロッパは、Apple とその子会社および代理人が、その他のプレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスから、診断情報、技術情報、利用情報、および関連する情報を収集することを認めるものとします。Apple は、デベロッパに対し、プログラムウェブポータル上のかかる情報の収集について通知し、また、デベロッパは、かかるプレリリース版 Apple ソフトウェアまたは Apple サービスをインストールまたは使用するか否かについて選択する前に、Apple が開示するリリースノートおよびその他の情報を注意深く検討しなければならないものとします。かかるプレリリース版 Apple ソフトウェアおよび Apple サービスをインストールまたは使用することにより、デベロッパは、Apple とその子会社および代理人が、前記のとおり、かかる情報のすべてを収集および使用することについてデベロッパの許可を得ることになることについて、認め、同意したものとみなされます。

C. デバイス導入サービス

Apple ソフトウェアおよび Apple サービスのデバイスプロビジョニング、アカウント認証、および導入機能をセットアップおよび使用するために、デベロッパの Apple ブランド製品およびアカウント情報に関する特定の固有識別子が必要になることがあります。これらの固有識別子は、デベロッパの電子メールアドレス、デベロッパの Apple ID、デベロッパのコンピュータのハードウェア識別子、およびかかる Apple ブランド製品向けの Apple ソフトウェアまたは Apple サービスにデベロッパが入力したデバイス識別子を含む場合があります。かかる識別子は、デベロッパの Apple サービスとの連携、ならびにデベロッパによるこれらの機能、Apple ソフトウェア、および Apple サービスの使用に関連して記録されることがあります。これらの機能を使用することにより、デベロッパは、Apple およびその子会社および代理人が、かかる識別子を、アカウント認証および不正行為防止措置のために使用することを含む、Apple ソフトウェアおよび Apple サービスを提供する目的で、この情報を収集することがあることにつき、同意することになります。デベロッパがこの情報を提供したくない場合、Apple ソフトウェアまたは Apple サービスのプロビジョニング、導入または認証機能を使用しないでください。

D. Apple サービス

Apple の製品および Apple のサービスをテスト、提供、および改良するために、かつ、本契約に基づきデベロッパが Apple サービスの使用を選択した場合にのみ (および本契約で別段の定めがある場合を除き)、デベロッパは、Apple とその子会社および代理人が、Apple サービスから診断情報、技術情報、利用情報、および関連する情報を収集することがあることを認めるものとします。この情報の中には、デベロッパを個人として識別しない形式で、収集されるものもあります。ただし、場合により、Apple は、デベロッパを個人として識別する情報の収集が必要な場合がありますが、Apple が、以下のいずれかのためにかかる収集が合理的に必要であると誠実に信じる場合に限られます。(a) Apple サービスの提供、(b) 法的手続または要件の遵守、(c) 本契約の条項の遵守の検証、(d) 潜在的な技術上の問題または違反の調査を含む、不正行為の防止、(e) 法令により要求または許容される Apple、その開発者、顧客、または一般ユーザーの権利、財産、セキュリティ、または安全の保護。かかる Apple サービスをインストールまたは使用することにより、デベロッパは、デベロッパは、Apple とその子会社および代理人、本条で定めるかかる情報のすべてを収集および使用するためのデベロッパの許可を得ることについて、認め、同意することになります。さらに、デベロッパは、Apple が、パートナーおよび第三者開発者が Apple ブランド製品上またはそれに接続して実行する製品およびサービスを改良できるようにする目的で、診断情報、技術情報、ならびに利用ログおよび利用情報 (個人識別情報を除く) を共有する必要があることに同意するものとします。

E. プライバシーポリシー

本第 14.2 条に従って収集されたデータは、<https://www.apple.com/jp/legal/privacy> で閲覧できる Apple のプライバシーポリシーに従って取り扱われます。

14.3 譲渡、当事者の関係

本契約は、Appleの書面による明示的な事前承諾なしに、法律の運用、合併、またはその他の手段で譲渡することはできず、本契約に基づくお客様の義務の全部または一部を委任することはできません。かかる承諾なしで試みられた譲渡は無効となります。譲渡に対するAppleの同意リクエストを送信するには、developer.apple.comでアカウントにログインし、メンバーシップの手順に従ってください。本契約は、デベロッパとAppleとの間にパートナーシップ、合併事業、受託者責任、またはその他の形態の法的関係を構成するものとは解釈されず、デベロッパは、明示的、黙示的、外観上、またはその他の方法を問わず、反対の表明をしないものとします。本契約は、第三者の利益のためになされるものではありません。

14.4 開発の独立性

本契約におけるいかなる条項も、デベロッパの取扱製品、その他のデベロッパが開発、製造、販売、または供給する製品または技術と同一または類似の機能を有するかまたはそれと競合する製品または技術を、Appleが開発、取得、使用許諾、販売、宣伝、または配布する権利を損なうものではありません。

14.5 通知

第14.3条に別途規定する場合を除き、本契約に関するいかなる通知も書面によるものとします。デベロッパが登録の過程で提供した電子メールアドレスまたは住所にAppleが発信することにより、Appleによる通知がなされたものとみなされます。第14.3条に規定する場合を除き、本契約に関するAppleに対する通知はすべて、Appleの住所であるDeveloper Relations Legal, Apple Inc., One Apple Park Way, 169-4ISM, Cupertino, California, 95014 U.S.A.に対して次が行われた時点でなされたものとみなされます。Developer Relations Legal, Apple Inc., One Apple Park Way, MS 37-2ISM, Cupertino, California, 95014, U.S.A. デベロッパは、電子メールで通知を受け取ることに同意するとともに、Appleがデベロッパに電子的に送付する通知が法的な送達要件を満たすことに同意するものとします。当事者は、前記のその他の書面による通知を行うことにより、電子メールまたは住所を変更することができます。

14.6 契約可分性

管轄権を有する裁判所が、理由の如何を問わず、本契約のいずれかの条項を履行不能であると判断した場合、本契約の当該条項は、当事者の意図を実現するために許容される最大限の範囲内で履行されるものとし、かつ、本契約の残りの部分は、引き続き完全に効力を有するものとします。ただし、準拠法により、デベロッパが、本契約の「内部使用ライセンスおよび制限」、「デベロッパの義務」、または「Apple証明書；取消し」の条項を完全かつ個別に遵守することを禁止または制限されている場合、またはこれらの条項のいずれかの履行が妨げられる場合、本契約は、直ちに解除され、かつ、デベロッパは、「契約期間および解除」の条項で定めるとおり、Appleソフトウェアの使用を直ちに中止するものとします。

14.7 権利放棄および解釈

Appleが本契約のいずれかの条項を履行しなかった場合も、当該条項またはその他の条項の将来における履行を放棄したとはみなされないものとします。契約文言が起草者に不利に解釈されるといかなる法律や規則も、本契約には適用されないものとします。各条項の表題は便宜的に付けられたものであり、本契約の解釈または理解においては考慮されないものとします。

14.8 輸出規制

A. デベロッパは、アメリカ合衆国の法律、デベロッパがAppleソフトウェアを取得した法域の法律、およびその他の適用される法律および規則が認めている場合を除き、Appleソフトウェア、サービス、またはドキュメントを使用、輸出、再輸出、輸入、販売、リリース、または譲渡することはできません。特に、Appleのソフトウェア、サービス、ソースコード、テクノロジー、およびドキュメント(本第14.8条では「Appleテクノロジー」と総称します)を、以下等に対して輸出もしくは再輸出、譲渡、またはリリースすることはできません。(a) アメリカ合衆国の通商禁止国または通商禁止地域、(b) アメリカ合衆国財務省の特別指定国リスト(list of Specially Designated Nationals)もしくはアメリカ合衆国商務省の取引禁止対象者リスト(Denied Persons List)、またはその他のあらゆる規制対象当事者リストに記載の者。Appleテクノロジーを使用することにより、デベロッパは、前記の国または地域に居住していないこと、または前記のリストに該当するものではないことを表明および保証したことになります。また、デベロッパは、デベロッパがアメリカ合衆国の法律で禁止されている目的で、Appleテクノロジーを使用しないことに同意するものとします。当該目的には、核、ミサイル、化学兵器、もしくは生物兵器の開発、設計、製造、もしくは生産目的、または15 C.F.R § 744で定義されたその他の軍事的最終用途を含みますが、これらに限定されません。デベロッパは、Appleテクノロジーのプレリリース版が開発とテストのためだけに使用されるものであり、貸出、販売、リース、再使用許諾、譲渡、その他の移転されないことを保証するものとします。また、デベロッパはそのようなプレリリース版のAppleテクノロジーの直接成果であるいかなる製品、プロセス、サービスも、販売、譲渡、または輸出しないことを保証するものとします。

B. デベロッパは、デベロッパ、およびデベロッパを直接的もしくは間接的に支配するまたはデベロッパと共に支配下にある法人もしくは個人が、次のいずれにも該当しないことを表明および保証するものとします。(a) App Store を利用できる国または地域の制裁リストに記載されていること、(b) 米国の通商禁止国または通商禁止地域でビジネスを行っていること、および(c) 15 C.F.R § 744 で定義および詳述されている軍事関係のエンドユーザー。本14.8条で用いる「支配」とは、かかる法人または個人が、議決権株式の所有、登録資本金の持分比率、契約、またはその他の手段によって、その他の企業体の経営方針を直接的ないし間接的に決定し、または決定させる権限を所有することを意味します。

14.9 政府関係のエンドユーザー

Appleソフトウェアおよびドキュメントは、「商業用コンピュータソフトウェア」(Commercial Computer Software)、「商業用コンピュータソフトウェアドキュメント」(Commercial Computer Software Documentation)から構成される、48 C.F.R. 2.101条で定義する「商業品目」(Commercial Items)であり、当該用語は、該当の場合に応じ 48 C.F.R. 12.212条または48 C.F.R. 227.7202条で使用されています。該当の場合に応じて48 C.F.R. 12.212条または 48 C.F.R. 227.7202-1条乃至227.7202-4条に従い、商業用コンピュータソフトウェアドキュメントは、アメリカ合衆国政府のエンドユーザーに対して、(a) 商業品目としてのみ、かつ、(b) 本契約条件に従ってその他のエンドユーザーすべてに付与される権利のみを伴って、使用許諾されるものです。非公開の権利は、アメリカ合衆国の著作権法に基づき留保されています。

14.10 紛争解決、準拠法

本契約、Appleソフトウェア、またはデベロッパとAppleとの関係に起因または関連して生じた、デベロッパとAppleとの間の訴訟またはその他の紛争は、カリフォルニア州北部地区で行われるものとし、デベロッパとAppleは当該訴訟または紛争の解決のため、同地区内の州、連邦裁判所の対人管轄権と独占的裁判地に同意するものとし、本契約は、法の抵触に関するカリフォルニア州法の規定を除き、米国法およびカリフォルニア州法に準拠し、これに従って解釈されるものとし、前記に関わらず、

(a) デベロッパが米国連邦政府の代理人、機関、または部局である場合、本契約は米国連邦法に準拠し、適用される連邦法が存在しない場合には、カリフォルニア州法が適用されるものとし、さらに、本契約(第10条(補償))を含みますがこれに限定されません)に異なる定めがある場合でも、すべての請求、申立、訴訟、および紛争は、場合に応じて契約紛争法(合衆国法典第41編601条乃至613条)、タッカー法(合衆国法典第28編1346 (a)条および1491条)、もしくは連邦不法行為請求権法(合衆国法典第28編1346 (b)条、2401条乃至2402条、2671条乃至2672条、2674条乃至2680条)、またはその他の適用される政府の権限に服するものとし、疑義を避けるため、デベロッパが米国の連邦、州、もしくは地方政府の代理人、機関、もしくは部局、または米国の公立および認定の教育機関である場合には、デベロッパの補償義務は、デベロッパによる適用法令(例えば、赤字予算防止法(Anti-Deficiency Act)など)違反を招来せず、かつ、デベロッパが法的に要求されるあらゆる権限または権限を付与する法令を有する範囲内でのみ適用されるものとし、(b) デベロッパが(本契約を締結している団体として)米国の公立および認定の教育機関または米国内の連邦、州、もしくは地方政府の代理人、機関、もしくは部局である場合、(a) 抵触法に関する州法の規定をのぞき、本契約は、デベロッパの団体が所在する米国内の州の州法に準拠し、同法に従って解釈されるものとし、かつ、(b) 本契約、Appleソフトウェア、デベロッパのAppleとの関係に起因または関連する、デベロッパとAppleとの間の訴訟またはその他の紛争は、カリフォルニア州北部地区内の連邦裁判所で行われるものとし、さらに、デベロッパの団体が所在する州の州法で明示的に禁止されない限り、デベロッパおよびAppleは、本契約により、同地区の対人管轄権および独占的裁判地に同意するものとし、(c) お客様が国際的な政府間組織であって、その政府間憲章または協定により国内裁判所について裁判権免除特権が認められている場合、本契約またはその違反に起因または関連して生じる論争または請求については、仲裁により、仲裁申請の時点で有効な国際商業会議所の仲裁規則(以下「ICC規則」といいます)に基づき、ICC規則に従って選任される3名の仲裁人によって判断されるものとし、国際法曹協会(IBA)国際仲裁証拠調べ規則に準じて行われることとし、仲裁地は英国のロンドンとします。仲裁手続きで使用する言語は英語とします。Appleの要求に応じて、デベロッパは、当該特権および免除を付与された政府間機関としてのデベロッパの地位についての証拠を提供することに同意するものとし、

本契約には、国際物品売買契約に関する国連条約は適用されず、かかる条約の適用は明示的に排除されます。

14.11 完全合意、適用言語

本契約は、本契約に基づき使用許諾されたAppleソフトウェア、Appleサービス、およびApple証明書の使用について、当事者間の完全な合意を定めるものであり、本契約で別段の定めがある場合を除き、その主題に関する従前のあらゆる取り決めを優先します。前記に関わらず、本プログラムに基づきデベロッパがプレリリース版マテリアルを提供され、かつ、かかるプレリリース版マテリアルが別の使用許諾契約の適用を受ける限りにおいて、デベロッパは、デベロッパのかかるマテリアルの使用が、本契約第9条(秘密保持)に加え、かかるマテリアルに同梱される使用許諾契約の適用も受けることに同意するものとし、XcodeとApple SDKの利用規約を締結した、または締結したあと、このApple

Developer Enterprise Program使用許諾契約は、同じ主題に関して2つの間に矛盾が生じた場合に適用されます。ただし、このApple Developer Enterprise Program使用許諾契約は、XcodeとApple SDKの利用規約に記載されている利用規約に従って、デベロッパに付与された権利を行使することを妨げるものではありません。本契約は、(a) 両当事者が署名した書面による改訂によるか、または (b) (例えば、Appleによるデベロッパへの書面または電子メールによる通知など) 本契約で明示的に認められている範囲内においてのみ、改訂することができます。本契約書の翻訳は、参考として提供されるものであり、英語版とそれ以外の言語版とで差異矛盾がある場合、デベロッパの法域における現地法が禁止しない範囲内において本契約の英語版が適用されるものとします。デベロッパがカナダのケベック州に所在する場合またはフランス国内の政府機関である場合には、次の条項がデベロッパに適用されます。両当事者は本契約およびすべての関連文書が英語で起草されるよう要求したことをここに認めます。 *Les parties ont exigé que le présent contrat et tous les documents connexes soient rédigés en anglais.*

付属書1

(本契約に対する)

Appleプッシュ通知サービスおよびローカル通知に関する付加条件

以下の条件は、契約の条件に追加され、APN (Appleプッシュ通知サービス) の使用に適用されます。

1. APNの使用

1.1 デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーション内で、デベロッパのパス内で、またはmacOS上のSafari経由で通知の受信に同意したデベロッパのサイトのユーザーのmacOSデスクトップに対してSafariプッシュ通知を送信する際にのみ、APNを使用することができます。デベロッパ、デベロッパの内部使用アプリケーション、またはデベロッパのパスは、APN API経由でのみ、かつ、デベロッパがAppleからプッシュアプリケーションIDを割り当てられている場合のみ、APNにアクセスできます。APNの使用についてデベロッパを支援しているサービスプロバイダを除き、デベロッパは、デベロッパのプッシュアプリケーションIDをいかなる第三者にも共有しないことに同意します。デベロッパは、デベロッパの本契約の満了または解除後、APNのアクセスまたは使用ができないことを理解するものとします。

1.2 デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーション、デベロッパのパス、またはmacOS上のSafariを介してSafariプッシュ通知を受信することを選択したデベロッパサイトのユーザーのmacOSデスクトップにプッシュ通知を送信する目的、または契約(付属書2を含むがこれに限定されない)、APNドキュメント、およびすべての適用法令(すべての知的財産法を含む)で許可されている目的でのみ、APNおよびAPN APIを使用することが許可されます。

1.3 デベロッパは、APNを介してプッシュ通知をエンドユーザーに送信する前に、エンドユーザーが当該通知の受信に同意しなければならないことを理解するものとします。デベロッパは、Appleが実装した同意パネルや、通知機能の有効化/無効化を行うAppleのシステム環境設定を、無効化したり、オーバーライドまたはその他の干渉をしたりしないことに同意するものとします。エンドユーザーのプッシュ通知の受信同意が拒否された場合、または後から取り消された場合、デベロッパは、エンドユーザーに対してプッシュ通知を送信してはならないものとします。

2. 付加条件

2.1 デベロッパは、エンドユーザーに対して、求められていないメッセージを送信する目的で、またはフィッシングやスパムの目的で、APNまたはローカル通知を使用してはならないものとします。これには、アンチスパム法令に違反するあらゆる種類の行為、またはその他不適切、不正、もしくは違法となる行為を含みますが、これらに限られません。APNとローカル通知は、ユーザーに関連し、ユーザーに利益をもたらす通知(例えば、エンドユーザーからの情報請求への対応、内部使用アプリケーションに関連した情報の提供など)を送信するために使用される必要があります。

2.2 デベロッパは、APNまたはローカル通知を、種類に関わらず広告、製品プロモーション、またはダイレクトマーケティング(例えば、より高額の商品の販売や抱き合わせ販売など)で使用してはならないものとします。これには、デベロッパの内部使用アプリケーションの使用を促進するためのメッセージの送付や、新機能やバージョンの有効性の広告を含みますが、これらに限定されません。前記に関わらず、デベロッパは、当該使用がパスに直接関連する限りにおいて、例えば、ストアクーポンがWallet内のデベロッパのパスに送信される場合など、デベロッパのパスのプロモーションを目的として、APNまたはローカル通知を使用することができます。に直接関連する限りにおいて、

2.3 デベロッパは、APNの全体的なネットワーク容量または帯域幅を過度に使用したり、Appleブランド製品、またはAppleの合理的な裁量により決定される過剰なプッシュ通知またはローカル通知をエンドユーザーに過度に負担させたりすることはできません。さらに、デベロッパは、Appleのネットワークもしくはサーバ、またはAPNに接続された第三者のサーバもしくはネットワークに害を与えたり、干渉したりしないこと、または他のデベロッパによるAPNの使用を妨げたりしないことに同意します。

2.4 デベロッパは、APNまたはローカル通知を、猥褻、性的、不快感を与える、もしくは中傷的なコンテンツもしくはあらゆる種類のマテリアル(文章、図形、画像、写真、音声など)、またはデベロッパの内部使用アプリケーション、パス、もしくはサイトのエンドユーザーにより好ましくないと判断される恐れがあるとAppleが合理的に判断するその他のコンテンツもしくはマテリアルが含まれているマテリアルを送信するために使用してはなりません。

2.5 デベロッパは、APNまたはAppleブランド製品の通常の動作に損害を与えたり、中断したり、制限したりする可能性のあるウイルスまたはその他のコンピュータコード、ファイルまたはプログラムを含むマテリアルを送信、保存、またはその他の方法で利用可能にすることはできません。また、デベロッパは、APNに組み込まれている、またはAPNが使用するセキュリティ、デジタル署名、検証、または認証メカニズムを無効にしたり、なりすましを行ったり、ハッキングしたり、その他の方法で妨害したり、他の人がそうできるようにしたりしないことに同意します。

3. **ウェブサイトプッシュIDの付加条件。**本契約の規定の遵守を条件として、デベロッパは、デベロッパのウェブサイトプッシュIDを使用してデベロッパが送信するSafariプッシュ通知が、デベロッパ自身の名称、商標、またはブランドで送信されなければならない(例えば、通信がデベロッパのサイトから届いていることをユーザーに知らせなければならないことなど)、かつ、アイコン、商標、ロゴ、またはその他のデベロッパのサイトを識別するためのマークが含まれていなければならないことを理解し、これに同意するものとします。デベロッパは、Safariプッシュ通知の発信元について、他のサイトもしくは団体と偽り、またはこれになりすまし、またはその他ユーザーの誤解を招くことのないようにすることに同意するものとします。デベロッパがデベロッパのSafariプッシュ通知内で第三者の商標またはブランドに言及する限りにおいて、デベロッパは、デベロッパが必要なすべての権利を有することを表明および保証するものとします。

4. **APNまたはローカル通知を通じた提供。**デベロッパは、APNを提供し、かつ、デベロッパのプッシュ通知をAppleブランド製品において利用できるようにするために、Appleが、デベロッパのプッシュ通知を、様々な公共ネットワーク、様々なメディアを通じて送信し、およびネットワークやデバイスに接続するために、修正または変更する可能性があることについて理解し、同意します。デベロッパは、APNが、保証された、または安全なデリバリーサービスではなく、そのように意図されたものでもないことを認め、同意するものとします。またデベロッパは、APNを、そのように使用または信頼してはなりません。さらに、APNを使用する、またはローカル通知を提供する条件として、デベロッパは、当該通知の一部として、個人に属する、センシティブな個人情報または秘密情報(例えば社会保障番号、金融口座もしくは取引情報、または個人が安全な送信を合理的に期待するようなあらゆる情報)を通信しないことに同意し、デベロッパは、エンドユーザーの個人情報の収集、通信、維持、処理、または使用について、該当する通知または同意リクエストに準拠することに同意するものとします。

5. **デベロッパの承諾。**デベロッパは以下の事項を認め、同意するものとします。

5.1 Appleは、いつでも、適宜、デベロッパへの事前の通知の有無に関わらず、(a) あらゆる特性や機能性の変更または削除を含めて、APNを修正すること、(b) APN APIを修正すること、サポートを終了すること、再発行または再版することができるものとします。デベロッパは、そのような修正によって、デベロッパが、デベロッパの内部使用アプリケーション、パス、またはサイトを、デベロッパ自身の費用で、変更またはアップデートする必要が生じる可能性があることにつき、理解するものとします。Appleは、APNを提供する、または提供を継続することについて、明示または黙示の義務がないものとし、APNのすべてまたは一部を、いつでも停止または中止することができるものとします。Appleは、APNまたはAPN APIの上記のサービスの停止もしくは中止、または上記の変更起因または関連して、デベロッパまたはその他の当事者が被った、損失、損害、または費用について、一切責任を負いません。

5.2 APNは、すべての言語、または国もしくは地域で利用できるわけではなく、Appleは、かかるサービスが、特定の地域での利用に適していることや利用可能であることについて、いかなる表明もしないものとします。デベロッパがAPNにアクセスしてそれを使用することを選択する限りにおいて、デベロッパは、自身の判断でアクセスするものとし、現地の法令をはじめとし、適用されるあらゆる法令を遵守する責任を負担するものとします。

5.3 Appleは、デベロッパに対し、デベロッパが、デベロッパの内部使用アプリケーション、パス、またはサイトと共に使用することを意図してAPNを提供するものとし、かつ、エンドユーザーに直接APNを提供することはないものとします。デベロッパは、あらゆるプッシュ通知が、Appleではなく、デベロッパによって、デベロッパの内部使用アプリケーション、パス、またはサイトのエンドユーザーに対して送信されることを認め、これに同意するものとします。かつ、デベロッパのみが、当該通知によって送信されたあらゆるデータまたはコンテンツ、およびあらゆるAPNの当該使用について、単独で責任を負うものとします。さらに、デベロッパは、あらゆるローカル通知が、Appleではなく、デベロッパによって、デベロッパの内部使用アプリケーションのエンドユーザーに対して送信されることを認め、同意するものとします。デベロッパのみが、当該通知によって送信されたあらゆるデータまたはコンテンツについて、単独で責任を負うものとします。

5.4 Appleは、デベロッパに対して、APNの可用性または稼働時間について一切保証せず、APNのメンテナンス、テクニカルサポート、またはその他のサポートを提供しないものとします。

5.5 Appleは、いつでも、その自由裁量により、デベロッパのAPNへのアクセス権を削除する権利、デベロッパによるAPNの使用を制限する権利、またはデベロッパのプッシュアプリケーションIDを無効にする権利を留保します。

5.6 Appleは、AppleがAPNおよびその他のApple製品またはAppleサービスを改良 するため、およびデベロッパが本契約を遵守しているかを確認するため、デベロッパによるAPNの使用について、情報(技術情報および診断情報を含みますがこれらに限定されません)をモニターおよび収集できるものとします。ただし、Appleは、かかるアクセスまたは開示が以下のいずれかの事由のために合理的に必要であるとAppleが誠実な判断を行う場合を除き、プッシュ通知の内容についてアクセスまたは開示することはありません。(a) 法的な手続きもしくは要求に従うため、(b) 本契約の違反の恐れを調査するなど、本契約を履行するため、(c) セキュリティ、不正、または技術上の問題を検出、防止し、またはそれに対処するため、(d) 法律で要求される、または認められるところにより、Apple、そのデベロッパ、顧客、または一般ユーザーの権利、財産、もしくは安全を保護するため。前記に関わらず、デベロッパは、ユーザーのリクエストに対応すること、およびデバイス上のユーザーエクスペリエンスおよび提案をパーソナライズすることのみを目的として、iOS、iPadOS、macOS、およびwatchOSが、ユーザーのデバイス上でローカルに、プッシュ通知にアクセスできることを認め、同意するものとします。

6. **追加免責。** Appleは、停電、またはシステム障害、ネットワーク攻撃、計画的もしくは計画外のメンテナンス、もしくはその他の中断を含みますがこれらに限定されない、あらゆるAPNの中断または通知の使用を含む、APNの使用に起因するいかなる損害または損失についても一切責任を負いません。

付属書2
(本契約に対する)
MDMおよび構成プロファイルの使用に関する付加条件

1. MDM および構成プロファイルの使用

1.1 デベロッパは、デベロッパが所有または管理する従業員の Apple ブランドデバイスもしくはデベロッパの認定デベロッパの認定テストユニットの社内管理のために、または、デベロッパが第三者の MDM デベロッパとして Apple によって選ばれた場合に、MDM 互換製品の一部として MDM へのアクセスを MDM 顧客に提供するためにのみ、MDM にアクセスまたは MDM を使用することができます。当該製品で MDM またはデバイス構成を使用する前に、構成プロファイルを各デバイスにインストールする必要があります。デベロッパまたはデベロッパの MDM 顧客は、デベロッパの MDM 互換製品について、デベロッパまたは当該 MDM 顧客に割り当てられた証明書に応答するように構成された証明書および構成プロファイルを使用する場合にのみ、MDM を使用することができます。MDM の使用は、本契約、MDM プロトコルおよびドキュメントで明示的に許可されている場合に限り、適用される法律に従って許可されます。

1.2 MDM を使用するには、Apple の APN またはその他の Apple ウェブサービスとやり取りするための安全なサーバを維持する必要があります。デベロッパは、かかるサーバもしくはサービスの全体的なネットワーク容量または帯域幅を過度に使用したり、Apple のネットワークもしくはサーバ、または APN、その他の Apple ウェブサービス、もしくは MDM に接続されている第三者のネットワークまたはサーバに害を与えたり、干渉したり、それらを中断させたりすることはできません。

1.3 本契約に明示的に規定されている場合を除き、デベロッパは、MDM の一部として Apple が提供する資料または文書を第三者と共有しないものとします。本契約で明示的に許可されている場合を除き、デベロッパは、MDM の全部または一部を第三者に販売、再販、リース、またはその他の方法で提供したり、互換性のある Apple ブランド製品以外の製品で MDM を使用、または使用して代替または類似のサービスを作成したり、MDM へのアクセスを試みたりしないことに同意するものとします。

2. 社内導入の付加条件

2.1 MDM を社内導入に使用している場合は、設定プロファイルをインストールする前に、従業員または許可ユーザーに、プロファイルの検査、インストールまたは削除、インストールされているアプリケーションの表示、セキュリティで保護された消去機能の使用、デバイスパスコードの適用などを含めて、その導入デバイスとリモートで通信できることを通知することに同意します。このような目的で MDM プロトコルを使用するための条件として、デベロッパは、この方法で MDM プロトコルを使用して取得したあらゆる情報を収集、使用、および管理するために必要なすべての権利を有し、同意することを Apple に表明し、保証します。

2.2 デベロッパは、MDM を、従業員、許可ユーザー、または任意の導入デバイスを非公開の方法で監視する目的で、またはフィッシング、収集、またはその他の不正な情報を収集する目的で使用することはできません。これには、ユーザーのプライバシーを侵害する活動に従事すること、または不適切、不正、または違法であることが含まれますが、これらに限定されません。

2.3 社内導入のための MDM の使用を通じて入手したすべての情報は、適用される法律に従って、デベロッパの内部情報技術およびデバイス管理の目的でのみ使用することができます。

3. MDM 互換製品に関する付加条件

3.1 第2条に別段の定めがある場合を除き、デベロッパがAppleによってMDM互換製品の第三者のデベロッパとして選択されている場合、デベロッパは、MDM互換製品を開発し、デベロッパのMDM顧客に配布する目的でのみMDMを使用することができます。Appleが書面で明示的に許可した場合を除き、デベロッパは、MDM互換製品の全部または一部を、非商業的な個人的使用のために提供する目的でMDMを使用することはできません。さらに、デベロッパは、互換製品内でのMDMの使用とは別に、MDMの全体または一部をライセンス供与、販売、またはその他の方法で提供することはできません。

3.2 MDM 互換製品は、フィッシング、収集、ユーザーのプライバシーを侵害する行為、またはその他の不適切もしくは違法な行為など、不正な方法でエンドユーザーまたは互換性のある Apple ブランド製品を監視することを目的として設計または販売することはできません。

3.3 本契約に別段の定めがある場合を除き、MDM の使用を通じてデベロッパが入手したすべての情報は、適用される法律に従って、デベロッパの MDM 顧客のために互換製品を開発または導入するためにのみ使用することができます。

4. 互換製品向けの証明書の使用

4.1 デベロッパは、デベロッパの MDM 顧客が、デベロッパの互換製品で MDM を使用する前に Apple から証明書を取得しなければならず、デベロッパが証明書署名要求 (CSR) に署名した場合に当該証明書を申請できることを理解するものとします。デベロッパは、デベロッパが企業名と個人の連絡先情報を検証済みの、デベロッパの MDM 顧客に対してのみ、CSR に署名することができます。リクエストに応じて、デベロッパは、当該情報を Apple に提供し、MDM の使用に関して Apple と協力することに同意します (例えば、MDM または証明書アプリケーションの使用に問題がある場合は、当該団体に連絡することなど)。

4.2 デベロッパは、MDM 顧客を認証するために、デベロッパの証明書を MDM 顧客またはデベロッパの再販業者を含むその他のいかなる団体にも提供、共有、または譲渡することはできません。デベロッパは、当該証明書のセキュリティとプライバシーを保護するために適切な措置を講じることに同意します。または、デベロッパは、当該証明書をデベロッパの互換製品に含めることはできません。明確にするために記すと、デベロッパは、MDM 顧客がキーを生成して CSR をデベロッパに送信できるようサポートするために、MDM プロトコルを使用してデベロッパの互換製品を開発することができます。デベロッパは、デベロッパの MDM 顧客のプライベートキーを生成したり、その他の方法でアクセスしたりすることはできず、また、証明書を提供する Apple のプロセスに干渉することもできません。さらに、デベロッパは、Apple との証明書サービス契約の条項、または MDM、構成プロファイル、もしくは証明書の使用に関する Apple のポリシーに違反するよう他者を誘導することはしないものとします。

4.3 デベロッパは、デベロッパの MDM 顧客にサポートおよび援助を提供することについて、単独で責任を負います。これには、文書およびエンドユーザーのサポートと保証が含まれますが、これらに限定されません。

5. デベロッパの承諾：デベロッパは以下の事項を認め、同意するものとします。

5.1 MDM または承認されたメカニズムを介して送信される構成プロファイルは、Apple ではなくデベロッパによって送信されます。デベロッパは、デベロッパ、デベロッパの従業員、デベロッパの認定デベロッパ、またはデベロッパの MDM 顧客による MDM および構成プロファイルの使用について、単独で責任を負います。

5.2 Apple は、お客様への事前の通知の有無に関わらず、いつでも (a) 特性や機能性の変更または削除を含めて、MDM の全部または一部を変更、一時停止、または中止すること、もしくは (b) MDM プロトコルを変更、再発行、または再公開することができます。Apple は、MDM の可用性、信頼性、パフォーマンスについて一切保証しません。Apple は、MDM について、メンテナンスサポート、テクニカルサポート、その他のサポートを提供する義務を負いません。

5.3 Apple は、その自由裁量により、デベロッパの MDM へのアクセス権をいつでも削除する権利を留保します。また、Apple は、その自由裁量により、MDM のためのデベロッパの証明書またはデベロッパの MDM 顧客の証明書を無効にする権利を留保します。

6. 追加免責。 Apple は、デベロッパによる MDM または構成プロファイルの使用に起因または関連する損害または損失に対して責任を負わないものとします。これには、予定されたメンテナンスまたは予定外のメンテナンス、サービスの中断、データの紛失または盗難、MDM または構成プロファイルの使用による導入デバイスへのアクセスによる責任(これらに関連するプライバシー違反を含む)、または本契約に基づく Apple のパフォーマンスまたは不履行が含まれますが、これらに限定されません。

付属書 3

(本契約に対する)

iCloudの使用に関する付加条件

以下の条件は、本契約の条件に追加されるものであり、内部使用アプリケーションおよびウェブソフトウェアに関連するソフトウェア開発およびテストのためのiCloudサービスの使用に適用されます。

1. iCloudの使用

1.1 デベロッパのアプリケーションまたはウェブソフトウェアは、Apple がデベロッパに権限を付与した場合にのみ、iCloud サービスにアクセスすることができるものとします。デベロッパは、iCloud Storage API、CloudKit API、またはプログラムの一環として提供される CloudKit コンソール経由を除き、iCloud サービス、または当該サービスに含まれるあらゆるコンテンツ、データ、もしくは情報にアクセスしないことについて同意するものとします。デベロッパは、デベロッパの権限をいかなる第三者とも共有せず、Apple が明示的に許諾した目的以外に使用しないことについて同意するものとします。デベロッパは、本契約および iCloud ドキュメントで明示的に許可されたとおりにのみ、かつ、適用のあるあらゆる法令および規制を遵守して、iCloud サービス、iCloud Storage API、および CloudKit API を使用することに同意するものとします。さらに、Apple がその自由裁量で判断するところにより、当該ウェブソフトウェアにおけるデベロッパによる iCloud サービスの使用が、対応するライセンスアプリケーションにおけるデベロッパの使用と同等である限りにおいてのみ（例えば、デベロッパの内部使用アプリケーションで検索またはアップデートされた同じタイプのデータを保存するため）、デベロッパのウェブソフトウェアは、iCloud サービスへのアクセスおよび使用を許可されるものとします。Apple サービスが、理由の如何を問わず、他のコンテナへのデータの転送のために、iCloud におけるストレージコンテナのデベロッパへの割り当て分を超えて、デベロッパが使用することを許可する場合に、デベロッパは、かかる機能を実行するために合理的に限定的な期間のみ、かかる追加のコンテナを使用し、かつ、ストレージおよび割り当て分を増加させないことについて、同意するものとします。

1.2 デベロッパは、デベロッパの契約の期間満了または解除後は、デベロッパがソフトウェアの開発またはテストのために iCloud サービスにアクセスまたは使用することを許諾されていないことを理解するものとします。ただし、デベロッパの内部使用アプリケーションまたはウェブソフトウェアをインストールし、かつ、iCloud を使用するために有効な Apple のエンドユーザーアカウントを有するエンドユーザーは、適用のある iCloud 利用規約およびそれらの条件に従い、当該ユーザーが作成したドキュメント、プライベートコンテナ、およびデベロッパが iCloud Storage API または CloudKit API 経由でかかるエンドユーザーのアカウントに保存することを選択したファイルへのアクセスを継続することができます。ユーザーが iCloud (またはユーザー自身が生成したドキュメント、プライベートコンテナ、ファイル) にアクセスする機能を妨害したり、iCloud サービスの使用をいつでも中断したりしないことに同意するものとします。デベロッパが CloudKit API 経由でパブリックコンテナに保存したファイルについて (デベロッパまたはエンドユーザーのいずれが作成したかを問わず)、Apple は、デベロッパの本契約の期間満了もしくは解除時、またはその他 Apple が CloudKit コンソール内で指定する場合に、かかるデータの全部もしくは一部へのアクセスを停止し、またはかかるデータの全部もしくは一部を削除する権利を留保します。

1.3 デベロッパの内部使用アプリケーションは、デベロッパの内部使用アプリケーションおよびウェブソフトウェアにとって重要な価値を有するデータ (例えば、ファイナンスアプリ内の株式のリスト、アプリの設定など) の保存および取得、ならびに、デベロッパのエンドユーザーが iCloud サービスを通じてユーザーが作成したドキュメントおよびファイルにアクセスできるようにする目的でのみ、iCloud Storage API の使用を許されるものとします。デベロッパの内部使用アプリケーションまたはウェブソフトウェアは、iCloud ドキュメントに従い、デベロッパがパブリックコンテナまたはプライベートコンテナに保存することを選択した構造化データの保存、検索、およびクエリを行うために、CloudKit API を使用することを許可されます。デベロッパは、iCloud Storage API または CloudKit API 経由で、デベロッパの内部使用アプリケーションが iCloud 利用規約、またはデベロッパの内部使用アプリケーションに関するプログラム要件に違反することになるいかなるコンテンツまたはマテリアルも、当該違反について認識の上、保存しないことについて同意するものとします (例えば、デベロッパの内部使用アプリケーションは、違法または権利を侵害するマテリアルを保存してはなりません)。

1.4 デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションの使用を通じて、ユーザーに、ユーザー自身が作成したドキュメントおよびファイルに、iCloud から、またはウェブソフトウェアからアクセスさせることができるものとします。ただし、デベロッパは、同一タイトルの異なるバージョン間で当該データを共有する場合でない限り、またはデベロッパがユーザーの同意を得た場合でない限り、デベロッパの内部使用アプリケーションの重要な価値を有するデータを、他の内部使用アプリケーションまたはウェブソフトウェアと共有することはできません。

1.5 デベロッパは、デベロッパが CloudKit API および iCloud Storage API の使用を通じて iCloud に保存した、あらゆるコンテンツおよびマテリアルに関する責任を負い、かつ、デベロッパが iCloud サービスを通じて保存した情報を保護するため、合理的かつ適切な措置を講じなければならないものとします。デベロッパのエンドユーザーが iCloud Storage API または CloudKit API の使用を通じてデベロッパの内部使用アプリケーションに保存したコンテンツおよびマテリアル(例えば、ユーザー作成のドキュメント、パブリックコンテナへのエンドユーザーによる投稿など)に関する第三者の申し立てについて、デベロッパは、デジタルミレニアム著作権法 (DMCA) に従って送信された通知にデベロッパが遵守していることを含め(ただしこれらに限定されません)、一切のかかる申し立てについて適切に対処し、かつ、速やかに処理を進める責任を負うことに同意します。

1.6 Apple が書面で明示的に別段の許可をしない限り、デベロッパは、「保護された健康情報」(45 C.F.R § 160.103 にて別途定義)を含む、センシティブな個人を識別できる健康情報を、作成、受領、保持、または転送するために、iCloud、iCloud Storage API、CloudKit API、またはこれらのコンポーネントもしくは機能を使用せず、または、Apple(もしくは Apple の子会社)をデベロッパまたは第三者の「取引先」(45 C.F.R. § 160.103 で別途定義)にするいかなる方法でも、iCloud を使用しないものとします。デベロッパは、デベロッパの本条違反に起因する、法律または契約に基づくあらゆる報告要件の遵守について、単独で責任を負うことに同意するものとします。

2. 付加条件

2.1 デベロッパは、デベロッパおよびデベロッパのエンドユーザーの双方にとって、iCloud サービスのストレージの容量、トランスミッション、およびトランザクションに制限があることを了解するものとします。デベロッパまたはデベロッパのエンドユーザーがかかる制限に達した場合、デベロッパまたはデベロッパのエンドユーザーは、デベロッパまたはデベロッパのエンドユーザーが、かかる容量制限に適合するように、iCloud サービスから十分なデータを削除する、ストレージの容量を増加する、またはその他デベロッパによる iCloud の利用を修正するまで、iCloud サービスを利用できないことがあり、かつ、この間、iCloud からデータのアクセスまたは検索ができないことがあります。

2.2 デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーションまたはウェブソフトウェアを通じた iCloud サービスへのアクセスまたは利用について、ユーザーにいかなる料金も請求してはならず、かつ、デベロッパは、方法の如何を問わず、Apple サービスの一部の再販売を含む(ただしこれに限定されません)、iCloud サービスへのアクセスを販売しないことについて同意するものとします。デベロッパは、(かかるエンドユーザーが iCloud アカウントを有しているか否かに関わらず)エンドユーザーがアクセスできるようにパブリックコンテナにデータを保存する目的で CloudKit API を使用することを除き、Apple の有効なエンドユーザー iCloud アカウントを有するエンドユーザーにストレージを提供するために、かつ、当該ユーザーアカウントの利用規約に従って使用するためにのみ、デベロッパの内部使用アプリケーションまたはウェブソフトウェアで、iCloud サービスを使用するものとします。デベロッパは、エンドユーザーによる、適用のある Apple との iCloud サービス契約の条項に対する違反、または iCloud サービスに保存されたデータもしくは情報の利用に関する一切の Apple のポリシーに対する違反を引き起こさないようにするものとします。

2.3 デベロッパは、ネットワークの容量または iCloud サービスの全体的な処理機能を過度に使用してはならず、その他不合理なサイズのデータの読み込みまたはクエリを行って、当該サービスに負荷をかけてはならないものとします。デベロッパは、Apple のネットワークもしくはサーバ、または iCloud に接続された第三者のサーバもしくはネットワークに害を与えたり、干渉しないこと、または他のデベロッパやユーザーによる iCloud サービスの使用を妨げたりしないことに同意します。

2.4 デベロッパは、Apple が iCloud サービスのエンドユーザーに提供する警告、システム設定、お知らせ、または通知を無効にしたり、阻害したりしないものとします。

3. デベロッパの承諾

デベロッパは以下の事項を認め、同意するものとします。

3.1 Apple は、いつでも、適宜、デベロッパへの事前通知の有無に関わらず、(a) iCloud Storage API または CloudKit API を改変すること（あらゆる特性や機能性を変更または削除することを含みます）、または、(b) かかる API を修正すること、サポートを終了すること、再発行すること、または再版することができるものとします。デベロッパは、そのような修正によって、デベロッパが、デベロッパの内部使用アプリケーションまたはウェブアプリを、デベロッパ自身の費用で、変更またはアップデートする必要が生じる可能性があることにつき、理解するものとします。Apple は、iCloud サービスについて、提供または提供を継続する明示または黙示の義務を負わず、いつでもこれらの全部または一部を停止または中止することができるものとします。Apple は、iCloud サービス、iCloud Storage API、もしくは CloudKit API のサービスの停止、中止、または改変に起因または関連して、デベロッパまたはその他の者が被る一切の損失、損害または費用について、種類の如何を問わず、一切責任を負わないものとします。

3.2 iCloud サービスは、すべての言語、または国もしくは地域で利用できるわけではなく、Apple は、かかるサービスが、特定の地域での利用に適していることや利用可能であることについて、いかなる表明もしないものとします。iCloud Storage API または CloudKit API を通じてデベロッパの内部使用アプリケーションまたはウェブソフトウェアで iCloud サービスへのアクセスを提供することをデベロッパが選択する限りにおいて（例えば、パブリックコンテナまたはプライベートコンテナにデータを保存する場合）、デベロッパは、自身の判断でそれを行うものとし、適用されるあらゆる法令を遵守する責任を負うものとします。

3.3 Apple は、デベロッパに対して、iCloud サービスの可用性または稼働時間に対していかなる保証も行わないものとします。かつ、Apple は、iCloud サービスのいかなるメンテナンス、テクニカルサポート、またはその他のサポートも提供する義務を負いません。Apple は、iCloud サービスに対してデベロッパが行った支出、投資、もしくはコミットメント、または、iCloud サービスの使用もしくはアクセスについて、一切責任を負わないものとします。

3.4 Apple は、いつでも、その自由裁量により、デベロッパの iCloud サービスへのアクセス権を停止または削除する権利、またはデベロッパによる iCloud サービスの使用を制限する権利を留保します。さらに、Apple は、いつでも、その自由裁量により、iCloud サービスを通じてデベロッパの内部使用アプリケーションまたはウェブソフトウェアが送受信するトランザクションに制限を課すもしくは調整を加える、または、それらが使用するリソースまたは容量を設定または調整することがあります。

3.5 Apple は、Apple が iCloud サービスおよびその他の Apple 製品またはサービスを改善することを支援するために、iCloud Storage API、CloudKit API、または CloudKit コンソールを通じて、iCloud サービスの使用について、情報（技術情報および診断情報を含みますがこれらに限定されません）をモニターおよび収集することがあります。ただし、Apple は、法規制上の手続きまたは要件を遵守するために、当該アクセス、使用、保存、もしくは開示が合理的に必要であると誠実に判断した場合を除き、または、その他 iCloud Storage API 経由でエンドユーザーの iCloud アカウントに、もしくは CloudKit API 経由でエンドユーザーのプライベートコンテナに保存されたデータに関してエンドユーザーが要求した場合を除き、CloudKit を通じてプライベートコンテナに保存されたあらゆるエンドユーザーデータ、CloudKit を通じてパブリックコンテナに保存されたあらゆる内部使用アプリケーションデータ、または、iCloud Storage API および iCloud サービスを使用して保存されたユーザーが作成したあらゆるドキュメント、ファイル、もしくは重要な価値を有するデータへのアクセスまたは開示をすることはしないものとします。

3.6 さらに、デベロッパが、iCloud Storage API または CloudKit API の使用を通じて、iCloud サービス内に、個人や個人が特定可能な情報に関連する個人情報(以下「個人データ」と総称します)を保存する限りにおいて、デベロッパは、Apple(および本第 3.6 条の目的に該当するすべての Apple 子会社)が、当該個人データの処理、保存、および取り扱いに関して、デベロッパの代理人として行為することに同意するものとします。Apple は、かかる個人データを処理する権限を持つ任意の個人が、(条項を通じて、または該当する法定義務のもとで)守秘義務の履行に同意していることを保証することに同意するものとします。Apple は、デベロッパによる iCloud サービスの使用の結果としてのみ生じるかかる個人データに関して、いかなる権利、権限、または権益を有することもありません。デベロッパは、デベロッパのみが、iCloud サービスを通じたデータおよび情報の使用または収集に関して、プライバシーおよびデータ保護に関する法令を含む、すべての適用法令の遵守について責任を負うことに同意するものとします。また、デベロッパは、個人データおよび個人データに関する行為のモニタ、不適切なデータおよび行為の防止、およびそれらへの対応、データの削除や当該データを入手可能にするアクセス権の削除および解除などを含む(ただしそれらに限定されません)、かかる個人データに関連するあらゆる行為について責任を負うものとします。また、デベロッパは、デベロッパのスタッフによるかかる個人データへのアクセスの保護および制限、ならびにデベロッパのために iCloud サービスを使用するためのアクセスを許可されたデベロッパのスタッフの行為について責任を負うものとします。デベロッパおよびデベロッパのユーザーが iCloud サービスを通じて Apple に提供した個人データは、iCloud サービスを提供し改善するために必要な場合にのみ、そしてデベロッパのために以下の行為を行うためにのみ、Apple によって使用される可能性があります。Apple の行為とは以下の通りです。

(a) 本契約に規定されたデベロッパの指示および許可、ならびに適用される法律、規則、協定、または条約に従ってのみ、そうした個人データを使用し、取り扱います。EEA およびスイスにおいては、別途 EU または加盟国の法律で要請されていない限り、個人データは、本契約に規定されたデベロッパの指示および許可に従ってのみ、Apple によって取り扱われ、別途 EU または加盟国の法律で要請されている場合には、Apple はそうした特定の法的要請についてデベロッパに通知します(法律により Apple が通知することを禁止されている限定的な場合は除きます)。

(b) デベロッパに対して、適用される法律で定義された、ユーザーアクセス、削除、または制限のリクエストを管理するための合理的な方法を提供します。デベロッパによる iCloud サービスの誠実な使用に起因した、データ保護規則当局またはかかる個人データに関する類似の規制当局によるデベロッパの調査があった場合、Apple はデベロッパに対し、合理的な援助およびサポートを提供します。

(c) Apple が、Apple サービスへの不正なアクセスの結果、デベロッパの個人データが変更、削除、または紛失されていることを認識した場合、過度に遅延することなく、かつデベロッパに適用され、特定の期間内に通知することを義務付ける法的要請に従い、Apple が選択した合理的な方法で、デベロッパに通知を行います。デベロッパは、本契約の条項に従い、かかる通知のために、最新の連絡先情報を Apple に提供する責任を有します。

(d) Regulation (EU) 2016/679 of the European Parliament and of the Council of 27 April 2016 (GDPR : EU 一般データ保護規則) 第 28 条に規定されたコンプライアンス義務を果たすために必要な、そしてかかる規定で要請された監査を可能とし、それに貢献するための情報を、デベロッパが利用できるにします。ただし、デベロッパは、Apple の ISO 27001 および 27018 認証は、そうした要請される監査のために十分なものであることに同意するものとします。

(e) GDPR の第 33 条乃至 36 条に規定されたコンプライアンス要件を確実に遵守するため、Apple が選択した合理的な方法により、デベロッパを支援します。デベロッパが iCloud に保存した情報に関する第三者からの要請を Apple が受領した場合、別途法律でまたは当該要請の条件で要請されている場合を除き、Apple はそうした要請の受領についてデベロッパに通知し、要請者に対して、当該要請をデベロッパに対して行うように伝えます。法律や当該要請で別途要請されている場合を除き、デベロッパはそうした要請に対応する責任を負うものとします。

(f) 個人データの送信、処理、および保存を行う間、個人データを保護するため、業界標準の方法を使用します。暗号化された個人データの地理的な保存場所は、Apple の裁量で決定されます。

(g) 本契約の文脈で生じる個人データが EEA またはスイスから送信されており、デベロッパが個人データが送信されていると信じる場合、データの送信先が、常に、適切な水準の保護を確実にしている、または要求により、デベロッパに対して提供されるモデル契約条項またはスイス越境データフロー契約を使用している第三の国または地域のみであるようにします。

4. 追加免責。 Apple またはそのサービスプロバイダは、データ処理、または不適切なもしくは不正なデータ保存、またはデベロッパによる本契約に反する取り扱いに関するあらゆる請求を含む、iCloud、iCloud Storage API、もしくは CloudKit API の使用、誤用、信頼、使用不能、中断、停止、もしくは解除、またはデベロッパのデータもしくはエンドユーザーのデータについての不正アクセス、改ざん、削除、破損、損害、損失、もしくは保存の失敗、またはデベロッパのエンドユーザーによる前記のあらゆる使用に起因する損害または損失について、一切責任を負わないものとします。

付属書 4
(本契約に対する)
パスに関する付加条件

以下に定める条件は、本契約の規定に追加され、かつ、デベロッパによるパスの開発および配布に適用されます。

1. パスタイプIDの使用および制限

デベロッパは、Walletでの使用のためのデベロッパのパスのデジタル署名のため、またはデベロッパのパスとのAPNサービスの使用目的でのみ、パスタイプIDを使用することができるものとします。デベロッパは、以下の第2条で定められているパスタイプIDを、デベロッパ自身の商標またはブランドの下で配布する場合、またはデベロッパがデベロッパのパス内で第三者の商標またはブランドに言及する場合(特定の商品のストアクーポンなど)に限り、デベロッパのパスに組み込まれているパスタイプIDを配布することができます。デベロッパは、必要な権利を有することを表明および保証します。デベロッパは、デベロッパのパスタイプIDをサードパーティと共有せず、サードパーティに提供または送信しないこと(Apple正規サービスプロバイダを除く)、またはサードパーティのパスの署名にデベロッパのパスタイプIDを利用しないことについて、同意するものとします。

2. パスの配布;マーケティングの許諾

2.1 本契約の条項に従い、デベロッパは、本契約の第 2.1 条(f)に規定されたデベロッパの直接の監督と物理的な管理の下で使用される場合、内部使用目的のため、またはデベロッパ自身(または許可事業体)の物理的な施設またはその他の場所にある導入デバイスのデモ受信者による限定的な使用のために、デベロッパの従業員または許可ユーザーのみにデベロッパのパスを配布することができます。デベロッパは、パスが、当該ユーザーによって、Wallet に読み込まれる前に承諾されなければならないこと、および、パスが、当該ユーザーによって、いつでも、パスブックから削除または転送できることを理解するものとします。

2.2 この方法でデベロッパのパスを配布することで、デベロッパは、Apple に対し、デベロッパのパスがその時点で有効な「ドキュメントおよびプログラム要件」および本付属書 4 の条項に準拠していることについて、表明および保証したものとみなされます。Apple は、かかる方法でデベロッパのパスを配布した結果、デベロッパに生じ得るあらゆる費用、経費、損害、損失(事業機会の喪失または逸失利益を含みますがこれらに限りません)、またはその他の責務について、一切責任を負わないものとします。

2.3 デベロッパは、氏名および住所、ならびにエンドユーザーがデベロッパのパスに関する質問、苦情、または請求について問い合わせるべき連絡先情報(電話番号、電子メールアドレス)をパスに記載することに同意します。デベロッパは、デベロッパの裁量により、いずれかのデベロッパのパスに、関連するエンドユーザー利用規約を添付する、またはその他の形で含めることについて、一切の責任を負うものとします。Apple は、デベロッパのエンドユーザー利用規約に関するいかなる違反についても、一切責任を負いません。デベロッパは、デベロッパのパスのあらゆるユーザー支援、保証、およびサポートについて、単独で責任を負うものとします。デベロッパは、エンドユーザーに対し、Wallet を利用するために、デベロッパのパスにアクセスすることについて、いかなる料金も請求することはできません。

3. パスの付加条件

3.1 Appleは、デベロッパに対し、デベロッパのパスの作成に使用するためのテンプレートを提供することがあります。デベロッパは、自身による使用に該当するテンプレートを選択すること(例えば、デベロッパは、搭乗券用テンプレートを映画観賞券用を使用しないこと)について、同意するものとします。

3.2 パスは、Apple がパス用の容量の領域として指定した Wallet 内、ドキュメントに従い互換性のある Apple ブランド製品のロックスクリーン上の Wallet を通じてのみ、運用および表示できます。

3.3 本契約第 3.3.9 条の定めに関わらず、ユーザーの事前の同意を取得の上、デベロッパおよびデベロッパのパスは、かかる共有が、パスまたは内部使用アプリケーションの使用、または本契約第 3.3.12 条に基づく広告の提供に直接関連するサービスまたは機能の提供を目的とする限りにおいて、ユーザーまたはデベロッパの内部使用アプリケーションのデバイスデータを共有することができます。

4. デベロッパのパスを審査するAppleの権利；取消し。 デベロッパは、Appleが、本契約期間中、いつでも、デベロッパのエンドユーザーによる使用のためにデベロッパが配布しようとする、またはデベロッパのエンドユーザーがすでに使用しているパスを審査および承認または却下する権利を留保することについて理解し、それに同意するものとします。Appleが要求する場合、デベロッパは、Appleに対し、かかるパスを直ちに提供することについて同意するものとします。デベロッパは、デベロッパのパスの特性、コンテンツ、サービス、もしくは機能性について、Appleによる審査から隠蔽、不正確な表示、誤導、または不明瞭にしようとしたり、その他Appleが当該パスを包括的に審査することを妨げようとしたりしないことについて同意するものとします。さらに、デベロッパは、Appleに協力し、質問に答え、さらに当該パスに関してAppleが合理的に要求する情報および資料を提供することについて、同意するものとします。デベロッパは、Appleへの提出後、デベロッパのパスにいかなる変更を加えた場合にも、Appleに対して通知し、かつ、Appleが要求する場合には、変更したパスを配布する前に、デベロッパのパスをAppleに再提出することについて、同意するものとします。Appleは、理由の如何を問わず、いつでも、その自由裁量で、たとえデベロッパのパスが「ドキュメントおよびプログラム要件」および本付属書4の規定に則ったものであっても、デベロッパのパスタイプIDを取り消し、かつ、デベロッパのパスをデベロッパのエンドユーザーに配布することを拒否する権利を留保し、かつ、かかる場合、デベロッパは、かかるパスをデベロッパのエンドユーザーに配布できないことについて同意するものとします。

5. 追加免責。 Appleは、Walletにおけるデベロッパのパスの喪失もしくは表示不能、またはエンドユーザーによるそれらの使用に起因するあらゆるエンドユーザーの請求を含む(ただしこれらに限定されません)、Wallet、デベロッパのパスタイプID、デベロッパのパス、またはこれらに関連して提供されるあらゆるサービスの使用、配布、誤用、信頼、使用不能、中断、停止、または解除に起因するいかなる損害または損失についても、一切責任を負いません。

付属書 5
(本契約に対する)
Apple マップサービスの使用に関する付加条件

以下に定める条件は、本契約の規定に追加され、かつ、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリにおける Apple マップサービスの使用に適用されます。

1. マップサービスの使用

1.1 デベロッパの内部使用アプリケーションは、MapKit API、Apple Maps Server API、またはMapKit JS経由でのみAppleマップサービスにアクセスすることができ、デベロッパのウェブサイトもしくはウェブアプリは、MapKit JSもしくはApple Maps Server API経由でのみAppleマップサービスにアクセスすることができます。デベロッパは、該当する場合、MapKit API、Apple Maps Server API、またはMapKit JS経由以外によりAppleマップサービスまたはマップデータにアクセスしないことに同意するものとします。さらに、デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリにおけるAppleマップサービスの使用は、プログラムの要件に準拠していなければならないことに同意するものとします。

1.2 デベロッパは、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリのためのサービスおよび機能の提供に必要な場合のみ、Appleマップサービスおよびマップデータを使用するものとします。デベロッパは、Appleマップサービス、MapKit API、Apple Maps Server API、MapKit JS、ならびにMapKit、Apple Maps Server API、MapKit JSのドキュメントを、本契約(付属書5を含むがそれに限定されません)で明示的に許可されている場合のみ、すべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。MapKit JSは、次の商用目的のためにApple以外のブランドのハードウェアで実行されるデベロッパのウェブサイトまたはアプリ上で使用することはできません。フリート管理(配車を含む)、資産管理、企業ルート最適化、または当該ウェブサイトまたはアプリの主な目的が自動車保険のリスクを評価することである場合。

1.3 デベロッパは、デベロッパがAppleマップサービスから受け取る結果が、天候、道路状況および交通状況、ならびに地政学的な事象など、マップデータの正確性に影響し得る各種の状況により、実際の状況とは異なり得ることについて認め、これに同意するものとします。

2. 付加制限

2.1 デベロッパ、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリは、Appleまたはそのライセンサーの著作権告知、商標、ロゴ、またはその他の財産権もしくは法的告知、Appleマップサービス内またはこれを通じて表示されるドキュメントもしくはハイパーリンクを削除してはならず、不明瞭にしてはならず、または改ざんしてはならないものとします。

2.2 デベロッパは、一括ダウンロードもしくはマップデータのフィードを可能にするもしくは許可する、またはマップデータの一部を抽出、スクレイプ、もしくは再利用するいかなる方法でも、Appleマップサービスを使用しないものとします。例えば、デベロッパまたはデベロッパの内部使用アプリケーションのいずれも、二次的または派生的データベースの一部として、マップデータのすべてまたはその一部を、使用または利用可能することはできません。

2.3 本契約で明示的に許可されている場合を除き、デベロッパは、方法の如何を問わず、マップデータをコピー、改変、翻訳、二次的著作物の作成、公表、または公開しないことにつき、同意するものとします。さらに、デベロッパは、他のマップサービスを改善または作成する目的で、Appleマップサービスにより提供されたデータを使用または比較してはならないものとします。デベロッパは、Appleマップサービスの使用またはアクセスを通じて、代替するまたは類似するサービスを作成しないことまたは作成を試みないことに同意するものとします。

2.4 デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリは、本契約で許可されたとおりにマップデータを表示し、かつ、マップデータをマップ上に表示する際は、デベロッパは、Apple マップサービス経由で提供された Apple マップ上のみ表示することにつき、同意するものとします。また、デベロッパは、対応する Apple マップを表示することなく、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリ内のマップデータを表示することはできません(例えば、デベロッパが Apple マップサービスを通じて住所の検索結果を表示する場合、デベロッパは住所の検索結果と共に、対応するマップを表示する必要があります)。

2.5 Appleにより書面で別途明示的に許可されない限り、マップデータは、一時的かつ限定的に、(a) デベロッパが本付属書やMapKitもしくはMapKit JSドキュメントで許可されたとおりにAppleマップサービスを使用するため、または (b) 内部使用アプリケーション、ウェブサイト、もしくはウェブアプリで使用するAppleマップサービスのパフォーマンスを改善するために、一時的および限定的に必要な場合を除き、デベロッパまたはデベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリによってキャッシュ、プリフェッチ、または保存してはならず、キャッシュ、プリフェッチ、保存した際は、いかなる場合でも、使用後にそれらのマップデータを削除しなければならないものとします。

2.6 デベロッパは、エンドユーザーに対し、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリを通じたAppleマップサービスへのアクセスまたはその使用のみについて、いかなる料金も請求できず、かつ、デベロッパは、その他の方法によるAppleマップサービスへのアクセスを販売しないことに同意するものとします。

2.7 デベロッパは、Appleが、デベロッパによるAppleマップサービスの利用について制限を課することができること(例えば、デベロッパの内部使用アプリケーションがMapKit APIもしくはApple Maps Server APIを通じて作成できる処理数を制限するなど)、またはAppleの自由裁量で、いつでも、デベロッパによるAppleマップサービス(またはその一部)へのアクセスを取り消す、または削除することができることを認め、これに同意するものとします。さらに、デベロッパは、デベロッパがAppleマップサービスから受け取る可能性がある結果が、道路または天候の状況など、マップデータの正確性に影響し得る変動要因により、実際の状況に応じて異なり得ることを認め、これに同意するものとします。

3. **デベロッパの承諾。** デベロッパは以下の事項を認め、同意するものとします。

3.1 Appleは、いつでも、デベロッパへの事前の通知の有無に関わらず、(a) いずれかの機能や機能性の改変もしくは削除を含めて、Appleマップサービス、もしくはMapKit API、Apple Maps Server API、MapKit JSに変更を加えることができ、または (b) MapKit API、Apple Maps Server API、MapKit JSを、改変、サービス終了、再発行、もしくは再公開することができるものとします。デベロッパは、当該改変により、デベロッパの内部使用アプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリを、デベロッパ自身の費用で、修正またはアップデートしなければならない場合があることについて理解するものとします。Appleは、Appleマップサービスについて、提供または提供を継続する明示または黙示の義務を負わず、いつでもこれらの全部または一部を停止または中止することができるものとします。Appleは、Appleマップサービス、MapKit API、Apple Maps Server API、MapKit JSの停止、中止、改変に起因または関連して、デベロッパもしくはその他の者が被る一切の損失、損害もしくは費用について、一切責任を負わないものとします。

3.2 Appleマップサービスは、すべての言語、または国もしくは地域で利用できるわけではなく、Appleは、かかるサービスが、特定の地域での利用に適していることや利用可能であることについて、いかなる表明もしないものとします。デベロッパが、デベロッパの内部使用アプリケーションで、またはMapKit API、Apple Maps Server API、MapKit JSを通じてAppleマップサービスへのアクセスの提供を選択する限りにおいて、デベロッパは、自身の判断でかかる選択をするものとし、適用されるあらゆる法令を遵守する責任を負担するものとします。

4. **デベロッパのMapKitまたはMapKit JSの実装を審査するAppleの権利** デベロッパは、Appleが、デベロッパのアプリケーション、ウェブサイト、またはウェブアプリにおけるデベロッパのMapKitまたはMapKit JSの実装を、本契約期間中、いつでも、審査、承認、または拒否する権利を留保することを理解し、これに同意するものとします。Appleから要求された場合、デベロッパは、デベロッパのMapKitまたはMapKit JSの実装に関する情報を速やかにAppleに提供することに同意するものとします。デベロッパは、Appleと協力し、質問に答え、そうした実装に関してAppleが合理的

に要求する情報および資料を提供することについて、同意するものとします。Appleは、いつでもAppleの自由裁量で、デベロッパによるMapKitまたはMapKit JSの使用が、ドキュメントおよびプログラム要件、ならびに本契約の条項に準拠している場合でも、デベロッパによるデベロッパのMapKitまたはMapKit JSキー、および類似の認証情報へのアクセスを取り消す権利を留保するものとします。例として、Appleは、デベロッパのMapKitもしくはMapKit JSの実装が、Appleマップサービスに過剰かつ過度な負荷をかける場合、マップを表示する際にAppleマップのロゴもしくは組み込みリンクを不明瞭にするか消去する場合、または攻撃的もしくは違法なマップコンテンツを用いてAppleマップサービスを使用する場合、Appleは前記の認証情報を取り消す可能性があります。

5. 追加免責。 Apple、そのライセンサー、またはサービスプロバイダは、システム障害、ネットワーク攻撃、または計画的もしくは計画外のメンテナンスによる中断など、Apple マップサービスの使用、誤用、信頼、使用不能、中断、停止、または解除に起因する、いかなる損害または損失についても一切責任を負いません。

LYL136
06/05/2023